

工事番号														(様式 - 1)	
市長		副市長		部長		課長		係長		係員		検算		担当	
令和 7 年度 (交付金) 下水道施設統廃合事業 明科幹線第 4 工区管路工事 閲覧設計書															
安曇野市明科中川手															
設 計 大 要								施 工 方 法				請 負			
管路施設工 Σ L = 273.8 m (交付金) (市単) 管路布設工 DIP-GX φ 200mm L = 237.8 m - 管布設工 DIP-GX φ 200mm L = 22.0 m - 管推進工 PRP φ 250mm L = 14.0 m - 管布設工 3号マンホール(レジン組立式) 1 個所 - 人孔設置工 3号マンホール(レジン塗装工) 1 個所 付帯工 1 式 -								施 工 期 間				277 日間			
								起工予定年月日				令和 年 月 日			
								竣工予定年月日				令和 年 月 日			
								契約保証方法				金銭的保証			
								・ 別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・ この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、L、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。							

総括情報表

頁0-0002

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日 資材等の単価の出典	61 市町村設計積算 0 1 実施単価 50 1 1 中信 (2) 07.08.29 建設物価・積算資料 当年 9 月号		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 (%) 消費税率 (%) 工種 施工地域区分 (共通仮設) 施工地域区分 (現場管理) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 緊急工事区分 時間的制約 豪雪割増 週休 2 日補正 冬期補正 (現管) 点在工事等区分	40 10 % 31 下水道 (2) 06 一般交通影響有り (2) - 2 06 一般交通影響有り (2) - 2 02 上記以外 01 金銭的保証 00 補正なし 00 時間的制約無し 02 豪雪割増無し 07 月単位 444 02 附帯工事費等		

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (交付金) ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 本工事費 (交付金) ***						
管路						
管きょ工 (開削)						
管路土工						
管路掘削						
	1		式			工種 第0001号表
管路埋戻						
	1		式			工種 第0002号表
発生土処理						
	1		式			工種 第0003号表
管布設工						
ダクティル鋳鉄管 呼び径200mm						
	236		m			科目 第0001号表

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (交付金) ***

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空気弁・排泥弁・点検口設置工					
	3	箇所			科目 第0002号表
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 継手類含む					
	13	m			施工 第0 -0106号表
管明示テープ 幅30mm 茶色					
	13	m			
可とう継手 リブ付管用 φ 250mm					
	2	個			
管基礎工					
砕石基礎 呼び径250mm					
	13	m			科目 第0011号表
管路土留工					
建込簡易土留工					
	120	m			科目 第0003号表
マンホール工					

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (交付金) ***

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立マンホール工						
組立 3 号レジンマンホール						
	1		箇所			科目 第0009号表
既設マンホール接続工						
	1		箇所			科目 第0012号表
* 処分費等 *						
コンクリート廃材処理費 C O 無筋						
共和リテック(株)	0.01		t			
管きょ工 (推進)						
鋼製さや管ボーリング方式推進工 鋼管径400mm × 本管径200mm						
鋼製さや管ボーリング方式一重ケーシング方式 さや管径400mm 本管径200mm						
	21		m			科目 第0004号表
立坑工						

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (交付金) ***

頁0-0006

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライナープレート式土留工及び土工 円形ライナープレート φ2500 t=2.7mm					
	1	箇所			科目 第0005号表
ライナープレート式土留工及び土工 円形ライナープレート φ1500 t=2.7mm					
	1	箇所			科目 第0007号表
ライナープレート式土留工及び土工 円形ライナープレート φ2000 t=2.7mm					
	1	箇所			科目 第0006号表
* 処分費等 *					
残土処分工 明科建材(株)					
	53	m 3			
* すべての諸経費の対象額に含めない *					
スクラップ 配合 可鍛コロ (旧配合くず A)					
	0.2	t			
薬液注土工					
薬液注土工					

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (交付金) ***

頁0-0007

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
薬液注入工					
	51	本			科目 第0008号表
付帯工					
舗装撤去工					
舗装版取壊工					
	1	式			工種 第0004号表
舗装復旧工					
	1	式			工種 第0005号表
仮設工					
水替工					
	1	式			工種 第0006号表
安全費					
安全費					
	1	式			工種 第0007号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 (交付金) ＊ ＊ ＊

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊						
運搬費						
仮設材等の運搬 製品長 1 2 m以内 運搬距離 7 . 7 k m (搬入) ライナープレート	4	t				施工 第0 -0114号表
仮設材等の運搬 製品長 1 2 m以内 運搬距離 7 . 7 k m (搬出) ライナープレート	1	t				施工 第0 -0115号表
仮設材等の積込み，取卸し費 基地積込み，現場取卸し (片道分) ライナープレート	4	t				施工 第0 -0116号表
仮設材等の積込み，取卸し費 現場積込み，基地取卸し (片道分) ライナープレート	1	t				施工 第0 -0117号表
仮設材等の運搬 製品長 1 2 m以内 運搬距離 7 . 7 k m (× 往復) 建込簡易土留	12	t				施工 第0 -0118号表
仮設材等の積込み，取卸し費 積込み，取卸し (往復分) 建込簡易土留	12	t				施工 第0 -0119号表
技術管理費						

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (交付金) ***

頁0-0009

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 既設管と連絡せず給水車で注水					施工 第0 -0120号表
	238	m			
修正 C B R 試験					
刊行物単価	1	試験			
*** 現場環境改善費 (率分) **					
率 0.0116					
*** 共通仮設費率計算額 **					
補正無の率 0.0954		補正後の率 0.1179			
*** 共通仮設費計 **					
*** 純工事費 **					
*** 現場管理費 **					
補正無の率 0.3231		補正後の率 0.3787			

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (交付金) ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 工事原価 **						
* 一般管理費 等 * 補正無の率 0.1787			前払率補正 1.0000			
			契約保証補正 0.0004			
** 工事価格 **						
** 消費税等 相当額 ** 率 0.1000						
** 工事費 **						

管路掘削

工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0011

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0002号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 土砂					
	40	m 3			施工 第0 -0100号表
機械投入埋戻工 BH山積0.28m3 (平積0.2) 礫質土					
	130	m 3			施工 第0 -0101号表
埋戻し 洗浄砂					
	30	m 3			施工 第0 -0102号表
機械投入埋戻工 BH山積0.28m3 (平積0.2) 砂					
	40	m 3			施工 第0 -0104号表
*** 単位当り ***					
	1	式			

工 種 明 細 表

工種 第0004号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下					施工 第0 -0107号表
	510	m			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし					施工 第0 -0108号表
	302	m 2			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間なし 11.5km以下 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 現場～共和リテック8.5km					施工 第0 -0109号表
	12	m 3			
処分費等					
アスファルト廃材処理費 アスファルト掘削廃材 共和リテック(株)					
	29	t			
*** 単位当り ***					
	1	式			

工 種 明 細 表

工種 第0005号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装工						
表層（車道・路肩部） 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 平均仕上り厚 3 0 mm						
	301	m 2				施工 第0 -0110号表
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚 1 1 0 mm						
	301	m 2				施工 第0 -0111号表
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚 2 0 0 mm 1層施工						
	301	m 2				施工 第0 -0112号表
*** 単位当り ***						
	1	式				

工 種 明 細 表

工種 第0006号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水替工（潜水ポンプ運転） φ 5 0 mm0. 4 K w						施工 第0 -0095号表
		13	日			
水槽（一般工事用）[鋼板製簡易水槽] 5 m 3						
		23	供用日			
* * * 単位当り * * *						
		1	式			

安全費

工種明細表

工種 第0007号表

頁0-0017

[illegible]

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (市単) ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 本工事費 (市単) ***						
管路						
マンホール工						
組立マンホール工						
組立 3 号レジン塗装マンホール						
	1		箇所			科目 第0010号表
** 直接工事費 **						
** 共通仮設費率計算額 **						
補正無の率 0.0954			補正後の率	0.1179		
** 共通仮設費計 **						

(工事費内訳書)

*** 本工事費 (市単) ***

頁0-0019

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 純工事費 **						
** 現場管理費 ** 補正無の率 0.3231						
			補正後の率	0.3787		
** 工事原価 **						
* 一般管理費等 * 補正無の率 0.1787						
			前払率補正	1.0000 契約保証補正 0.0004		
** 工事価格 **						
** 消費税等相当額 ** 率 0.1000						
** 工事費 **						
** 工事価格計 **						
** 消費税等相当額計 ** 率 0.1000						

[illegible]

ダクトイル鋳鉄管

科目内訳表

科目 第0001号表

頁0-0021

呼び径200mm

236

m

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下水道用ダクトイル鋳鉄管 直管 呼び径200mm S種 GX形					
刊行物単価	49	本			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm GX形 90°曲管					
刊行物単価	4	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm GX形 45°曲管					
刊行物単価	3	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm GX形 22 1/2°曲管					
刊行物単価	3	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm GX形 11 1/4°曲管					
刊行物単価	4	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm GX形 45°両受曲管					
刊行物単価	1	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm GX形 22 1/2°両受曲管					
刊行物単価	3	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm - 75mm GX形フランジ付T字管					
刊行物単価	2	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm-75mm GX形 渦巻式フランジ付T字管					
刊行物単価	1	個			

ダクトイル鋳鉄管

科目内訳表

科目 第0001号表

頁0-0022

呼び径200mm

236

m

施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm G X 形 継ぎ輪					
刊行物単価	2	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm G X 形 両受短管					
刊行物単価	1	個			
下水道用ダクトイル鋳鉄管 呼び径200mm G X 形 両受ソトシル仕切弁					
刊行物単価	3	基			
仕切弁筐 φ 75 ~ 200 DP2.00m以下用 調査単価	3	基			
伸縮可とう管 呼び径200mm F × U GX形 沈下量100mm					
調査単価	1	個			
下水道用接合材 呼び径200mm 異形管用 G X 形					
刊行物単価	15	個			
下水道用接合材 呼び径200mm G X 形 G - L i n k					
刊行物単価	23	個			
下水道用接合材 呼び径200mm G X 形 ライナ					
刊行物単価	12	個			
鋳鉄管布設工 吊込み据付工 (機械) φ 200mm					
	236	m			施工 第0 -0001号表

ダクトイル鋳鉄管

科目内訳表

科目 第0001号表

頁0-0023

呼び径200mm

236

m

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管切断工 φ200mm (エンジンカッター)					
	21	口			施工 第0 -0003号表
G X形継手工 (直管) φ200mm					
	47	口			施工 第0 -0004号表
G X形継手工 (異形管) φ200mm					
	15	口			施工 第0 -0005号表
G X形継手工 (G-Link) φ200mm 異形管継手工60%増					
	23	口			施工 第0 -0006号表
鋳鉄製仕切弁設置工 φ200mm (機械設置)					
	3	基			施工 第0 -0007号表
仕切弁筐(ねじ式弁筐)設置工 A形 1号					
	3	箇所			施工 第0 -0008号表
伸縮可とう管設置工 φ200mm F×S・F×U接合					
	1	基			施工 第0 -0009号表
G X形継手取外し工 (異形管) φ200mm GX型継手接合歩掛表(異形管)補正係数2.50					
	1	口			施工 第0 -0010号表
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ200mm					
	238	m			施工 第0 -0011号表

ダクトイル鋳鉄管

科目内訳表

科目 第0001号表

頁0-0024

呼び径200mm

236

m

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管明示テープ工 φ100・200・250mm						
		237	m			施工 第0 -0012号表
管明示シート工						
		230	m			施工 第0 -0013号表
*** 合 計 ***						
		236	m			
*** 単位当り ***						
		1	m			

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下水道用ダクタイル鋳鉄管 直管 呼び径75mm S種 GX形					
刊行物単価	1	本			
フランジ蓋 径75mm					
刊行物単価	2	個			
補修弁 呼び径75mm 7.5K					
刊行物単価	3	組			
フランジ短管 径75mm×L400mm					
刊行物単価	2	本			
ダクタイル鋳鉄管 短管1号 呼び径75mm GX形					
調査単価	1	個			
ダクタイル鋳鉄管 短管2号 呼び径75mm GX形					
調査単価	1	個			
空気・排泥弁・点検口室 角形□600×450、レジコン製、鉄蓋含む DP1.00m～2.00m用					
調査単価	3	組			
フランジ接合材 呼び径75mm GF型 SUS304 7.5K					
刊行物単価	6	組			
フランジ接合材 呼び径75mm RF型 SUS304 7.5K					
刊行物単価	3	組			

空気弁・排泥弁・点検口設置工

科目内訳表

科目 第0002号表

頁0-0026

3

箇所
考

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下水道用接合材 呼び径75mm G X形 ライナ					
刊行物単価	1	個			
下水道用空気弁 呼び径75mm 7.5K					
調査単価	1	基			
鋳鉄管布設工 吊込み据付工（機械）φ75mm					
	6	m			施工 第0 -0014号表
G X形継手工（直管） φ150mm以下					
	1	口			施工 第0 -0015号表
フランジ継手工 φ75mm 7.5K					
	7	口			施工 第0 -0016号表
点検口室排泥弁室レジンコンクリート製ボックス設置工					
	2	個			施工 第0 -0017号表
鋳鉄管布設工 吊込み据付工（機械）φ75mm					
	0.3	m			施工 第0 -0014号表
空気弁設置工 φ100mm以下（機械設置）					
	1	基			施工 第0 -0025号表
フランジ継手工 φ75mm 7.5K					
	2	口			施工 第0 -0016号表

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	空気弁室レンコンクリート製ボックス設置工						施工 第0 -0026号表
		1		個			
	*** 合 計 ***						
		3		箇所			
	*** 単位当り ***						
		1		箇所			

建込簡易土留工

科目内訳表

科目 第0003号表

頁0-0028

施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留（建込工） 加-ラ型 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）						
		97	m			施工 第0 -0027号表
たて込み簡易土留（引抜工）						
		97	m			施工 第0 -0029号表
たて込み簡易土留機材質料 供用日数分 深さ2.0 m掘削幅3.0 m未満						
		1	式			施工 第0 -0030号表
たて込み簡易土留（建込工） 加-ラ型 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）						
		9	m			施工 第0 -0031号表
たて込み簡易土留（引抜工）						
		9	m			施工 第0 -0032号表
たて込み簡易土留機材質料 供用日数分 深さ2.5 m掘削幅3.0 m未満						
		1	式			施工 第0 -0033号表
たて込み簡易土留機材質料 修理費及び損耗費分 深さ2.0 m掘削幅3.0 m未満						
		1	式			施工 第0 -0034号表
たて込み簡易土留（建込工） 加-ラ型 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）						
		14	m			施工 第0 -0035号表
たて込み簡易土留（引抜工）						
		14	m			施工 第0 -0036号表

施 工 名 称 など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
たて込み簡易土留機材賃料 供用日数分 深さ2.5 m掘削幅3.0 m未満							
		1		式			施工 第0 -0037号表
たて込み簡易土留機材賃料 修理費及び損耗費分 深さ2.5 m掘削幅3.0 m未満							
		1		式			施工 第0 -0038号表
*** 合 計 ***							
		120		m			
*** 単位当り ***							
		1		m			

鋼製さや管ホ-リング式一重ケーシング方式

科目内訳表

科目 第0004号表

頁0-0030

さや管径400mm 本管径200mm

						21	m
施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼製さや管推進工ホ-リング式一重ケーシング方式 打撃式掘削方式 径400mm							
		1		式			施工 第0 -0039号表
仮設備工							
		1		式			施工 第0 -0057号表
*** 合 計 ***							
		21		m			
*** 単位当り ***							
		1		m			

ライナープレート式土留工及び土工

科目内訳表

科目 第0005号表

頁0-0031

円形ライナープレート φ2500 t=2.7mm

1

箇所

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライナープレート（円形）黒皮 板厚2.7mm φ2500 残置					
刊行物単価	5.3	m			
ライナープレート（円形）黒皮 板厚2.7mm φ2500 損料					
刊行物単価	1.7	m			
ライナ - プレ - ト掘削土留工 2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm（円形） 礫質土					
	4.0	m			施工 第0 -0067号表
ライナ - プレ - ト掘削土留工 2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm（円形） 礫質土					
	2.8	m			施工 第0 -0070号表
ライナ - プレ - ト取り除き工 1 5 0 0 ~ 3 0 0 0 mm（円形） ライナープレート廃棄					
	1.7	m			施工 第0 -0072号表
鋼材切断工					
	7.9	m			施工 第0 -0060号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 養生無し 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m 3			施工 第0 -0073号表
機械投入埋戻工 BH山積0.45m3（平積0.35） 砂					
	30	m 3			施工 第0 -0074号表
グラウト注入工					
	5	m 3			施工 第0 -0077号表

科目内訳表

頁0-0032

1

[illegible]

ライナープレート式土留工及び土工

科目内訳表

科目 第0006号表

頁0-0033

円形ライナープレート φ2000 t=2.7mm

1

箇所
考

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライナープレート（円形）黒皮 板厚2.7mm φ2000 残置					
刊行物単価	3.3	m			
ライナープレート（円形）黒皮 板厚2.7mm φ2000 損料					
刊行物単価	1.7	m			
ライナ - プレ - ト掘削土留工 2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm（円形） 礫質土					
	4.0	m			施工 第0 -0067号表
ライナ - プレ - ト掘削土留工 2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm（円形） 礫質土					
	0.8	m			施工 第0 -0070号表
ライナ - プレ - ト取り除き工 1 5 0 0 ~ 3 0 0 0 mm（円形） ライナープレート廃棄					
	1.7	m			施工 第0 -0072号表
鋼材切断工					
	6.3	m			施工 第0 -0060号表
グラウト注入工					
	3	m 3			施工 第0 -0077号表
埋戻しモルタル 1 : 3 普通					
	5	m 3			
発生土運搬工 D T 4 t 積み 運搬距離 2 km 良好 BH クレーン付山積0.45m3（平積0.35m3）積込					
	10	m 3			施工 第0 -0079号表

安 曇 野 市

ライナープレート式土留工及び土工

科目内訳表

科目 第0006号表

頁0-0034

円形ライナープレート φ2000 t=2.7mm

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当り ***						
		1	箇所			

ライナープレート式土留工及び土工

科目内訳表

科目 第0007号表

頁0-0035

円形ライナープレート φ1500 t=2.7mm

1

箇所

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライナープレート（円形）黒皮 板厚2.7mm φ1500 残置					
刊行物単価	4.7	m			
ライナープレート（円形）黒皮 板厚2.7mm φ1500 損料					
刊行物単価	1.8	m			
掘削土留 A工法（人力掘削，機械排土） 杭径1．5m					
	1	本			施工 第0 -0080号表
ライナ - プレ - ト取り除き工 1500～3000mm（円形） ライナープレート廃棄					
	1.8	m			施工 第0 -0072号表
鋼材切断工					
	4.7	m			施工 第0 -0060号表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 養生無し 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ バック杓(クレーン機能付)打設					
	1	m 3			施工 第0 -0073号表
グラウト注入工					
	3	m 3			施工 第0 -0077号表
機械投入埋戻工 BH山積0.45m3（平積0.35） 砂					
	9	m 3			施工 第0 -0074号表
発生土運搬工 DT4t積み 運搬距離2km 良好 BH クレーン付山積0.45m3（平積0.35m3）積込					
	10	m 3			施工 第0 -0079号表

安 曇 野 市

ライナープレート式土留工及び土工

科目内訳表

科目 第0007号表

頁0-0036

円形ライナープレート φ1500 t=2.7mm

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当り ***						
		1	箇所			

薬液注入工

科目内訳表

科目 第0008号表

頁0-0037

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
薬液注入工（複相方式） 二重管ストレ－ナ工法 2 セット φ2500 側壁部							
		19		本			施工 第0 -0082号表
薬液注入工（複相方式） 二重管ストレ－ナ工法 2 セット φ1500 側壁部							
		15		本			施工 第0 -0083号表
薬液注入工（複相方式） 二重管ストレ－ナ工法 2 セット φ2000 側壁部							
		17		本			施工 第0 -0084号表
注入設備据付・解体（車上）							
		1		現場			施工 第0 -0085号表
*** 合 計 ***							
		51		本			
*** 単位当り ***							
		1		本			

組立 3 号レジンマンホール

科目内訳表

科目 第0009号表

頁0-0038

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
安曇野市型マンホール親子蓋（ T - 2 5 ） 径900mm×600mm 不法投棄防止 除雪対応型							
	調査単価	1		組			
転落防止梯子							
	刊行物単価	1		個			
マンホール 調整金具 調整高25mm まで							
		1		組			
レジンマンホール 調整リング 径900mm 有効高100mm							
	調査単価	2		個			
レジンマンホール 頂版ブロック 径1500mm 有効高90mm							
	調査単価	1		個			
レジンマンホール 直壁ブロック 径1500mm 有効高900mm							
	調査単価	1		個			
レジンマンホール 直壁ブロック 径1500mm 有効高1500mm							
	調査単価	1		個			
レジンマンホール 直壁ブロック 径1500mm 有効高1800mm							
	調査単価	1		個			
レジンマンホール 底盤ブロック 径1660mm 有効高160mm							
	調査単価	1		個			

安曇野市

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
削孔代 3号レジン用 リブ付管用 φ 250mm							
	調査単価	1		箇所			
組立マンホール工 3号(内径1500mm) 4 m超 ~ 5 m以下							
		1		箇所			施工 第0 -0088号表
*** 単位当り ***							
		1		箇所			

組立 3 号レジン塗装マンホール

科 目 内 訳 表

科目 第0010号表

施 工 名 称 など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
レジンマンホール 直壁ブロック（塗装費） 径 1 5 0 0 mm 有効高 9 0 0 mm							
	調査単価	1		個			
レジンマンホール 直壁ブロック（塗装費） 径 1 5 0 0 mm 有効高 1 5 0 0 mm							
	調査単価	1		個			
レジンマンホール 直壁ブロック（塗装費） 径 1 5 0 0 mm 有効高 1 8 0 0 mm							
	調査単価	1		個			
*** 単位当り ***							
		1		箇所			

砕石基礎

科目内訳表

科目 第0011号表

呼び径250mm		13		m			
施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
砕石基礎工							施工 第0 -0089号表
		5	m	3			
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下							
		6	m	3			
*** 合 計 ***							
		13	m				
*** 単位当り ***							
		1	m				

既設マンホール接続工

科目内訳表

科目 第0012号表

頁0-0042

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	1	箇所 考
構造物とりこわし 無筋構造物 人力施工 夜間作業（20時～6時）なし	0.01	m 3			施工 第0 -0090号表	
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 DID区間なし 10.9km以下	0.01	m 3			施工 第0 -0091号表	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 一般養生 夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設	0.01	m 3			施工 第0 -0092号表	
モルタル上塗工（マンホ - ル用） 配合 1：3 上塗モルタル厚 20mm	0.2	m 2			施工 第0 -0093号表	
水替工（潜水ポンプ運転） φ50mm0.4Kw	1	日			施工 第0 -0095号表	
止水プラグ φ250mm 基礎価格表	1	日				
サクシヨンホース φ75mm 刊行物単価	11	m				
土のう工 仕拵	3	袋			施工 第0 -0096号表	
止水プラグ φ250mm 全損 刊行物単価	1	個				

安 曇 野 市

施 工 名 称 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** 単位当り ***					
		1	箇所			

鋳鉄管布設工
 吊込み据付工（機械）φ200mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0001号表

頁0-0044

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.10	人			
普通作業員	0.16	人			
機械運転 （クレーン付トラック） 4 t 積 2.9 t 吊	1.41	時間			施工 第0-0002号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0045

機械運転（クレーン付トラック）

施工 第0 -0002号表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック [クレーン装置付] 4 t 積 2.9 t 吊	1.0	時間			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	5.3	L			
運転手（特殊）	0.17	人			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			

施 工 内 訳 表

頁0-0046

鋳鉄管切断工
φ200mm（エンジンカッター）

施工 第0 -0003号表

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.05	人			
普通作業員	0.09	人			
機械損料	0.05	日			調査単価
諸雑費（燃料 カッター刃損耗費 塗装費）	30	%			労務費の30%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0047

G X形継手工（直管）

施工 第0 -0004号表

φ 200mm

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.06	人			
普通作業員	0.06	人			
諸雑費（滑材・接合器具損料等）	1	%			労務費の 1 %
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0048

G X 形継手工（異形管）

施工 第0 -0005号表

φ 200mm

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
諸雑費（滑材・接合器具損料等）	1	%			労務費の 1 %
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0049

G X 形継手工 (G-Link)

施工 第0 -0006号表

φ 200mm

異形管継手工60%増

1

口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.112	人			
普通作業員	0.112	人			
諸雑費 (滑材 ・ 接合器具損料等)	1	%			労務費の 1 %
* * * 単位当り * * *	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0050

鋳鉄製仕切弁設置工
φ200mm（機械設置）

施工 第0 -0007号表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.05	人			
普通作業員	0.08	人			
機械運転 （クレーン付トラック） 4 t 積 2.9 t 吊	0.57	時間			施工 第0-0002号表
*** 単位当り ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0051

仕切弁筐(ねじ式弁筐)設置工
A形 1号

施工 第0 -0008号表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.04	人			
*** 単位当り ***	1	箇所			

施 工 内 訳 表

頁0-0052

伸縮可とう管設置工
φ200mm F×S・F×U接合

施工 第0 -0009号表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.21	人			
普通作業員	0.24	人			
機械運転 (クレーン付トラック) 4 t積 2.9 t吊	0.61	時間			施工 第0-0002号表
諸雑費 (付属品取外し工具損料等)	1	%			労務費の1%
*** 単位当り ***	1	基			

施 工 内 訳 表

頁0-0053

G X 形継手取外し工（異形管）

施工 第0 -0010号表

φ 200mm

GX型継手接合歩掛表(異形管)補正係数2.50

1

□ 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.175	人			
普通作業員	0.175	人			
諸雑費（滑材・接合器具損料等）	1	%			労務費の 1 %
*** 単位当り ***	1	□			

施 工 内 訳 表

頁0-0054

ポリエチレンスリーブ被覆工
φ 200mm

施工 第0 -0011号表

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.43	人			
普通作業員	0.43	人			
ポリエチレンスリーブ 呼び径200mm (6.0m×(1+0.1))/5.0m×100	132	m			刊行物単価
固定用ゴムバンド (4組×(1+0.25)+(5.0m-1.0m))/5.0m×100	180	個			刊行物単価
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0055

管明示テープ工
φ100・200・250mm

施工 第0 -0012号表

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.12	人			
管明示テープ 幅30mm 茶色	100	m			調査単価
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.40	人			
埋設シート W=150mm ダブル 茶色	100	m			刊行物単価
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0057

鋳鉄管布設工
吊込み据付工（機械）φ75mm

施工 第0 -0014号表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.06	人			
普通作業員	0.13	人			
機械運転 （クレーン付トラック） 4 t 積 2.9 t 吊	1.21	時間			施工 第0-0002号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0058

G X形継手工（直管）
φ150mm以下

施工 第0 -0015号表

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.05	人			
普通作業員	0.05	人			
諸雑費（滑材・接合器具損料等）	1	%			労務費の1%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

頁0-0059

フランジ継手工

施工 第0 -0016号表

φ75mm 7.5K

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.06	人			
普通作業員	0.06	人			
諸雑費（接合器具損料等）	1	%			労務費の1%
*** 単位当り ***	1	口			

施 工 内 訳 表

点検口室排泥弁室レゾンクリート製ボックス設置工

施工 第0 -0017号表

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
消火栓（排泥弁）設置工 地下式（機械施工）単口	1	箇所			施工 第0-0018号表
仕切・空気弁ボックス鉄蓋設置工 角形2号 600×500mm	1	個			施工 第0-0019号表
仕切・空気弁レゾンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 調整リソク 50mm	1	個			施工 第0-0020号表
仕切・空気弁レゾンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 上部壁200mm	1	個			施工 第0-0021号表
仕切・空気弁レゾンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 中部壁100・200mm	1	個			施工 第0-0022号表
仕切・空気弁レゾンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 下部壁400mm	1	個			施工 第0-0023号表
仕切・空気弁レゾンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 底盤40mm	1	個			施工 第0-0024号表
*** 単位当り ***	1	個			

施 工 内 訳 表

頁0-0061

消火栓（排泥弁）設置工
地下式（機械施工）単口

施工 第0 -0018号表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.08	人			
普通作業員	0.10	人			
機械運転 （クレーン付トラック） 4 t 積 2.9 t 吊	0.31	時間			施工 第0-0002号表
諸雑費（接合器具損料等）	1	%			労務費の 1 %
*** 単位当り ***	1	箇所			

仕切・空気弁ボックス鉄蓋設置工
角形2号 600×500mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0019号表

頁0-0062

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.14	人			
無収縮材 セメント系 プレミックスタイプ	14	kg			0.007m3×2.0 t / m3×1,000
*** 単位当り ***	1	個			

施 工 内 訳 表

頁0-0063

仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工
角形2号 600×500mm 調整リング 50mm

施工 第0 -0020号表

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.04	人			
レジン用接合材不飽和ポリエステル樹脂	0.07	kg			刊行物単価
*** 単位当り ***	1	個			

仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工
角形2号 600×500mm 上部壁200mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0021号表

頁0-0064

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.05	人			
レジン用接合材不飽和ポリエステル樹脂	0.07	kg			刊行物単価
*** 単位当り ***	1	個			

仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工
角形2号 600×500mm 中部壁100・200mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0022号表

頁0-0065

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.04	人			
レジン用接合材不飽和ポリエステル樹脂	0.07	kg			刊行物単価
*** 単位当り ***	1	個			

仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工
角形2号 600×500mm 下部壁400mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0023号表

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.05	人			
レジン用接合材不飽和ポリエステル樹脂	0.07	kg			刊行物単価
*** 単位当り ***	1	個			

仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工
角形2号 600×500mm 底盤40mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0024号表

頁0-0067

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.04	人			
レジン用接合材不飽和ポリエステル樹脂	0.07	kg			刊行物単価
*** 単位当り ***	1	個			

施 工 内 訳 表

頁0-0068

空気弁設置工
φ100mm以下（機械設置）

施工 第0 -0025号表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.09	人			
普通作業員	0.11	人			
機械運転 （クレーン付トラック） 4 t 積 2.9 t 吊	0.40	時間			施工 第0-0002号表
諸雑費（接合器具損料等）	1	%			労務費の 1 %
*** 単位当り ***	1	基			

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0026号表

頁0-0069

1 個 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切・空気弁ボックス鉄蓋設置工 角形2号 600×500mm	1	個			施工 第0-0019号表
仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 調整リング50mm	1	個			施工 第0-0020号表
仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 上部壁200mm	1	個			施工 第0-0021号表
仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 中部壁100・200mm	1	個			施工 第0-0022号表
仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 下部壁400mm	1	個			施工 第0-0023号表
仕切・空気弁レゾンコンクリート製ボックス設置工 角形2号 600×500mm 底盤40mm	1	個			施工 第0-0024号表
*** 単位当り ***	1	個			

施 工 内 訳 表

頁0-0070

たて込み簡易土留（建込工）

施工 第0 -0027号表

加-ラ型 山積0.28m3（平積0.2m3）

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ運転（機 - 1） クローラ型・標準 山積 0 . 2 8 m 3 排出ガス対策型 2 次基準	1.100	時間			施工 第0-0028号表
土木一般世話役	0.200	人			
特殊作業員	0.200	人			
普通作業員	0.400	人			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
土の状態〔作業効率 E 〕：地山 バックホウ規格： 加-ラ型 山積0.28m3（平積0.2m3） 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ			掘削深（m）：1.86 バックホウ機種：排出ガス対策型 2 次基準		

施 工 内 訳 表

頁0-0071

バックホウ運転 (機 - 1)
クローラ型・標準 山積0.28m3

排出ガス対策型2次基準

施工 第0 -0028号表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ(クローラ型)[標準型] 排ガス2次 山積0.28m3	1.000	時間			
運転手(特殊)	0.170	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	5.900	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			
規格:クローラ型・標準 山積0.28m3 岩石割増:岩石割増なし 豪雪割増:豪雪割増 工種条件と同じ 軽油(L/h):0			機種:排出ガス対策型2次基準 供用日当運転時間:0 特殊運転手(人/h):0		

たて込み簡易土留（引抜工）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0029号表

頁0-0072

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.120	人			
特殊作業員	0.120	人			
普通作業員	0.230	人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料 4 . 9 t 吊 (燃料油脂費含む)	0.120	日			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
掘削深 (m) : 1.86					

施工内訳表

頁0-0073

たて込み簡易土留機材賃料

供用日数分

深さ2.0 m掘削幅3.0 m未満

施工 第0 -0030号表

1 式 当り

[illegible]

安曇野市

施 工 内 訳 表

頁0-0074

たて込み簡易土留（建込工）

施工 第0 -0031号表

加-ラ型 山積0.28m3（平積0.2m3）

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ運転（機 - 1） クローラ型・標準 山積 0 . 2 8 m 3 排出ガス対策型 2 次基準	1.300	時間			施工 第0-0028号表
土木一般世話役	0.230	人			
特殊作業員	0.230	人			
普通作業員	0.470	人			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
土の状態〔作業効率 E 〕：地山 バックホウ規格： 加-ラ型 山積0.28m3（平積0.2m3） 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ			掘削深（m）：2.21 バックホウ機種：排出ガス対策型 2 次基準		

たて込み簡易土留（引抜工）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0032号表

頁0-0075

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.140	人			
特殊作業員	0.140	人			
普通作業員	0.270	人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料 4 . 9 t 吊 (燃料油脂費含む)	0.140	日			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
掘削深 (m) : 2.21					

施工内訳表

頁0-0076

たて込み簡易土留機材賃料

供用日数分

深さ2.5 m掘削幅3.0 m未満

施工 第0 -0033号表

1 式 当り

[illegible]

安曇野市

施工内訳表

頁0-0077

たて込み簡易土留機材質料
修理費及び損耗費分

施工 第0 -0034号表

1 式 当り

深さ2.0 m掘削幅3.0 m未満

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0078

たて込み簡易土留（建込工）

施工 第0 -0035号表

加-ラ型 山積0.28m3（平積0.2m3）

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ運転（機 - 1） クローラ型・標準 山積 0 . 2 8 m 3 排出ガス対策型 2 次基準	1.300	時間			施工 第0-0028号表
土木一般世話役	0.230	人			
特殊作業員	0.230	人			
普通作業員	0.470	人			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
土の状態〔作業効率 E 〕：地山 バックホウ規格： 加-ラ型 山積0.28m3（平積0.2m3） 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ			掘削深（m）：2.25 バックホウ機種：排出ガス対策型 2 次基準		

たて込み簡易土留（引抜工）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0036号表

頁0-0079

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.140	人			
特殊作業員	0.140	人			
普通作業員	0.270	人			
トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 賃料 4 . 9 t 吊 (燃料油脂費含む)	0.140	日			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当り ***	1	m			
掘削深 (m) : 2.25					

施工内訳表

頁0-0080

たて込み簡易土留機材賃料

供用日数分

深さ2.5 m掘削幅3.0 m未満

施工 第0 -0037号表

1 式 当り

[illegible]

施工内訳表

頁0-0081

たて込み簡易土留機材賃料 修理費及び損耗費分

施工 第0 -0038号表

1 式 当り

深さ2.5 m掘削幅3.0 m未満

[illegible]

安曇野市

鋼製さや管推進工ホ-リング式一重ケーシング方式
打撃式掘削方式 径400mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0039号表

頁0-0082

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
推進用鋼管 φ 400mm	21	m			施工 第0-0040号表
発生土処理	3	m 3			施工 第0-0048号表
鋼管挿入工 φ 400mm	21	m			施工 第0-0053号表
中込め注入工	2	m 3			施工 第0-0055号表
* * * 単位当り * * *	1	式			

施 工 内 訳 表

頁0-0083

推進用鋼管

施工 第0 -0040号表

φ 400mm

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
推進用鋼管 φ 400mm(STK-400) t=9.5mm	1.0	m			調査単価
鋼管加工費 φ 400mm L=1.0m	1.0	本			調査単価
推進工（ボーリング式一重ケーシング方式） 打撃式掘削方式 径400mm	1.0	m			施工 第0-0041号表
滑材注入工	1.0	m			施工 第0-0046号表
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

推進工（ボーリング式一重ケーシング方式）
打撃式掘削方式 径400mm

施工 第0 -0041号表

3 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
とび工	1.0	人			
溶接工	1.0	人			
トラック運転（機 - 18） クレーン装置付 4～4.5 t積2.9 t吊	1.0	日			施工 第0-0042号表
機械損料	1.0	日			施工 第0-0043号表
機械・器具損料	1.0	日			施工 第0-0044号表
機械・器具損料	1.0	日			施工 第0-0045号表
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排ガス1次 100 / 125 kVA	1.0	日			
空気圧縮機 [可搬式・エンジン・スクリュ] 排ガス1次 5.0 m3 / 分	1.0	日			
空気圧縮機 [可搬式・エンジン・スクリュ] 排ガス1次 10.5～11.0 m3 / 分	1.0	日			

施 工 内 訳 表

推進工（ボーリング式一重ケーシング方式）
打撃式掘削方式 径400mm

施工 第0 -0041号表

3 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電気溶接機 [交流アーク式] 手動・電撃防止器内蔵型 3 0 0 A	1.0	日			
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	148	L			
諸雑費(溶接棒、空気圧縮機オイル、エンジンオイル)	6	%			労務費の6%
*** 合 計 ***	3	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0086

トラック運転 (機 - 18)
クレーン装置付 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊

施工 第0 -0042号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック [クレーン装置付] 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊	1.000	供用日			
運転手 (特殊)	1.000	人			
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	30.200	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格 : クレーン装置付 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ 特殊運転手 (人 / 日) : 1			供用日当運転時間 : 0 トラック (供用日 / 日) : 1 軽油 (L / 日) : 30.2		

機械損料

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0043号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
推進機本体 油圧ユニット・油圧ホース含む	6.8	時間			刊行物単価
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
送風機 0.8kW	1.0	日			
動力噴霧器 8～16L/min	1.0	日			刊行物単価
動力噴霧器 19～42L/min	1.0	日			刊行物単価
グラウトポンプ〔二筒複動ピストン式〕 吐出量 3 7 ～ 1 0 0 L / 分	1.0	日			
水槽（一般工事用）〔鋼板製簡易水槽〕 5 m 3	1.0	供用日			
ラインオILER エアーハンマー2台分	2.0	台			刊行物単価
＊ ＊ ＊ 単位当り ＊ ＊ ＊	1	日			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
先導体損料 D土質 400mm 推進管用	1.0	m			刊行物単価
特殊工アーホース 38mm 6m/本	1.0	m			刊行物単価
特殊工アーホース 25mm 12m/本	1.0	m			刊行物単価
特殊送水ホース 25mm 12m/本	1.0	m			刊行物単価
× 日進量3.0m/日		日			
*** 単位当り ***	1	日			

滑材注入工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0046号表

頁0-0090

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
注入材料 岩質土	0.027	m 3			施工 第0-0047号表
滑剤注入プラント	0.3	日			刊行物単価
注入用耐圧ホース 38mm 6m/本	1.0	m			刊行物単価
諸雑費	15	%			機械損料の15%
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0091

注入材料
岩質土

施工 第0 -0047号表

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ベントナイト 2 5 k g (2 0 0 メ ッ シ ュ)	5	袋			
マッドオイル 推進工法用 潤滑剤	20	L			刊行物単価
泥水用 C M C	4.0	kg			
ハイゲル (ア ロ ン) 推進工事用増粘剤	2.0	k g			刊行物単価
水	0.93	m 3			
* * * 単位当り * * *	1	m 3			

発生土処理

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0048号表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管内清掃工（ずり出し工） 1m3 ÷ 0.4^2 π / 4 = 8.0m / m3	8	m			施工 第0-0049号表
発生土運搬工 D T 4 t 積み 運搬距離 2 . 0 km 良好 BH 山積0.28m3（平積0.2m3）積込	1	m 3			施工 第0-0051号表
* * * 単位当り * * *	1	m 3			

管内清掃工（ずり出し工）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0049号表

頁0-0093

$$1\text{m}^3 \div 0.4^2 \pi / 4 = 8.0\text{m} / \text{m}^3$$

15 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	2.0	人			
機械損料 HR-400型	1.0	日			刊行物単価
器具損料	1.0	日			施工 第0-0050号表
トラック運転（機 - 18） クレーン装置付 4～4.5t積2.9t吊	1.0	日			施工 第0-0042号表
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排ガス1次 100 / 125kVA	1.0	日			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	88	L			
諸雑費(インソイル等)	3	%			労務費の3%
*** 合 計 ***	15	m			
*** 単位当り ***	1	m			

器具損料

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0050号表

頁0-0094

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクレーパー φ 400mm用	1.0	日			刊行物単価
バケット 0.1m3	1.0	日			刊行物単価
諸雑費	30	%			損料の30%
*** 単位当り ***	1	日			

施 工 内 訳 表

頁0-0095

発生土運搬工 DT 4 t 積み

施工 第0 -0051号表

運搬距離 2 . 0 km 良好

BH 山積0.28m3 (平積0.2m3) 積込

10

m 3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機 - 2 2) オンロード・ディーゼル 4 t 積級	0.350	日			施工 第0-0052号表
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
運搬距離 (km) : 2 機種区分 (BHバケット平積容量) : BH 山積0.28m3 (平積0.2m3)、4 t DT 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ			市街地状況 : D I D地区無し タイヤ損耗費及び補修費 : 良好		

施 工 内 訳 表

頁0-0096

ダンプトラック運転（機 - 2 2）
オンロード・ディーゼル 4 t 積級

施工 第0 -0052号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	1.290	供用日			
運転手（一般）	1.000	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	32.000	L			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t 良好	1.290	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格：オンロード・ディーゼル 4 t 積級 岩石割増：岩石割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ 一般運転手（人 / 日）：1 タイヤ損耗費（供用日 / 日）：1.29			タイヤ損耗費区分（運搬路面状況）：運搬路面状況 良好 供用日当運転時間：0 ダンプトラック（供用日 / 日）：1.29 軽油（L / 日）：32		

鋼管挿入工
φ400mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0053号表

頁0-0097

21 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下水道用ダクタイル鋳鉄管 内挿管 呼び径200mm 長1,000mm 1種 G X 形	1	本			調査単価
下水道用ダクタイル鋳鉄管 内挿管 呼び径200mm 長1,500mm 1種 G X 形	14	本			調査単価
さや管推進用 E P S リング 呼び径200mm	16	組			調査単価
G X 形継手工 (直管) φ 200mm	16	口			施工 第0-0004号表
E P S リング取付挿入工 本管径200mm	16	口			施工 第0-0054号表
*** 合 計 ***	21	m			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0098

E P S リング取付挿入工
本管径200mm

施工 第0 -0054号表

1 口 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	0.02	人			
*** 単位当り ***	1	口			

中込め注入工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0055号表

頁0-0099

5 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
グラウトポンプ [二筒複動ピストン式] 吐出量 3 7 ~ 1 0 0 L / 分	1.0	日			
グラウトミキサ [立型 1 槽式] 攪拌容量 2 0 0 L × 1 槽	1.0	日			
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排ガス 1 次 1 0 0 / 1 2 5 k V A	1.0	日			
水槽 (一般工事用) [鋼板製簡易水槽] 5 m 3	1.0	供用日			
注入用耐圧ホース 25mm 12m/本	1.0	日			刊行物単価
注入材料 (中込材)	5.0	m 3			施工 第0-0056号表
諸雑費 (イ ン ジ ン オ 伊 等)	2	%			労務費の2%
*** 合 計 ***	5	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			

安 曇 野 市

注入材料（中込材）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0056号表

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
セメント（普通ポルトランド） 2 5 kg袋入	0.5	t			
ベントナイト 2 5 k g （ 2 0 0メッシュ）	4	袋			
水	0.80	m 3			
＊ ＊ ＊ 単位当り ＊ ＊ ＊	1	m 3			

仮設備工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0057号表

頁0-0101

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
坑口工 φ 400mm	2	箇所			施工 第0-0058号表
鏡切り工 φ 400mm ライナープレート	2	箇所			施工 第0-0061号表
推進設備等設置・撤去工	1	式			施工 第0-0062号表
中込注入設備工	1	箇所			施工 第0-0066号表
*** 単位当り ***	1	式			

坑口工
φ400mm

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0058号表

頁0-0102

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	1.4	人			
止水器 φ400mm	1	組			調査単価
鋼材溶接工	2.6	m			施工 第0-0059号表
鋼材切断工	5.3	m			施工 第0-0060号表
トラック運転 (機 - 18) クレーン装置付 4～4.5t積2.9t吊	0.2	日			施工 第0-0042号表
*** 単位当り ***	1	箇所			

施 工 内 訳 表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電力料金 使用料金 臨時 低圧電力	2.700	k W h			
溶接棒 (4 3 0 1) 径 4	0.400	kg			
土木一般世話役	0.010	人			
溶接工	0.076	人			
普通作業員	0.021	人			
電気溶接機 [交流アーク式] 手動・電撃防止器内蔵型 2 5 0 A	0.076	日			
諸雑費	30.000	%			
* * * 単位当り * * *	1	m			
電力区分：低圧 臨時			豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

鋼材切断工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0060号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
酸素ガス ポンベ	0.163	m 3			
アセチレンガス ポンベ	0.028	kg			
土木一般世話役	0.007	人			
溶接工	0.053	人			
普通作業員	0.020	人			
諸雑費	30.000	%			
*** 単位当り ***	1	m			

施 工 内 訳 表

頁0-0105

鏡切り工
φ400mm ライナープレート

施工 第0 -0061号表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.006	人			
溶接工	0.051	人			
普通作業員	0.019	人			
諸雑費	5.000	%			
1 m当り					
*** 単位当り ***	1	箇所			
土留種類：ライナ - プレ - ト			鏡切り延長 (m) : 2.8		

推進設備等設置・撤去工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0062号表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
推進設備等設置・撤去工	1	箇所			施工 第0-0063号表
先導体据付工	1	箇所			施工 第0-0064号表
先導体撤去工（解体回収）	1	箇所			施工 第0-0065号表
*** 単位当り ***	1	式			

施 工 内 訳 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.5	人			
特殊作業員	10.5	人			
設備機械工	3.5	人			
普通作業員	6.5	人			
溶接工	2.5	人			
電工	3.5	人			
とび工	3.5	人			
移動式クレーン作業料金 16t吊り	2.0	日			刊行物単価
トラック運転 (機 - 18) クレーン装置付 4 ~ 4.5 t積2.9 t吊	2.5	日			施工 第0-0042号表
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排ガス1次 100 / 125 kVA	3.0	日			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	264	L			
電気溶接機 [交流アーク式] 手動・電撃防止器内蔵型 300 A	2.0	日			

推進設備等設置・撤去工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0063号表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
諸雑費(溶接棒、酸素、アセリン、エンジンオイル等)	3	%			労務費の3%
*** 単位当り ***	1	箇所			

先導体据付工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0064号表

頁0-0109

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.4	人			
溶接工	0.4	人			
特殊作業員	0.8	人			
普通作業員	0.8	人			
トラック運転 (機 - 1 8) クレーン装置付 4 ~ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	0.4	日			施工 第0-0042号表
発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排ガス1次 1 0 0 / 1 2 5 k V A	0.4	日			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	35.2	L			
電気溶接機 [交流アーク式] 手動・電撃防止器内蔵型 3 0 0 A	0.4	日			
諸雑費(溶接棒、インソイル、雑鋼材等)	3	%			労務費の3%
* * * 単位当り * * *	1	箇所			

先導体撤去工（解体回収）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0065号表

頁0-0110

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.8	人			
溶接工	1.6	人			
特殊作業員	0.8	人			
普通作業員	1.6	人			
トラック運転（機 - 1 8 ） クレーン装置付 4 ～ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	0.8	日			施工 第0-0042号表
先導体組立整備費 $345,000円 \times 0.9 \times (180-21) / 180$	1	式			調査単価
諸雑費(酸素、アセリン)	2	%			労務費の2%
* * * 単位当り * * *	1	箇所			

中込注入設備工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0066号表

頁0-0111

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
とび工	0.5	人			
トラック運転 (機 - 1 8) クレーン装置付 4 ~ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	0.5	日			施工 第0-0042号表
諸雑費	3	%			労務費の3%
* * * 単位当り * * *	1	箇所			

施 工 内 訳 表

頁0-0112

ライナ - プレ - ト掘削土留工

2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm (円形)

礫質土

施工 第0 -0067号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.610	人			
トンネル特殊工	1.830	人			
普通作業員	0.610	人			
バックホウ運転 (機 - 1 8) クローラ型・標準 山積 0 . 4 5 m 3 排出ガス対策型 1 次基準	0.610	日			施工 第0-0068号表
トラック運転 (機 - 1 8) クレーン装置付 4 ~ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	0.610	日			施工 第0-0069号表
諸雑費	1	式			
* * * 単位当り * * *	1	m			
土質区分：礫質土 掘削積込の機種：バックホウ 平積 0 . 3 5 m 3 吊機械の機種：トラック (クレーン装置付) 4t積 2.9t吊			径・短辺幅 (mm) : 2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm (円形) バックホウ機種：排出ガス対策型 1 次基準 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0113

バックホウ運転 (機 - 1 8)
クローラ型・標準 山積 0 . 4 5 m 3

排出ガス対策型 1 次基準

施工 第0 -0068号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス 1 次 山積 0 . 4 5 m 3	1.500	供用日			
運転手 (特殊)	1.000	人			
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	50.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格 : クローラ型・標準 山積 0 . 4 5 m 3 岩石割増 : 岩石割増なし 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ 特殊運転手 (人 / 日) : 1			機種 : 排出ガス対策型 1 次基準 供用日当運転時間 : 0 バックホウ (供用日 / 日) : 1.5 軽油 (L / 日) : 50		

施 工 内 訳 表

頁0-0114

トラック運転 (機 - 18)
クレーン装置付 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊

施工 第0 -0069号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック [クレーン装置付] 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊	1.230	供用日			
運転手 (特殊)	1.000	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	31.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格 : クレーン装置付 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ 特殊運転手 (人 / 日) : 1			供用日当運転時間 : 0 トラック (供用日 / 日) : 1.23 軽油 (L / 日) : 31		

施 工 内 訳 表

頁0-0115

ライナ - プレ - ト掘削土留工
2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm (円形)

礫質土

施工 第0 -0070号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.610	人			
トンネル特殊工	1.830	人			
普通作業員	0.610	人			
クラムシェル運転 (機 - 1 8) テレスコピック式 0 . 4 m 3	0.610	日			施工 第0-0071号表
トラック運転 (機 - 1 8) クレーン装置付 4 ~ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	0.610	日			施工 第0-0069号表
諸雑費	1	式			
* * * 単位当り * * *	1	m			
土質区分：礫質土 掘削積込の機種：クラムシェル 平積 0 . 4 m 3 (深堀用) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ			径・短辺幅 (mm) : 2 0 0 0 ~ 3 9 0 0 mm (円形) 吊機械の機種：トラック (クレーン装置付) 4t積 2.9t吊		

施 工 内 訳 表

頁0-0116

クラムシェル運転 (機 - 18)
テレスコピック式 0.4m3

施工 第0 -0071号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
油圧クラムシェル [テレスコピック式] 0.4m3	1.600	供用日			
運転手 (特殊)	1.000	人			
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	96.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格 : テレスコピック式 0.4m3 供用日当運転時間 : 0 クラムシェル (供用日 / 日) : 1.6 軽油 (L / 日) : 96			岩石割増 : 岩石割増なし 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ 特殊運転手 (人 / 日) : 1		

施 工 内 訳 表

頁0-0117

ライナ - プレ - ト取り除き工
1 5 0 0 ~ 3 0 0 0 mm (円形)

ライナープレート廃棄

施工 第0 -0072号表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.290	人			
特殊作業員	0.290	人			
普通作業員	0.580	人			
トラック運転 (機 - 1 8) クレーン装置付 4 ~ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	0.290	日			施工 第0-0069号表
諸雑費	1	式			
1 m 当り		m			
* * * 単位当り * * *	1	m			
径・短辺幅 (mm) : 1 5 0 0 ~ 3 0 0 0 (円形) 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ			ライナープレート	区分 : ライナープレート廃棄	

施 工 内 訳 表

頁0-0118

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

施工 第0 -0073号表

養生無し

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m 3 当り

機械構成比： 3.90%

労務構成比： 33.90%

材料構成比： 62.20%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料 ～排ガス 2 0 1 4 山積 0 . 8 m3	3.68%	日		バックホウ [クローラ型・クレーン付] 賃料		
特殊作業員	10.56%	人		特殊作業員		
普通作業員	8.00%	人		普通作業員		
運転手 (特殊)	6.83%	人		運転手 (特殊)		
土木一般世話役	6.59%	人		土木一般世話役		
生コン 2 1 - 8 - 2 5 (2 0) - N (W / C = 6 0 % 以下)	60.32%	m 3		生コンクリート 2 4 - 1 2 - 2 5 高炉 W / C 5 5 %		

施 工 内 訳 表

頁0-0119

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

施工 第0 -0073号表

養生無し

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ

バックホ(クレーン機能付)打設

1

m 3 当り

機械構成比： 3.90%

労務構成比：

33.90%

材料構成比： 62.20%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	1.78%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
構造物種別：無筋・鉄筋構造物 養生工の種類：養生無し コンクリート規格：21-8-25(W/C=60%以下) 生コンクリート夜間割増：夜間割増なし				打設工法：バックホ(クレーン機能付)打設 コンクリートセメント種類：普通(N) 生コンクリート小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

機械投入埋戻工 BH山積0.45m3 (平積0.35)
砂

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0074号表

頁0-0120

100 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.500	人			
普通作業員	3.800	人			
埋戻土	126.000	m 3			
バックホウ運転 (機 - 1) クローラ型・クレーン付 山積 0 . 4 5 m 3 排出ガス対策型 1 次基準	6.200	時間			施工 第0-0075号表
タンバ締固め	100.000	m 3			施工 第0-0076号表
諸雑費	1	式			
* * * 合 計 * * *	100	m 3			
* * * 単位当り * * *	1	m 3			
バックホウ規格：バックホウ投入 山積0.45m3 (平積0.35m3) 土質区分：砂 バックホウ機種：排出ガス対策型 1 次基準			埋戻土単価 (円 / m3) : 土量の変化率：ほぐした土量 / 締固め後の土量 (L / C) 豪雪割増 (バックホウ)：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0121

バックホウ運転（機 - 1）

クローラ型・クレーン付 山積0.45m³ 排出ガス対策型1次基準

施工 第0 -0075号表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] クレーン付・排ガス1次 山積0.45m ³	1.000	時間			
運転手（特殊）	0.170	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	8.600	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			
規格：クローラ型・クレーン付 山積0.45m ³ 岩石割増：岩石割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ 軽油（L / h）：8.6			機種：排出ガス対策型1次基準 供用日当運転時間：0 特殊運転手（人 / h）：0.17		

タンパ締固め

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0076号表

頁0-0122

機械構成比： 1.24% 労務構成比： 97.05% 材料構成比： 1.71% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
タンパ(ランマ)賃料 質量60～80kg	1.24%	日		タンパ(ランマ)賃料		
特殊作業員	51.22%	人		特殊作業員		
普通作業員	45.83%	人		普通作業員		
ガソリン レギュラー スタンド	1.71%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

グラウト注入工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0077号表

頁0-0123

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.049	人			
特殊作業員	0.098	人			
普通作業員	0.049	人			
グラウト材料	1	m 3			施工 第0-0078号表
諸雑費	21	%			労務費の21%
* * * 単位当り * * *	1	m 3			

グラウト材料

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0078号表

頁0-0124

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
セメント（高炉B） バラ	0.5	t			
フライアッシュ	250	k g			刊行物単価
ベントナイト 2 5 k g （ 2 0 0メッシュ）	4	袋			
*** 単位当り ***	1	m 3			

施 工 内 訳 表

頁0-0125

発生土運搬工 D T 4 t 積み
運搬距離 2 km 良好

施工 第0 -0079号表

BH クレーン付山積0.45m3 (平積0.35m3) 積込

10 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機 - 2 2) オンロード・ディーゼル 4 t 積級	0.300	日			施工 第0-0052号表
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
運搬距離 (km) : 2 機種区分 (B H バケット平積容量) : BH クレーン付山積0.45m3 (平積0.35) 、4tDT 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ			市街地状況 : D I D 地区無し タイヤ損耗費及び補修費 : 良好		

施 工 内 訳 表

頁0-0126

掘削土留

A工法（人力掘削，機械排土）

杭径 1 . 5 m

施工 第0 -0080号表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.739	人			
トンネル特殊工	3.477	人			
特殊作業員	1.739	人			
普通作業員	1.739	人			
クラムシェル運転 （機 - 1 8 ） テレスコピック式・排ガス 1 次 0 . 4 m 3	1.739	日			施工 第0-0081号表
ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ] 賃料 排ガス 2 0 1 1 2 5 t 吊 (燃料油脂費含む)	1.739	日			
諸雑費	8.000	%			
*** 単位当り ***	1	本			
工法：A工法（人力掘削，機械排土） 砂・砂質・粘性・レキ質土の掘削長（m）：6.1 R T C 賃料補正係数：1			杭径（m）：1.5 岩塊・玉石・軟岩～硬岩の掘削長（m）：0 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0127

クラムシェル運転（機 - 18）
 テレスコピック式・排ガス1次 0.4m3

施工 第0 -0081号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
油圧クラムシェル [テレスコピック式] 排ガス1次 0.4m3	1.430	供用日			
運転手（特殊）	1.000	人			
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格：テレスコピック式・排ガス1次 0.4m3 供用日当運転時間：0 クラムシェル（供用日 / 日）：1.43 軽油（L / 日）：42			岩石割増：岩石割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ 特殊運転手（人 / 日）：1		

施 工 内 訳 表

頁0-0128

薬液注入工（複相方式）
二重管ストレ－ナ工法

施工 第0 -0082号表

2セット

φ2500 側壁部

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.154	人			
特殊作業員	0.462	人			
普通作業員	0.308	人			
薬液注入剤（溶液型） 無機タイプ	731.000	L			
注入材料（2次注入）	365.000	L			
ボーリングマシン〔油圧式〕 5．5kW級	0.308	日			
薬液注入施工機器〔薬液注入ポンプ〕 5～20L／分×2（9．8MPa）	0.308	日			
削孔消耗材料費	1.000	式			
注入消耗材料費	1.096	式			
諸雑費	20.000	%			
*** 単位当り ***	1	本			
セット数：2セット 二次注入量（L／本）：365 2次注入材料費（円／L）：			一次注入量（L／本）：731 材料区分（1次注入）：無機瞬結タイプ（溶液型） 礫質土部分削孔長（m／本）：4		

安 曇 野 市

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0082号表

薬液注入工（複相方式）

二重管ストレ - ナ工法

2 セット

φ 2500 側壁部

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砂質土部分削孔長（m / 本）：0 土被り長（m）：0.93 礫質土 1 m 当り削孔消耗材料費（円 / m）： 粘性土 1 m 当り削孔消耗材料費（円 / m）： 特許料金：0					粘性土部分削孔長（m / 本）：0 水ガラス積算流量計：水ガラス積算流量計計上しない 砂質土 1 m 当り削孔消耗材料費（円 / m）： 注入消耗材料費（円 / kL）： 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ

施 工 内 訳 表

頁0-0130

薬液注入工（複相方式）

二重管ストレ - ナ工法

2 セット

φ 1500 側壁部

施工 第0 -0083号表

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.149	人			
特殊作業員	0.447	人			
普通作業員	0.298	人			
薬液注入剤（溶液型） 無機タイプ	694.000	L			
注入材料（2次注入）	347.000	L			
ボーリングマシン〔油圧式〕 5 . 5 k W級	0.298	日			
薬液注入施工機器〔薬液注入ポンプ〕 5 ~ 2 0 L / 分 × 2 (9 . 8 M P a)	0.298	日			
削孔消耗材料費	1.000	式			
注入消耗材料費	1.041	式			
諸雑費	20.000	%			
*** 単位当り ***	1	本			
セット数：2セット 二次注入量（L / 本）：347 2次注入材料費（円 / L）：			一次注入量（L / 本）：694 材料区分（1次注入）：無機瞬結タイプ（溶液型） 礫質土部分削孔長（m / 本）：3.98		

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0083号表

薬液注入工（複相方式）

二重管ストレ - ナ工法

2 セット

φ1500 側壁部

1

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砂質土部分削孔長（m / 本）：0 土被り長（m）：0.91 礫質土 1 m 当り削孔消耗材料費（円 / m）： 粘性土 1 m 当り削孔消耗材料費（円 / m）： 特許料金：0					粘性土部分削孔長（m / 本）：0 水ガラス積算流量計：水ガラス積算流量計計上しない 砂質土 1 m 当り削孔消耗材料費（円 / m）： 注入消耗材料費（円 / kL）： 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ

施 工 内 訳 表

頁0-0132

薬液注入工（複相方式）
二重管ストレ－ナ工法

施工 第0 -0084号表

2セット

φ2000 側壁部

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.152	人			
特殊作業員	0.456	人			
普通作業員	0.304	人			
薬液注入剤（溶液型） 無機タイプ	715.000	L			
注入材料（2次注入）	357.000	L			
ボーリングマシン〔油圧式〕 5．5kW級	0.304	日			
薬液注入施工機器〔薬液注入ポンプ〕 5～20L／分×2（9．8MPa）	0.304	日			
削孔消耗材料費	1.000	式			
注入消耗材料費	1.072	式			
諸雑費	20.000	%			
*** 単位当り ***	1	本			
セット数：2セット 二次注入量（L／本）：357 2次注入材料費（円／L）：			一次注入量（L／本）：715 材料区分（1次注入）：無機瞬結タイプ（溶液型） 礫質土部分削孔長（m／本）：4		

二重管ストレーナ工法

2 セット

φ 2000 側壁部

1 本 当り

注入設備据付・解体（車上）

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0085号表

頁0-0134

1 現場 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.000	人			
特殊作業員	2.600	人			
普通作業員	3.700	人			
トラック運転（機 - 1） クレーン装置付 4～4.5 t積2.9 t吊	14.500	時間			施工 第0-0086号表
トラック〔普通型〕 4～4.5 t積	2.000	日			
諸雑費	1	式			
小計					
トラック損料（注入時）	7.740	日			施工 第0-0087号表
*** 単位当り ***	1	現場			
総注入量（k L）：54.68 1日当り施工本数（本／日）：6.6 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ			1本当り注入量（k L／本）：1.07 供用日の割増率（α）：1		

施 工 内 訳 表

頁0-0135

トラック運転 (機 - 1)
クレーン装置付 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊

施工 第0 -0086号表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック [クレーン装置付] 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊	1.000	時間			
運転手 (特殊)	0.170	人			
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	5.300	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			
規格 : クレーン装置付 4 ~ 4.5 t 積 2.9 t 吊 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ 軽油 (L / h) : 0			供用日当運転時間 : 0 特殊運転手 (人 / h) : 0		

施 工 内 訳 表

頁0-0136

トラック損料（注入時）

施工 第0 -0087号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
トラック〔クレーン装置付〕 4～4.5 t積 2.9 t吊	1.000	日			
トラック〔普通型〕 4～4.5 t積	1.000	日			
*** 単位当り ***	1	日			
豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ					

施工内訳表

頁0-0137

組立マンホール工

3号(内径1500mm)

4 m超 ~ 5 m以下

施工 第0 -0088号表

箇所 当り

[illegible]

安曇野市

砕石基礎工

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0089号表

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砕石基礎設置工 機械施工 手間のみ	1.000	m 3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m 3			
施工区分：機械施工 時間的制約の有無：時間的制約なし			施工規模：1 0 m 3 未満 夜間作業の有無：夜間作業（ 2 0 時～ 6 時）なし		

施工内訳表

頁0-0139

構造物とりこわし
無筋構造物 人力施工

夜間作業（20時～6時）なし

施工 第0 -0090号表

1 m 3 当り

[illegible]

施工内訳表

頁0-0140

殻運搬

施工 第0 -0091号表

コンクリート(無筋)構造物とりこわし

機械積込 DID区間なし 10.9km以下

1 m 3 当り

機械構成比： 41.69% 労務構成比： 43.88% 材料構成比： 14.43% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機労材規格	構成比	単位	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	41.69%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	43.88%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	14.43%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：コンクリート(無筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：10.9km以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0141

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

施工 第0 -0092号表

一般養生

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設

1

m 3 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 29.40%

材料構成比： 70.60%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	13.20%	人		普通作業員		
特殊作業員	7.51%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	6.69%	人		土木一般世話役		
生コン 1 8 - 8 - 2 5 (2 0) - B B (W / C = 6 0 % 以下)	70.60%	m 3		生コンクリート 2 4 - 1 2 - 2 5 高炉 W / C 5 5 %		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

頁0-0142

コンクリート 無筋・鉄筋構造物

一般養生

夜間割増なし 豪雪割増 工種条件と同じ 人力打設

施工 第0 -0092号表

1

m 3 当り

機械構成比： 0.00% 勞務構成比： 29.40% 材料構成比： 70.60% 市場單價構成比： 0.00%

標準単価：

[illegible]

施工 第0 -0093号表

上塗モルタル厚 20 mm

1 m 2 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0144

モルタル練
セメント(高炉B)バラ

施工 第0 -0094号表

1 m 3 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00%				標準単価： 1 m 3 当り		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	55.43%	人		普通作業員		
土木一般世話役	27.71%	人		土木一般世話役		
セメント(高炉B) バラ	11.28%	t		セメント(高炉B) 25kg袋入		
コンクリート用骨材 砂 細目(洗い)	5.42%	m 3		コンクリート用骨材 砂 細目(洗い)		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

頁0-0145

モルタル練

セメント(高炉B)バラ

機械構成比： 0.00%

勞務構成比： 83.30%

材料構成比： 16.70%

市場単価構成比： 0.00%

1
標準単価：

m 3 当り

施工 第0 -0094号表

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0146

水替工（潜水ポンプ運転）

施工 第0 -0095号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
潜水ポンプ損料（φ 5 0 mm0. 4 K w）	1.000	日			
特殊作業員	0.070	人			
普通作業員	0.050	人			
諸雑費	2.000	%			
*** 単位当り ***	1	日			
動力源：商用電源 潜水ポンプ台数：1 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ			水替方法：作業時排水 発動発電機台数：0		

施 工 内 訳 表

頁0-0147

土のう工
仕拵

施工 第0 -0096号表

100

袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	2.000	人			
土のう (P E) 4 8 × 6 2 cm	100.000	枚			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	袋			
*** 単位当り ***	1	袋			
作業区分：仕拵			土砂区分 (A = 1 ~ 3 時選択) : 流用土		

施 工 内 訳 表

頁0-0148

床掘り
土砂

施工 第0 -0097号表

1 m 3 当り

機械構成比： 19.87%		労務構成比： 72.99%		材料構成比： 7.14%		市場単価構成比： 0.00%		標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考	
バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス 2 次 山積 0 . 2 8 m 3		19.87%	供用日		バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス 2 次				
運転手（特殊）		39.96%	人		運転手（特殊）				
普通作業員		33.03%	人		普通作業員				
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油		7.14%	L		軽油 パトロール給油				
積算単価			式		積算単価				
*** 単位当り ***									

施工内訳表

頁0-0149

床掘り

土砂

機械構成比： 19.87%

勞務構成比： 72.99%

材料構成比： 7.14%

市場単価構成比： 0.00%

1
標準単価：

m 3 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0150

機械掘削工（バックホウ）

施工 第0 -0098号表

クローラ型山積0.28m3（平積0.2m3）

100

m 3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.900	人			
普通作業員	5.000	人			
バックホウ運転（機 - 1） クローラ型・標準 山積 0 . 2 8 m 3 排出ガス対策型 2 次基準	11.100	時間			施工 第0-0099号表
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
バックホウ規格： クローラ型山積0.28m3（平積0.2m3） 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ			バックホウ機種：	排出ガス対策型 2 次基準	

施 工 内 訳 表

頁0-0151

バックホウ運転 (機 - 1)
クローラ型・標準 山積0.28m3

排出ガス対策型2次基準

施工 第0 -0099号表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ(クローラ型)[標準型] 排ガス2次 山積0.28m3	1.000	時間			
運転手(特殊)	0.170	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	5.900	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	時間			
規格:クローラ型・標準 山積0.28m3 岩石割増:岩石割増なし 豪雪割増:豪雪割増 工種条件と同じ 軽油(L/h):5.9			機種:排出ガス対策型2次基準 供用日当運転時間:0 特殊運転手(人/h):0.17		

埋戻し

施工内訳表

施工 第0 -0100号表

頁0-0152

機械構成比： 9.48% 労務構成比： 86.47% 材料構成比： 4.05% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス 2 次 山積 0 . 2 8 m 3	8.90%	供用日		バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス 2 次		
タンパ及びランマ [ランマ] 質量 6 0 ~ 8 0 k g	0.58%	供用日		タンパ及びランマ [ランマ]		
普通作業員	49.42%	人		普通作業員		
特殊作業員	19.17%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	17.88%	人		運転手（特殊）		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	3.20%	L		軽油 パトロール給油		

埋戻し

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0100号表

機械構成比：9.48%

労務構成比：86.47%

材料構成比：4.05%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1

m 3

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー スタンド	0.85%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				土質：土砂		

施 工 内 訳 表

頁0-0154

機械投入埋戻工 BH山積0.28m3 (平積0.2)
礫質土

施工 第0 -0101号表

100 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.500	人			
普通作業員	3.800	人			
埋戻土	133.000	m 3			
バックホウ運転 (機 - 1) クローラ型・標準 山積0.28m3 排出ガス対策型2次基準	7.600	時間			施工 第0-0099号表
タンバ締固め	100.000	m 3			施工 第0-0076号表
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
バックホウ規格：バックホウ投入 山積0.28m3 (平積0.2m3) 土質区分：レキ質土 バックホウ機種：排出ガス対策型2次基準			埋戻土単価(円/m3)： 土量の変化率：ほぐした土量/締固め後の土量(L/C) 豪雪割増(バックホウ)：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0155

埋戻し
洗淨砂

施工 第0 -0102号表

100 m 3 当り
考

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻し 土砂	100	m 3			施工 第0-0103号表
埋戻土 (洗滌砂)	126	m 3			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			

埋戻し

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0103号表

頁0-0156

機械構成比： 9.48% 労務構成比： 86.47% 材料構成比： 4.05% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス 2 次 山積 0 . 2 8 m 3	8.90%	供用日		バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス 2 次		
タンパ及びランマ [ランマ] 質量 6 0 ~ 8 0 k g	0.58%	供用日		タンパ及びランマ [ランマ]		
普通作業員	49.42%	人		普通作業員		
特殊作業員	19.17%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	17.88%	人		運転手（特殊）		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	3.20%	L		軽油 パトロール給油		

埋戻し

施工内訳表

施工 第0 -0103号表

機械構成比：9.48%

労務構成比：86.47%

材料構成比：4.05%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1

m 3

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー スタンド	0.85%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				土質：土砂		

施 工 内 訳 表

頁0-0158

機械投入埋戻工 BH山積0.28m3 (平積0.2)
砂

施工 第0 -0104号表

100 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.500	人			
普通作業員	3.800	人			
埋戻土	126.000	m 3			
バックホウ運転 (機 - 1) クローラ型・標準 山積 0 . 2 8 m 3 排出ガス対策型 2 次基準	7.600	時間			施工 第0-0099号表
タンバ締固め	100.000	m 3			施工 第0-0076号表
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
バックホウ規格：バックホウ投入 山積0.28m3 (平積0.2m3) 土質区分：砂 バックホウ機種：排出ガス対策型 2 次基準			埋戻土単価 (円 / m3) : 土量の変化率：ほぐした土量 / 締固め後の土量 (L / C) 豪雪割増 (バックホウ)：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0159

発生土運搬工 D T 4 t 積み
運搬距離 2 km 良好

施工 第0 -0105号表

BH 山積0.28m3 (平積0.2m3) 積込

10 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機 - 2 2) オンロード・ディーゼル 4 t 積級	0.350	日			施工 第0-0052号表
*** 合 計 ***	10	m 3			
*** 単位当り ***	1	m 3			
運搬距離 (km) : 2 機種区分 (B H バケット平積容量) : BH 山積0.28m3 (平積0.2m3)、4 t DT 豪雪割増 : 豪雪割増 工種条件と同じ			市街地状況 : D I D 地区無し タイヤ損耗費及び補修費 : 良好		

施工内訳表

頁0-0160

リブ付硬質塩化ビニル管設置工
継手類含む

施工 第0 -0106号表

1 m 当り

[illegible]

安曇野市

施 工 内 訳 表

頁0-0161

舗装版切断
アスファルト舗装版

施工 第0 -0107号表

機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音 切削深 2 0 c m級 B径 5 6 c m	10.49%	供用日		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		
特殊作業員	19.60%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	10.55%	人		土木一般世話役		
普通作業員	8.73%	人		普通作業員		
ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 c m)	23.29%	枚		ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 c m)		
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%	L		ガソリン レギュラー スタンド		

施 工 内 訳 表

舗装版切断
アスファルト舗装版

施工 第0 -0107号表

機械構成比： 15.42% 労務構成比： 15cm以下 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				アスファルト舗装版厚：15cm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0163

舗装版破碎
アスファルト舗装版

施工 第0 -0108号表

障害等なし

1 m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単 価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 ～ 超低・～ 排ガス 3 次 山積 0 . 4 5 m 3	13.49%	日		バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料		
土木一般世話役	28.91%	人		土木一般世話役		
運転手 (特殊)	27.69%	人		運転手 (特殊)		
普通作業員	23.89%	人		普通作業員		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	6.02%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

機械構成比：

13.49%

労務構成比：

80.49%

材料構成比：

6.02%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

施 工 内 訳 表

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

13.49%

労務構成比：

障害等なし

80.49%

材料構成比：

6.02%

市場単価構成比：

施工 第0 -0108号表

0.00%

1
標準単価：

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 騒音振動対策：騒音振動対策不要 積込作業の有無：積込作業あり				障害等の有無：障害等なし 舗装版厚：15cm以下 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施工内訳表

頁0-0165

殻運搬

施工 第0 -0109号表

舗装版破碎 DID区間なし 11.5km以下

機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)

現場～共和リテック8.5km

1

m 3 当り

機械構成比： 44.95% 労務構成比：

38.97%

材料構成比： 16.08%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代表機材規格	構成比	単位	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級	44.95%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	38.97%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	16.08%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：舗装版破碎 DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 運搬距離：11.5km以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0166

表層（車道・路肩部）

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 3 0 mm

施工 第0 -0110号表

1 m 2 当り

機械構成比： 0.43%

労務構成比：

42.30%

材料構成比：

57.27%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 運転質量 0 . 5 ~ 0 . 6 t	0.24%	供用日		振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式]		
振動コンパクタ [前進型] 機械質量 4 0 ~ 6 0 k g	0.13%	供用日		振動コンパクタ [前進型]		
特殊作業員	18.71%	人		特殊作業員		
普通作業員	13.40%	人		普通作業員		
土木一般世話役	4.05%	人		土木一般世話役		
再生アスファルト混合物 密粒度（ 1 3 F ）[再生材 混入率50%以下]	52.51%	t		アスファルト混合物 密粒度（ 2 0 ）		

施 工 内 訳 表

頁0-0167

表層（車道・路肩部）

1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)

平均仕上り厚 3 0 mm

施工 第0 -0110号表

1

m 2 当り

機械構成比： 0.43%

労務構成比：

42.30%

材料構成比：

57.27%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	4.54%	L		アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用		
ガソリン レギュラー スタンド	0.16%	L		ガソリン レギュラー スタンド		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	0.03%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
平均幅員：1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 標準締固め後密度：2.35t/m3 材料：再生 密粒度（ 1 3 F ） アスファルト混合物小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				1層当り平均仕上り厚(mm)：30 瀝青材料種類：プライムコート 瀝青材料種類：プライムコート PK-3 アスファルト混合物夜間割増：夜間割増なし		

施 工 内 訳 表

頁0-0168

上層路盤（車道・路肩部）

施工 第0 -0111号表

粒度調整砕石

全仕上り厚 1 1 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比：

9.88%

労務構成比：

33.13%

材料構成比：

56.99%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ[土工用] 排ガス2次 ブレード幅3 . 1 m	3.96%	供用日		モータグレーダ[土工用] 排ガス2次		
ロードローラ[マカダム] 排ガス2次 運転質量1 0 t	3.13%	供用日		ロードローラ[マカダム] 排ガス2次		
タイヤローラ賃料 ～超低・～排ガス3次 質量8 ～ 2 0 t	1.01%	日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）	15.46%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	5.15%	人		特殊作業員		
普通作業員	5.03%	人		普通作業員		

施 工 内 訳 表

頁0-0169

上層路盤（車道・路肩部）

施工 第0 -0111号表

粒度調整碎石

全仕上り厚 1 1 0 mm

1

m 2 当り

機械構成比：

9.88%

労務構成比：

33.13%

材料構成比：

56.99%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	1.52%	人		土木一般世話役		
粒調碎石 2 5 mm以下	53.57%	m 3		再生粒度調整碎石 R M - 4 0		
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	2.81%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
材料：粒度調整碎石 施工区分：1層施工 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				全仕上り厚(mm)：110 材料(粒度調整碎石)：粒度調整碎石 M - 2 5		

施 工 内 訳 表

頁0-0170

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚 2 0 0 mm

機械構成比： 4.67%

労務構成比：

1層施工

15.69%

材料構成比：

79.64%

市場単価構成比：

0.00%

施工 第0 -0112号表

1
標準単価：

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ[土工用] 排ガス2次 ブレード幅3 . 1 m	1.87%	供用日		モータグレーダ[土工用] 排ガス2次		
ロードローラ[マカダム] 排ガス2次 運転質量1 0 t	1.48%	供用日		ロードローラ[マカダム] 排ガス2次		
タイヤローラ賃料 ～超低・～排ガス3次 質量8 ～ 2 0 t	0.48%	日		タイヤローラ賃料		
運転手（特殊）	7.32%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	2.44%	人		特殊作業員		
普通作業員	2.38%	人		普通作業員		

施 工 内 訳 表

頁0-0171

下層路盤（車道・路肩部）

全仕上り厚 2 0 0 mm

機械構成比： 4.67%

労務構成比：

1層施工

15.69%

材料構成比：

79.64%

市場単価構成比：

0.00%

施工 第0 -0112号表

標準単価：

1

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	0.72%	人		土木一般世話役		
再生クラッシャーラン 4 0 mm以下	78.02%	m 3		クラッシャーラン C - 4 0		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	1.33%	L		軽油 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
全仕上り厚(mm)：200 材料：再生クラッシャーラン R C - 4 0				施工区分：1層施工 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

交通誘導警備員 B

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0113号表

1 人・日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員 B	1.000	人			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	人・日			
交通誘導警備員区分：交通誘導警備員 B					

施工内訳表

頁0-0173

仮設材等の運搬
製品長 1.2 m 以内

運搬距離 7 . 7 k m (搬入)

ライナープレート

施工 第0 -0114号表

1 t 当り

[illegible]

施工内訳表

頁0-0174

仮設材等の運搬
製品長 1.2 m以内

運搬距離 7.7 km (搬出)

ライナープレート

施工 第0 -0115号表

1 t 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0175

仮設材等の積込み，取卸し費
基地積込み，現場取卸し（片道分）

施工 第0 -0116号表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等積込み費 基地積込み	1.000	t			
仮設材等取卸し費 現場取卸し	1.000	t			
* * * 単位当り * * *	1	t			
作業区分：基地積込み，現場取卸し（片道分）					

施 工 内 訳 表

頁0-0176

仮設材等の積込み，取卸し費
現場積込み，基地取卸し（片道分）

施工 第0 -0117号表

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等積込み費 現場積込み	1.000	t			
仮設材等取卸し費 基地取卸し	1.000	t			
* * * 単位当り * * *	1	t			
作業区分：現場積込み，基地取卸し（片道分）					

施工内訳表

頁0-0177

仮設材等の運搬
製品長 1.2 m以内

運搬距離 7 . 7 k m (× 往復)

建込簡易土留

施工 第0 -0118号表

1 t 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0178

仮設材等の積込み，取卸し費
積込み，取卸し（往復分）

施工 第0 -0119号表

建込簡易土留

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材等積込み費 基地積込み	1.000	t			
仮設材等取卸し費 現場取卸し	1.000	t			
仮設材等積込み費 現場積込み	1.000	t			
仮設材等取卸し費 基地取卸し	1.000	t			
*** 単位当り ***	1	t			
作業区分：積込み，取卸し（往復分）					

施 工 内 訳 表

頁0-0179

通水試験工
既設管と連絡せず給水車で注水

施工 第0 -0120号表

1000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工	2	人			
普通作業員	3	人			
運転手（一般）	1	人			
給水車運転工（ 4 t ）	0.5	日			施工 第0-0121号表
諸雑費	30	%			
*** 合 計 ***	1,000	m			
*** 単位当り ***	1	m			

給水車運転工（ 4 t ）

施 工 内 訳 表

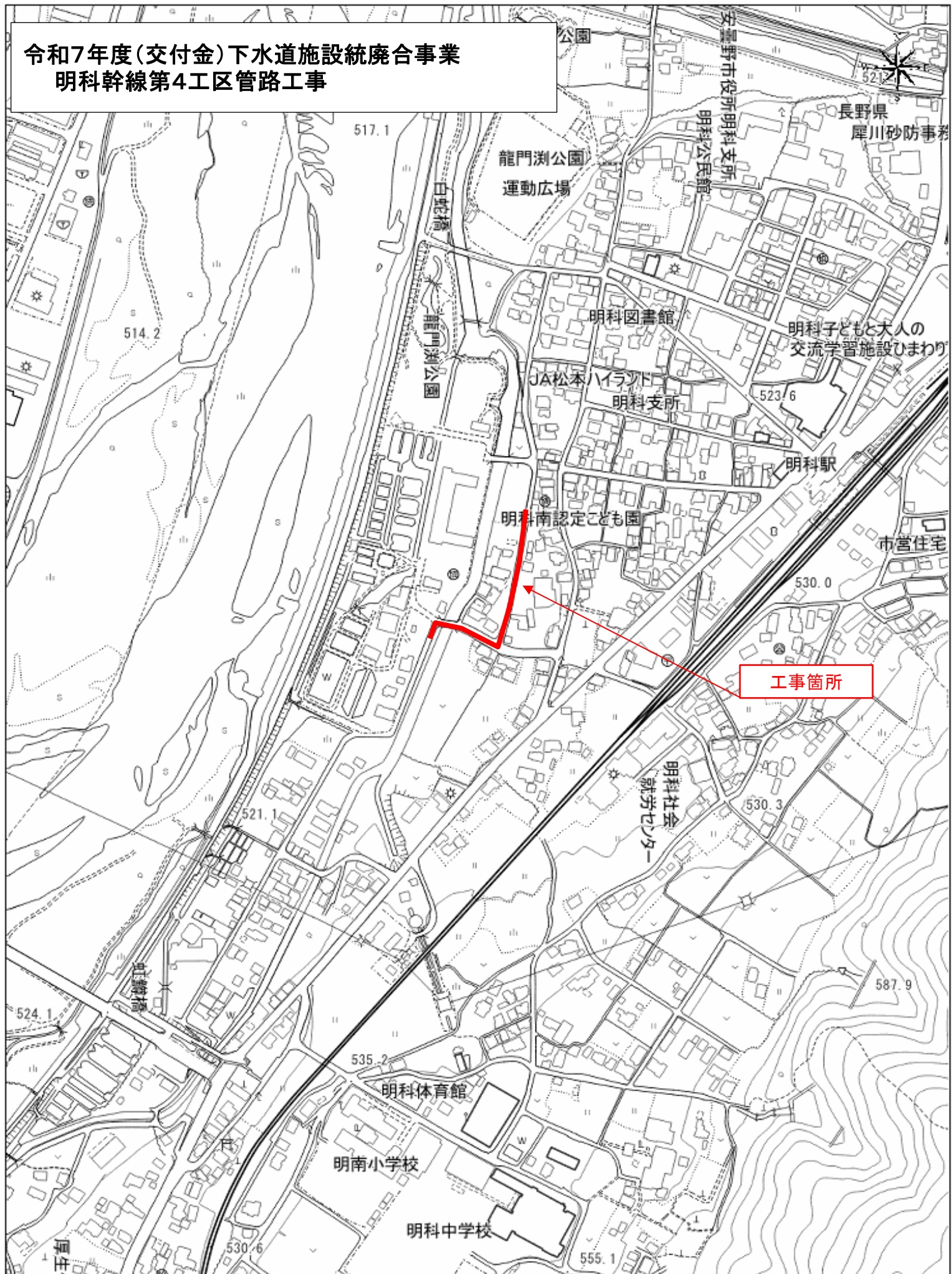
施工 第0 -0121号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	34.8	L			
給水車損料 4 t	6	時間			
*** 単位当り ***	1	日			

位置図

令和7年度(交付金)下水道施設統廃合事業
明科幹線第4工区管路工事



資材単価等について

令和7年度（交付金）下水道施設統廃合事業 明科幹線第4工区ほか管路工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和7年度実施設計単価表」や積算資料（財団法人経済調査会）及び建設物価（財団法人建設物価調査会）に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(田)

[illegible]

安曇野市下水道工事特記仕様書

施工条件明示

施工監理基準



令和 7 年 8 月

安曇野市上下水道部

目 次

安曇野市下水道工事特記仕様書	P. 3～16
施工条件明示	P. 17～19
別紙－ 1 排出ガス対策型建設機械の使用	P. 20～21
工事における提出書類一覧表	
開削工写真撮影一覧表	
出来形管理基準及び規格値（下水道）	

安曇野市下水道工事特記仕様書

第1章 総 則

(総 則)

- 1 安曇野市が発注する下水道工事の施工においては、下記に示す基準のほか、本特記仕様書によるものとする。
 - 「長野県土木工事共通仕様書」(長野県土木部)
 - 「長野県施工管理基準」(長野県土木部)
 - 「土木工事現場必携」(長野県土木部)
 - 「下水道工事施工の手引き(平成20年度版)」(長野県下水道公社)
 - 「下水道工事実施設計要領(1)―開削工編―」(長野県下水道公社)
 - 「道路土工 仮設構造物工指針」(社団法人日本道路協会)
 - 「たて込み簡易土留設計施工指針」(たて込み簡易土留協会)
 - 「安曇野市公共下水道工事施工基準」(安曇野市上下水道部下水道課)
 - 「水道事業実務必携」(全国簡易水道協議会) 令和5年改訂版
 - 「下水道用ダクタイトイル鉄管管路 設計と施工」(日本ダクタイトイル鉄管協会)
 - 「GX形ダクタイトイル鉄管 接合要領書」(日本ダクタイトイル鉄管協会)
 - 「安曇野市土木工事共通仕様書」(安曇野市都市建設部) 最新版
- 2 優先順位は、安曇野市下水道工事特記仕様書、長野県土木工事共通仕様書の順によるものとする。
- 3 該当しない工種については適用しないものとする。
- 4 個別の施工条件について、別紙のとおり定める。

(工程)

- 1 本工事は、発注者指定型週休2日工事の対象工事である。「安曇野市週休2日工事実施要領」に従い組むものとする。

また、工事契約後、週休2日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じた場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
- 2 工期は雨天、休日等を見込んでいる。なお休日等には日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇のほか、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間 30日間 ②雨休率 0.77(実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数) 実働日数×係数 ③後片付け期間、その他の作業不能日に関しては見込んでいない。
- 3 受注者は、施工条件に示す関係機関と工事に対する協議等を行い、その結果を踏まえ工程計画を策定するものとする。

- 4 工事箇所又は工事箇所付近で別工事が施工されている場合、相互で工程調整を図り道路利用者の混乱を避けるよう努めるものとする。

(対外関係)

- 1 発注者は本工事着手後に沿線住民を対象とした下水道工事説明会を開催する。受注者は下水道工事説明会に出席し、発注者に提出する工程表とは別に住民向けの工程表を作成し、その内容を説明するものとする。
- 2 受注者は、通行制限を行うにあたり工事箇所沿線の宅地、事業所等の出入り及び車両の駐車場を確保しなければならない。また、沿線の宅地、事業所等に福祉車両、汲取車両、配達車両の出入りがある等特殊事情がある場合これに配慮しなければならない。
- 3 受注者は民地内での工事を行う場合、地権者の承諾を得て着手しなければならない。
- 4 受注者は、境界杭の保全には特に注意を払い、工事施工前に必ず境界杭の確認をするとともに必要に応じ控え杭、写真等に記録しなければならない。また工事の施工により境界杭を移動・破損または、亡失等させた場合は受注者の責において適切に復元しなければならない。
- 5 受注者は、民地内の土地、構造物、立木、施設に損傷を与えた場合は地権者及び管理者に直ちに報告するとともに協議の上復旧しなければならない。
- 6 受注者は、施行条件に示す関係機関との立会等の必要がある場合には、これにあたらなければならない。
- 7 関係機関、所有者、管理者並びにその他関係者との協議内容については、書面及び写真などで協議記録として残すこととする。なお、協議記録の書式については任意扱いとするが、協議事項、指示事項、対応事項及び必要事項については必ず明記し、監督員からの要請があった時は提出しなければならない。

(工事支障物件、占用物)

- 1 受注者は、工事施工箇所に占用物件が予想される場合には、工事の施工に先立って地下埋設物件等の調査を行わなければならない。
- 2 受注者は、工事の施工により道路附属物、河川管理施設、占用物件に損傷を与えた場合には、直ちに応急措置をとり監督員に報告するとともに、管理者及び占用者に連絡し復旧措置を講じなければならない。
- 3 受注者は、工事途中で管理者不明の占用物件を発見した場合には、監督員に報告し、その措置は予想される占用者の立会を得て管理者を明確にしたうえで処置しなければならない。

(環境対策)

- 1 排出ガス対策型建設機械の使用については別紙-1に示すとおりとする。
- 2 セメント及びセメント系固化材による地盤改良及び安定処理等の土砂とセメント及び

セメント細化材の攪拌混合を行う土質を使用する場合は下記によるものとする。

(1) セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)(平成13年4月23日国官技第18号)により六価クロム溶出試験を実施すること。

(2) 配合設計段階の試験結果が土壤環境基準(平成3年8月23日環境庁告示第46号)を超える場合は、基準内に納まるよう設計図書に関して監督員と協議するものとする。

3 受注者は工事の施工にあたり、掘削箇所地下水を河川又は水路に放流する場合には、下記によるものとする。

(1) 流水断面及び下流域を調査し放流が可能な水量を放流するものとする。

(2) 放流に先立ち河川又は水路の管理者の承諾を得なければならない。

(3) 砂及び土砂を併せて放流してはならない。砂及び土砂を放流させた場合は河川又は水路管理者に報告するとともに、受注者の責によりこれを除去しなければならない。

(交通安全管理)

1 受注者は、工事の施工にあたり公衆の交通の安全を確保しなければならない。

2 受注者は、安全管理については道路工事保安施設設置基準(平成18年4月1日国関整道管第65号)及び下記によるものとするが、工事現場の実状に応じた方法により交通管理を行わなければならない。

3 交通規制及び標識については、道路工事現場における標示施設等の設置基準(平成22年7月)に基づき適切に設置するものとする。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議するものとする。

4 受注者は、夜間開放時には保安灯を設置するものとし、工事期間中は保安灯、バリケード、標識の保守点検を実施しなければならない。

5 受注者は、道路の交通規制を行う場合は、規制の計画を監督員に提出するとともに関係機関に所定の手続きをとらなければならない。

なお実施にあたっては、関係機関からの指示事項を順守しなければならない。

6 工事期間中に配置する交通誘導員は、施行条件に明示した配置人員とする。ただし道路管理者、交通管理者との協議条件などの社会的要件、現場精査に基づく配置人員の変更が必要になった場合は監督員と協議するものとする。

7 受注者は、通行規制に伴う迂回路を定めた場合、工事期間中は迂回路の保守、点検を行い公衆の安全な迂回を確保しなければならない。また、迂回路の損傷を発見した場合は直ちに監督員に報告しなければならない。

8 受注者は、道路に通勤車両及び建設資材を置いてはならない。

9 工事区間または、迂回路区間が小中学校の通学路に指定されている場合、契約締結後早急に学校教育課を通じて各小中学校と協議をしなければならない。通学路を変更する場合は、適切かつ安全な対策を講ずること。その他の福祉バス、巡回バス等の運行路線になっている時も同様に関係機関等と協議をすること。

10 工事区間内及び工事区間周辺に店舗がある場合は、店舗責任者及び管理者などと店舗への出入り口及び駐車場などについて事前協議すること。また、協議内容、対策等を現場着手前

に監督員へ書面にて報告すること。

(その他)

- 1 契約額が 500 万円以上の工事については、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき、受注時・変更時・完成時・訂正時(工期延長、現場代理人、主任技術者の変更)に工事实績情報として工事カルテを作成し、監督員の確認を受けた上で登録すること。また、登録完了書の写しを提出すること。各登録期限は、受注・変更時登録は契約後 10 日以内(土曜日、日曜日、祝日等を除く)、完成時登録はしゅん工後 10 日以内とする。ただし、変更時と完成時との間が 10 日間に満たない場合は、変更時登録を省略し、竣工時登録に併せ行うことが出来ることとする。
- 2 契約額が 800 万円以上の工事については、建設業者は、建退協制度の発注者用掛金収納書原本を発注者へ 1 ヶ月以内に提出すること。また、竣工書類の一部として収支表を提出すること。
- 3 建設業法第 26 条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者(以下、技術者と言う。)は、適切な資格、技術力を有する者(本工事現場に常駐し、専らその職務に従事する者で、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る)を配置すること。(受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係とは、本工事の入札執行日前に受注者と技術者との間に 3 ヶ月以上の雇用関係が必要である。)
- 4 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、受注者と発注者が協議のうえ決定することとする。
- 5 本工事の現場技術業務を、公益財団法人長野県下水道公社に委託している。
現場技術員は工事請負者に対して適切な助言指導、施工監理を行い、設計の変更、現場の施工条件、施工方法等の変更が生じた時は、監督員と協議し工事請負者に通知する。
- 6 監督員、現場技術員は、別途指定し通知する。

第 2 章 施 工

(起工測量)

- 1 本工事着手前に起工測量を実施し、成果を施工前に必ず提出すること。測量方法については水準測量などの適切な測量方法により行なうこと。測量を実施した際、規定値から外れているもの(スパン延長、マンホール設置地盤高、流出管底高など)があれば監督員と協議すること。また、施工後(マンホール鉄蓋設置後)上記内容を満たしていない場合は、鉄蓋の再設置(高さ修正)を依頼する場合があるので、事前調査を十分行なった上で施工すること。なお、図面に記載されているベンチマークの高さについても併せて確認作業を行ない監督員に報告すること。
- 2 起工測量結果に基づき、組立式マンホールの組合せ表を施工計画書又は施工協議書に添えて提出し、監督員の承認を得ること。なお、使用する組合せ部材に 5cm の調整リングは使用しないこと。また、しゅん工時における組立式マンホールの組合せ表をしゅん工書類に添付すること。
- 3 現場施工については、『施工計画書・材料承認願い・起工測量結果・汚水桝調査表・下請負人通知書・その他必要書類など』の提出後とし、監督員の承認を得てから現場着手することとす

る。

- 4 水準測量において設置した仮ベンチマークは、施工途中で狂いが生じないよう堅固に設けること。特に隣接工区工事が発注されている場合又は今後発注された場合には、隣接工区受注者とベンチマークの高さについて関連付けをすること。なお、本工事において設置した仮ベンチマーク(特に工事区間内周辺宅地、周辺水路脇など)は工事終了後遅滞なく撤去すること。

(材 料)

- 1 本管(圧送管)は、下水道用ダクティル鋳鉄管(JSWAS.G-1)を使用する。
- 2 管、弁類を取り扱う場合は、その接合部及び塗装部分などに損傷を与えてはならない。
- 3 管、弁類の積みおろしをする場合は、台棒等を利用し、巻きおろすか又はクレーン等で2点吊りにより、管を損傷させないように十分な注意をしなければならない。
- 4 管、弁類を運搬又は移動する場合は、クッション材を用いて行い、損傷、内面塗装を痛めないよう十分な注意をしなければならない。
- 5 管、弁類を保管又は一時仮置きする場合は、台棒、角材、板材等を敷いて、直接地面に接しないようにし、転がり止めを確実に行わなければならない。
- 6 材料の運搬は丁寧に行い、材料の損傷を防ぐこと。現場において管を保管する際、曲がりや変形を防ぐため原則として屋内保管をすること。やむを得ず屋外保管をする時は、簡易屋根を設けるか不透明シートで管を覆い直射日光を避け、熱気がこもらないよう風通しの良い方向へ受口又は差口を向けること。また、接着剤などは冷暗所において保管すること。
- 7 組立式マンホールと本管との接続は、設計書に記載の可とう継手を設計図にしたがって設置すること。
- 8 使用する全ての材料について使用承認を得ること。ただし、(社)日本下水道協会の認定工場制度による工場製品の場合は、検査証明書(自主検査結果及び検査証明書並びに検査成績書)の提出により立会い検査に代えることが出来る。この場合、事前に監督員の承認を得るとともに搬入された認定標章および製造年月日の確認をすること。
- 9 管渠の基礎に使用する材料は、埋戻し用砂を使用するものとする。
- 10 試掘により管基礎材として使用できる路盤材の有無を確認し、同時に土質試験資料の採取を行うこと。また、使用できる路盤材が確認されたときは、監督員と協議し可能な限り管基礎材として再利用できるように発生土と分けて保管すること。

(土 工)

- 1 掘削にあたっては、設計幅以上とならないよう施工すること。なお、土質による設計変更は基本的に行わないものとする。建物、その他構造物等に接近した場合には、完全な防護を施した上で施工すること。
- 2 本工事により発生する残土は原則として指定処分とする。なお、残土処分量が確認できる資料をしゅん工書類に添付して報告すること。

施工計画書には現場から仮置場までの搬出経路、搬出距離及び運搬時間を明記し、仮置場から最終処分場までの搬出経路、搬出距離及び運搬時間も明記すること。なお、仮置場(現場発生

土、アスファルト殻など)の安全対策を講じたものを施工計画書に明記すること。

- 3 管上 10cm から 30cm までの良質土埋戻しは、レキ径 20 mmを超えない土砂とする。下水道実施設計要領(1)一開削工編一及び日本下水道協会(G-1)規格を確認し埋戻し材を決めること。埋戻し材を変更する場合には、変更理由、使用材料、施工方法などを監督員と協議すること
- 4 埋戻し材の土の含水比、締固め試験、修正 CBR 試験を報告すること。なお、品質基準値は、締固め度(90%以上)・修正 CBR(20%以上)とする。
- 5 埋戻し材は発生土の良質なものとし、埋戻しに適した含水比で埋戻すこと。軟弱土質等埋戻し材として不適当と判断された時は砂等で置き換えて施工すること。
- 6 埋戻しの施工にあたり、管渠その他の構造物の下部に空隙が生じないようにすること。また偏圧が作用しないよう左右均等に十分な締固めること。
- 7 埋戻し作業にあたり、管渠に影響を与えないよう土砂を投入し、一層の厚さが 30cm を超えない範囲で一層毎に不陸のないよう敷均し人力により十分締め固めること。路体の締固め密度は最大乾燥密度の 85%以上・路床は 90%以上を確保し、密度試験は 500 m³に 1 回の割合で行うこと。
- 8 受注者は施工後の路面の不等沈下や宅地の地盤沈下等が生じない様、入念に埋戻しを行うものとする。
- 9 掘削溝内に埋設物がある時は、埋設物管理者との協議に基づく防護を施し、埋設物付近が将来沈下しないようにすること。
- 10 路体部、路床部の密度試験実施箇所については、発注用の平面図へ試験実施箇所が分かるよう記載し監督員へ報告すること。
- 11 農地を残土置場又は資材置場などに使用する際は、契約締結後早急に農業委員会事務局<三郷総合支所内>と協議し、「農地の一時利用転用願」を提出すること。

(本管布設)

- 1 管の布設にあたっては「安曇野市公共下水道工事施工基準」によるものとする。
- 2 埋設物等があり設計書どおり施工できない場合は協議すること。(上水道管やその他構造物などとの離隔は交差時、並列時共 30cm を原則とする。)
- 3 ゴム輪接合において、ゴム輪が正確に溝にはまっているか確認すること。ゴム輪のねじれ・はみ出しがある場合は再装着すること。また、ゴム輪接合部に付着している泥土、水分、油分等は乾いた布などで清掃すること。
- 4 接着剤塗布後は、素早く差口を受口に挿入し所定の位置まで差し込みそのまましばらく保持すること。なお、呼び径 200 mm以上は原則として挿入機を使用し、かけや等による叩き込みはしないこと。また、接着直後は接合部に無理な外力が加わらないように注意すること。
- 5 管の基礎については設計厚以上を確保すること。また、良質土埋戻しを管基礎の材料と同様のものに変更した場合も設計厚以上を確保すること。その際の写真撮影、出来形管理等は管基礎と同様の管理を行なうこと。
- 6 管の据付けに先立ち、十分管体検査を行い、亀裂、塗装のはがれ、その他の欠陥がないことを確認しなければならない。

- 7 管の吊り下ろしにあたって、土留用切梁を一時取り外す必要がある場合は、必ず適切な補強を施し、安全を確認の上作業しなければならない。
- 8 管の据付けにあたっては、管内部を十分清掃し、水平器、型板、水糸等を使用し、中心線及び高低を確定して移動しないように固定する。このとき、管体の表示記号を上に向けて据付けなければならない。
- 9 直管を使用して曲げ配管を行わなければならない場合は、監督員の承諾を得てから継手の持つ許容曲げ角度以内で行わなければならない。
- 10 一日の布設作業完了後は、管内に土砂、汚水等が流入しないような措置を行うとともに、管内には綿布及び工具類等を置き忘れないよう注意しなければならない。
- 11 さや管内へ管を布設する場合は、さや管と布設管が接触して塗装面が損傷しないように、押し込みには適切な器具等を取り付けなければならない。
- 12 配管作業に従事する技能者は、豊富な経験と知識を有する熟練した者でなければならない。

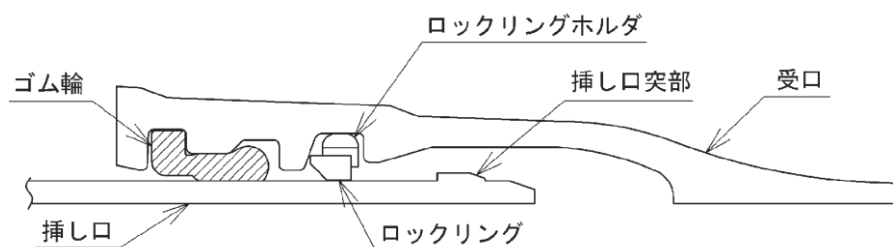
(管の切断)

- 1 管の切断にあたっては、所用の切り管長及び切断箇所を正確に定め、切断線の標線を管の全周にわたって入れる。
- 2 管の切断は、管軸に対して直角に入れること。
- 3 切り管が必要な場合には残管を照合調査し、極力残管を使用すること。
- 4 鋳鉄管の切断は切断機で行うことを標準とし、異形管を切断してはならない。
- 5 鋳鉄管の切断面は、ダクタイト切管鉄部用塗料で塗装し防食しなければならない。
- 6 鋼管は切断完了後、新管の開先形状に準じて丁寧に開先仕上げを行う。また、切断部分の塗装は、原則として新管と同様に仕上げること。

(管の接合)

G X形ダクタイト鋳鉄管の接合

a. 直管の接合 : $\phi 75 \sim \phi 400$

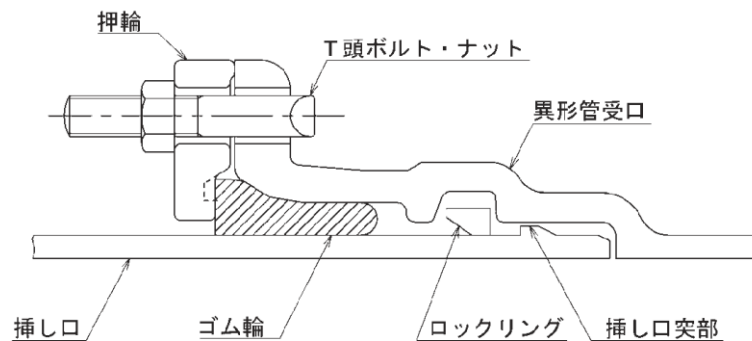


- 1 管のメーカーマークを上にして、所定に位置に静かに吊りおろす。
- 2 管の受口溝とゴム輪の当たる面及び挿し口外面の異物除去と清掃を行う。
- 3 ロックリングとロックリングホルダの確認を行う。
- 4 ゴム輪を確認後清掃し、受口内面の所定の位置に装着する。
- 5 ゴム輪の内面と挿し口外面のテーパ部から所定の位置まで滑剤を塗布する。
- 6 管をクレーンなどで吊った状態にして、挿し口を受口に預ける。この時 2 本の管が一直線又

は2° 以内になるようにする。

- 7 レバーブロックを操作して挿し口を受口に挿入し、所定の位置まで受口端面にくるように合わせる。このとき、曲げ挿入は行わないこと。

b. 異形管の接合 : $\phi 75 \sim \phi 400$



- 1 挿し口外面と受口内面の清掃を行う。
- 2 接合部品(押輪及びゴム輪)を挿し口へ預け入れる。
- 3 受口内面、挿し口外面、ゴム輪外面に滑剤を塗布する。
- 4 挿し口を受口に挿入する。
- 5 ストッパーを取り外す。
- 6 挿し口突部がロックリングを通過しているか確認する。
- 7 ゴム輪、押輪をT頭ボルト・ナットで締め付ける。
- 8 押輪の施工管理用突部と受口端面がメタルタッチになっていることを確認する。

(管路山留め)

- 1 開削工事の土留工は、土工標準図に記載の土留め材で施工することを標準とし、これにより難しい場合は監督員と協議すること。
- 2 土留と地山に間隙が生じた場合は、砂詰め等を行い周辺地盤に影響が出ないように施工すること。
- 3 施工計画書に土留工の構造計算書を添付すること。その際、構造計算書には作成者の押印をすること。また、構造計算書の作成にあたり次の内容を守ること。土留め設置高及び掘削幅毎に計算書を作成し、土の単位体積重量は $20.0 (\text{kN}/\text{m}^3)$ 、載荷重 $10.0 (\text{kN}/\text{m}^2)$ 、内部摩擦角を算出する際の N 値は 6 とする。なお、本条件と違う土質条件の場合には、参考資料、土質状況写真及びその他関係資料を添えて監督員と協議し、監督員の承認後構造計算書を作成すること。
- 4 建て込み簡易土留めの施工に当たっては、土留材の設置部を先掘りしながら所定の深さに設置しなければならない。先掘りは背面土砂が崩壊しない深さとし、30cm 以下で施工しなければならない。なお、全ての箇所において土留材は掘削底面と同じか又は深く設置しなければならない。
- 5 土留めを建て込む際に使用するバックホウは、クレーン仕様を原則とする。なお、クレーン仕様が分かる写真を撮影し、しゅん工書類に添付すること。

- 6 バックホウによる吊り込み作業には、専用装置以外の装置を使用しないこと。また、バックホウでの打撃による建込は行わないこと。
- 7 機材の引き抜きは、トラッククレーン等により施工すること。
- 8 機材は締固め厚さ毎に引き抜き、パネル部分の埋戻しと締固めを十分行い、写真確認が後日できるように管理すること。
- 9 土留めパネル裏側に空隙が生じた場合、アスファルト舗装などを撤去し裏込め材を投入すること。また、土留めパネル引き抜き後は開削部分だけでなく空隙が生じた箇所も十分転圧すること。なお、転圧が不十分な場合には、道路面における地盤沈下があるので細心の注意を払って施工すること。

(立坑土留め)

- 1 立坑(マンホールポンプ設置部)に使用する土留めはライナープレートを標準とする。
- 2 使用するライナープレートは、地質条件及び掘削方式を検討の上、十分に安全なものを選定し、施工計画書に明記し監督員に提出しなければならない。
- 3 ライナープレート式土留工の施工は、周囲の状況を考慮し、掘削深さ、土質、地下水位、作用する土圧及び載荷重を十分検討し施工しなければならない。
- 4 ライナープレート式土留工の土留掘削に先立ち、溝掘り及び探針を行い、埋設物の有無を確認しなければならない。
- 5 ライナープレート土留掘削は、先行掘削になるため、地盤が自立していることを確認し順次掘下げていくこと。また、ライナープレートと地山との空隙を少なくするよう掘削しなければならない。
- 6 掘削は1リングごとに行い、地山の崩壊を防止するために速やかにライナープレートを設置しなければならない。
- 7 1リング組立て完了後、形状、寸法、水平度及び鉛直度等を確認し、ライナープレートを固定するため、頂部をコンクリート及びH鋼等で組んだ井桁による方法で堅固に固定し、移動や変形を防止しなければならない。
- 8 ライナープレートの組立てにおいて、継目が縦方向に通らないよう千鳥状に設置しなければならない。また、土留背面と掘削壁との間にエアーモルタル等で間隙が生じないようにグラウト注入し、固定しなければならない。
- 9 補強リングを用いる場合には、補強リングをライナープレートに仮止めしながら継手版を用いて環状に組立て、その後、下段のライナープレートを組立てるときに、円周方向のボルトで固定しなければならない。
- 10 ライナープレート埋戻しにおいて、ライナープレート存置は設計図書による。ただし、立坑上部については取りはずすこととし、その処置及び方法について監督員と協議しなければならない。
- 11 立坑内での作業員の昇降設備や立坑内への資機材の吊下しについては、安全を十分に確保したうえで作業を行わなければならない。

(マンホール設置工)

- 1 調整モルタルの打設は舗装復旧前を原則とする。
- 2 インバート形状は流入管底と流出管底を直線で結んだものとする。ただし、落差の大きい箇所副管を使用しない場合、または直角に曲がるインバートの場合は監督員と協議すること。
- 3 工区最下流並びに最上流マンホールのインバートは、設計書の数量計算書に基づくものとする。上流より流入計画のあるマンホール(平面図において確認すること。)については、原則としてインバートの施工はしないこと。ただし、副管の場合はこの限りではないので監督員と協議すること。
- 4 起点マンホールのインバートは流出管幅でマンホール内径全ての長さを円形に仕上げること。ただし、取付管流入がある場合は2の記載による。
- 5 1号マンホールのステップは原則として流出側に設置する。
- 6 マンホール鉄蓋の向きは、デザインの上部が流出管方向を向くよう設置すること。ただし、親子蓋の場合は、上記5と関連付けをすること。
- 7 マンホール深さが2mを超える時は、転落防止梯子付の鉄蓋を設置すること。
- 8 既設マンホールへ接続する際は、管の端面を内壁に一致させること。なお、供用開始後のマンホールへ接続する際には、酸素欠乏空気の危険性、有毒ガス発生の可能性等の有無について事前に調査すること。また、作業にあたっては関係法令等を遵守し作業の安全性を確保すること。
- 9 副管の本管への接続は本管勾配に対して直角に設置する。また管端が突出しないように鉛直に行うこと。
- 10 マンホール部材の吊り込みは、上下同時作業にならないように施工すること。また、マンホール周辺の埋戻しは、極力部材1個毎に行ない偏土圧による傾斜を防止するため、360度均一に行うこと。ただし、組立て完成写真を撮影するため施工方法、写真撮影時期について監督員と協議すること。
- 11 マンホール設置地盤高については特に留意し、周辺地盤高、道路勾配(縦断勾配、横断勾配)、周辺構造物などとの整合を図ること。

(補助地盤改良工(薬液注入))

- 1 薬液注入工事の着手前に下記について監督員の確認を得なければならない。
 - (1) 工法関係 ① 注入圧 管路編 2-11 ② 注入速度 ③ 注入順序 ④ ステップ長
 - (2) 材料関係 ① 材料(購入・流通経路等を含む) ② ゲルタイム ③ 配合
- 2 薬液注入工事は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針(建設省通達)」の規定によること。
- 3 薬液注入工事の施工管理等は、「薬液注入工事に係る施工管理等について(建設省通達)」の規定によること。
- 4 注入工事の施工にあたっては、昭和52年4月21日付け建設省官技発第157号「薬液注入工法の管理について」に定められた技術者を注入責任技術者として届け出るとともに、注入作業中は常駐させるものとする。

- 5 注入工事に使用する薬液は、水ガラス系の薬液（主剤が珪酸ナトリウムである薬液をいう。）で、劇物またはフッ素化合物を含まないものに限る。ただし、工事施工中緊急事態が発生し、第二次災害を防ぐための応急措置として薬液注入工事を施工する場合は、監督員の承諾を得て現場の状況に応じて、劇物の少ない薬液を使用することができる。この場合においてもアクリルアミドは使用しないこと。
- 6 薬液注入工事を施工するにあたっては、注入箇所及びその周辺地域の地下水、公共用 水域、土質、地下埋設物、井戸、植物並びに農作物等について、あらかじめ調査をしなければならない。

（さや管推進工）

1 一般事項

- （１） 推進工事施工に際しては、十分な知識と経験を有する技術指導員を現場に随時派遣し、作業者を指導しなければならない。
- （２） 当該工事箇所の構造物等の管理者がいる場合は工事着手前に工程、施工方法等の打ち合わせをし、事故防止、工事進捗等に支障のないようにしなければならない。
- （３） 地下埋設物等の支障物件については事前に調査を行い、関係者と調整、打ち合わせを行い、必要な措置を講じなければならない。

2 さや管

~~さや管は原則として、日本下水道協会規格 JSWAS-A2（下水道推進工法用鉄筋コンクリート）の標準管とする。ただし、その他の管を使用する場合は、あらかじめ監督員の承認を受けなければならない。~~

3 さや管推進工

- ① 工事に先立ち、土質調査資料等を十分検討し、推進方法及び補助工法等を選定する。
- ② 管の押込みにあたっては、設計図書に基づいて中心線及び高低を確認し、施工しなければならない。
- ③ 掘削の結果、管の押込みに対しての後方（地山）支持力が不十分な時は監督員と協議のうえ、必要に応じて適切な補強をしなければならない。
- ④ 管の押込みにあたっては、管先端部周囲の土砂の崩落を防ぐ工法で行い、管内に入った土砂だけを掘出し、先掘り等の周囲の土砂をゆるめることのないように施工しなければならない。
- ⑤ 管の接合は、地下水、細砂等が流入しないようにシーリング材充填等を行わなければならない。又押込み口には出水時の排水のための、水替え設備を準備しなければならない。
- ⑥ 監督員が指示した場合は、地質の変化があるごとに資料を採集し、地層の状態について地層図を作成し、監督員に提出しなければならない。
- ⑦ 押込み中に、障害物、湧水、土砂崩れ等が生じたときは、直ちに臨機の処置をとるとともに、監督員に報告しなければならない。

- ⑧ 管の周囲に空隙を生じた場合は、直ちにセメントグラウト等で裏込め充填しなければならない。
- ⑨ グラウトは管内面から行い、配合、注入圧力は監督員と協議し、承諾を得なければならない。又、施工については監督員の立会を原則とする。
- ⑩ 地盤改良を行う場合は監督員と協議し、承認を得なければならない。

4 押込み完了後の処置

- ① 地山補強等は配管工事に支障ないように、速やかに取り壊さなければならない。
- ② さや管の継手部は再確認し、必要あれば再度シーリング等の充填を行うこと。
- ③ 必要に応じて、管の周囲にセメントグラウトを行うが、工事箇所周囲の状況には十分注意し、井戸水等への影響がないようにしなければならない。

(仮設工)

- 1 本工事の仮設工は施工条件明示による。
- 2 受注者は、安曇野市景観条例(平成 24 年 3 月 26 日条例第 10 号)第 12 条 3 の規定に基づき、屋外における土石、廃棄物、再生資源その他物件の堆積が以下の値を超える場合は、安曇野市長に景観計画区域内における行為の届出を行為の 30 日前までに行うこと。
※面積 100 m²又は堆積の高さが 3 m (届出先：都市建設部 建築住宅課 建築景観係)

(用地関係)

- 1 工事に伴い、現場事務所、材料置場、土砂置場等に要する敷地が必要な場合、敷地の借り受けその他必要な手続きは受注者の責任において行うものとする。
- 2 前項により用地処理したときは、その土地使用により生じた苦情、紛争等は受注者が責任を持って解決しなければならない。
- 3 工事に伴い、工事箇所に隣接する土地の境界杭や構造物が支障となる場合は、直ちに監督員と協議し、物件所有者と調整を図ること。

(付帯工)

- 1 本工事におけるアスファルト舗装復旧は仮復旧を原則とし、1 路線毎随時復旧する。なお、設計幅以上の復旧は監督員の指示があるとき以外は原則として設計変更の対象としない。ただし、既設舗装の損傷及びその他地下埋設物の復旧跡などがある場合は事前に監督員に報告すること。また、アスファルト舗装を復旧する際には監督員の現地立会いを受けたあとに行なうこと。
- 2 下層路盤及び上層路盤の出来形管理は、設計掘削幅に対し管理すること。
- 3 路盤工の 1 層当たりの最大仕上げ厚は、上層路盤は 15 cm、下層路盤は 20 cm までとする。
- 4 舗装復旧する際に使用した舗装止め型枠等は、舗装復旧終了後速やかに撤去及び片付けをすること。また、撤去した合材が農地や宅地に飛散した場合も同様に撤去及び片付けをすること。
- 5 舗装復旧(本復旧、仮復旧とも)をする場合には、建設機械などで道路上にある構造物(下水道用マンホール鉄蓋、上水道用仕切弁、横断水路など)に影響を与えないようにすること。また、

各構造物の高さ調整が必要となる場合には、協議書に図面及び現況写真等を添えて監督員と協議すること。なお、路肩にある構造物等も同様に整合を図ること。

- 6 舗装復旧は周辺の構造物及び路面と整合を図りながら平坦性を保ち施工する。
- 7 舗装施工中は温度管理に注意し、常に平坦性を考慮しながら仕上げを行なうこと。また、開放時の温度や外気温等にも注意し施工を行ない、温度管理同様写真管理を行なうこと。
- 8 舗装終了後は、マンホール鉄蓋に付着したアスファルト合材を除去すること。
- 9 本工事において消失した路面表示は、施工前の状態に復旧するものとする。この場合設計の掘削幅のみ設計計上のみ変更対象影響とする。ただし、既存道路の路面状態が悪い場合や消失しかけた場合などの理由はこの限りではないので、現場作業着手前に監督員と現地立会いを実施し、工事後の路面状況により（本復旧又は仮復旧）路面表示等の各復旧方法についての対応を監督員と協議すること。
- 10 工事箇所周辺に水路等がある場合には、現地作業終了後水路清掃を行うこと。また、本工事において支障を与えた農地等の土手崩落及び舗装道路、砂利道の路肩崩落、迂回路の路面復旧等も現地作業終了後復旧すること。
- 11 宅地への出入り、農地等への出入りは土地所有者及び耕作者等と協議して施工すること。また、施工に際しては『施工前よりも施工後の出入り条件が悪くなった』などの苦情がないようにすること。ただし、土地所有者及び耕作者等と協議を進めていく中で、過剰なまでの要求があった場合には監督員と協議すること。
- 12 舗装コア採取箇所は監督員の指示により行い、舗装厚の確認を求めること。また、100%出来形図へ採取箇所を記載ししゅん工図書とともに提出すること。

（書類・検査）

- 1 本工における着手時、施工途中時、完成時の提出書類は「安曇野市公共下水道工事施工基準」に準じて作成すること。
 - 2 配管中は継手ごとに別途添付するチェックシートを用いて管理すること。
 - 3 配管中または配管後の検査として、継手接合時の作業検査、管路水圧試験が行われている。水圧の代わりに空気圧で試験を行うと、管が吹き飛ばされる恐れがあるため決して行ってはならない。
以下より管路水圧試験について示す。
- ① 管路の充水は、原則として管路の低い方から、管内空気の排出状況を確認しながら、ゆっくりと行うことが望ましい。
 - ② 管路の水圧試験は、管内の残留空気を少なくするために、充水後少なくとも一昼夜程度経過してから行うものとする。また、充水中は管路の異常の有無を点検して事故の防止に努める。
 - ③ 試験は、試験水圧まで加圧した後、一定時間保持し、その間の管路の異常の有無および圧力の変化を調べる。なお、試験水圧、保持時間および許容圧力低下量については使用水圧、管路延長、管種、付帯設備および施工条件などを考慮して適切な数値を設定する。
- 4 出来形が80%に達したときは速やかに80%予想出来形展開図を提出すること。
 - 5 マニフェストの写し（コピー）は、A表、B2表、D表、E表を搬出初日及び搬出最終日を添付し

提出すること。なお、搬出量が大量にある場合(50 t 以上)は、搬出中間日も添付すること。その他の日は搬出初日から最終日まで分かるよう総括表を添付すること。

- 6 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書については、用紙を各 1 枚ずつ添付し、入力した媒体(FD 又は CD)も提出すること。
- 7 資機材料の納入伝票は、受注者において品目毎に取りまとめ管理すること。また、抜き取った舗装コアについても同様に管理ししゅん工検査時に持参すること。なお、しゅん工検査後は受注者において保管すること。この場合の保管年数は、工事完了年度より 5 年間とする。
- 8 デジタルカメラを使用する場合、有効画素数は 200 万画素以上とし、工事写真の大きさはサービス版サイズと同等とする。また、使用する用紙は白色度 85%以上とし書面にて監督員へ報告すること。
- 9 写真撮影箇所、撮影時期などは設計図書のとおりに行なうこと。また、品質管理や出来形管理も同様に行なうこと。

(後片付け)

- 1 工事を終了したときは、残材、廃材等を撤去し工事現場の後片付け及び清掃等を工期期限内に完了しなければならない。
- 2 工事中影響を与えた構造物、土地等は管理者の承諾のもと、受注者の責任により復旧すること。

第 3 章 安全対策、交通管理

(安全対策・交通管理)

- 1 受注者は労働災害及び公衆災害の防止に努めなければならない。
- 2 本工事区間内に農地(水田・畑等)がある場合には、土地所有者及び耕作者と協議し、耕作(田植え、稲刈り及び収穫など)等の作業の支障にならないようにすることとする。
- 3 工事中、関係者(住民、通行者等)が詳細な工事工程、交通規制方法(迂回路等)を理解出来るよう前もって連絡や表示を行うこととする。全面通行止めの場合は遅くとも 10 日前、片側交互通行の場合は 7 日前には設置することとする。
- 4 本工事において仮駐車場が必要となった場合は、受注者において確保、手配すること。また、仮駐車場として借用した土地については原形復旧し、土地所有者の確認を受けて返すこと。
- 5 現場管理費には、工事期間中、月一回半日以上の安全教育・研修訓練等の費用が含まれているので必ず実施しなければならない。また、実施計画を施工計画書に記載し、実施状況がわかる資料をしゅん工時に提出しなければならない。
- 6 受注者は、苦情等があった場合、丁重に対応し、直ちに工事監督員に報告しなければならない。

(施 工 条 件 明 示)

注) 明示事項がない場合は、「無し」と記入する

工 事 件 名	令和 7 年度（交付金）下水道施設統廃合事業 明科幹線第 4 工区管路工事				
1. 工 程 関 係	・ 工期は、(令和一年一月一日)とする。277 日間(標準工期) 上記期間には、休日数、作業不能日数、各種届出等期間、社会的制約条件等、作業編成、手直し期間等を含む。 ・ 本工事は下記の関係機関、地域住民と協議を要する。				
	関 係 機 関 名		届出・協議事項		時 期
	道路管理者(市維持管理課)		道路通行制限願い		着手前
	安曇野警察署		道路使用許可		着手前
	市学校教育課、小中学校、認定こども園、明科高校		小中学校通学路、バス運行、通園路、児童・生徒の通学、各種行事調整		着手前
	地元区・沿線住民・店舗、事業所		工事説明・交通規制等		着手前
	水路管理者(土地改良区・水利組合)		水止め・水替の放流		着手前
	工事支障物件の管理者		占用物付近の施工について		着手前
	安曇野市 環境課		ゴミステーションの移動・収集運搬業者の通行		着手前
	公共交通機関（あづみん）		通行制限について		着手前
	NTT、中部電力、あづみ野テレビ		電柱、架空線、地下埋設物等		着手前
	その他		必要に応じて		適時適切に対応
	2. 用 地 関 係	無し			
3. 公 害 対 策 関 係	・ 指定工種において排出ガス対策型建設機械を使用すること。(別紙- 1 参照)				
4. 安 全 対 策 関 係	・ 本工事における交通整理員は、下記のとおり配置を計上している。 ・ 人工数は任意扱いの参考値であるため、入札にあたり留意すること。なお、近接工事などで交通量が著しく増減した場合や、道路管理者等からの要請により現場条件に著しい変更が生じた場合を除き原則として設計変更の対象としない。				
	工種	配置場所	配置員数	実日数	備考
	管路工	起終点部	2 名	昼	

5. 仮 設 備 関 係	任意仮設 (1)土留工 ・スライドレール式建て込み簡易土留工を想定している。また、土留材は、1セット 30mを現場搬入とし、100%の設置としている。 ・小口止め及び土留の調整箇所は、軽量鋼矢板等を使用すること。 ・横断構造物等は、一時撤去・原形復旧とする。なお、事前協議を実施すると共に詳細図及び数量等の資料を提出すること。				
6. 建設副産物関係	本工事の施工において生じる特定建設資材の処分については、下記の処分を想定して、処分費、運搬費を計上している。（受注者の都合による処分先の変更は原則として設計変更しない。） ○建設発生土				
	搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地	
	明科建材(株)	1,900 円/	2.0km	安曇野市明科中川手 2058	
	○特定建設資材（建設リサイクル法）				
	種 別	処分条件	処分先	数量	運搬距離
	アスファルト (掘削廃材)	再利用	共和リテック(株)	29 t	8.5 km
7. 工事支障物件等	・無し				
8. 排水工（濁水 処 理 含 む）	・本工事により発生する排水は直接放流せず沈殿（沈砂）処理等を行い、各法令を守り自然環境等、悪影響を及ぼすことのないよう処理すること。 ・指示のある場合を除き、付近の公共用水域、排水用水路等に排水すること。 ・沈殿槽（沈砂）は、定期的に清掃し放流先水路等への土砂堆積防止を図り、工事完了後は放流水路の清掃（土砂上げ）を実施すること。 ・排水路下流に、ます池やわさび田があるので現地を十分確認し、管理者と協議、及び承諾を得ること。				
9. 薬液注入関係	・地下水の影響を受けるため、渇水期（1月から3月）に施工ができるよう作業工程の調整を行うこと。				

10. 占 用 条 件 関 係	・ 本工事は、車両通行止め を想定している。 ・ 長野県道路占用基準及び安曇野市掘削条件による。 ・ 掘削許可及び道路通行制限等の申請書の内容について、監督員による確認後、関係機関に提出すること。 ・ 掘削区間は出来るだけ短くし、事故防止等の対策を講じること。 ・ 舗装切断幅は、残舗装への影響が懸念されることから設計値とすること。 なお、工事施工に伴う残舗装の破損は、受注者の責任において復旧すること。運搬経路も同様。 ・ 未舗装道路の路面復旧は設計書のとおりとする。
11. 環 境 保 全	・ 掘削工事は、周辺構造物や地表への影響が出ないように、適切に管理を行い、沈下や陥没等が生じた場合は公衆災害防止措置を直ちに講じるとともに、速やかに監督員に報告すること。また、その指示に従い対応に当たること。
12. その他	・ 工事説明会 済 ・ 有（ 未定 ） ・ 無=戸別説明 規制の伴う掘削開始は、施工計画書の決裁及び説明会終了後7日経過後とする。 ・ 現場を熟知した上、当該現場に合致した施工計画書の作成に心掛け提出すること。なお、規制の伴う現場掘削工事等は各種提出書類を監督員が受諾した後とする。

上記定めがない事項については、国土交通省「下水道土木工事共通仕様書（案）」、長野県土木部監修「土木工事共通仕様書」「現場管理の手引き」「現場管理における実務要覧」「下水道工事の手引き」「安曇野市下水道工事特記仕様書」によるものとする。

排出ガス対策型建設機械の使用

- 1 本工事において、下記 7 に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 249 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
- 2 排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。
- 3 施工計画書に、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することを明記すること。ただし、これらを使用することができない場合は、下記 4 のとおり監督員と協議するものとする。
- 4 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を調達できない場合は、次を示す。
 - (1) 工事地域周辺の市町村にあるリース業者に、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械の在庫がない。
 - (2) 工事地域周辺のメーカーの販売店から排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を調達するのに大幅な時間がかかる。この場合は受注者が、上記（1）（2）について、リース業者名又は販売店名を記入した上で、施工協議書を監督員へ提出すること。
- 5 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。この写真は、機械の形式または指定ラベルあるいは認定ラベルが明瞭に写っているものであること。
- 6 下記 7 に示す機種について、上記 4 による施工協議で排出ガス未対策型建設機械（従来型）の使用が認められ場合、および上記 5 によって排出ガス対策型建設機械の使用が確認できない場合は、従来型へ設計変更する。

7 排出ガス対策型建設機械を原則使用とする機種

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・ バックホウ ・ トラクタショベル ・ ブルドーザ ・ 発動発電機（可搬式） ・ 空気圧縮機（可搬式） ・ 油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの； 油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、前回転型オールケーシング掘削機） ・ ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る。

明科地域下水道施設統廃合事業
接続管路実施設計業務委託

数量計算書
(明科4工区)

令和7年8月

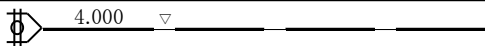
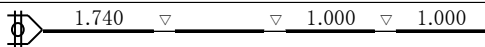
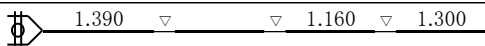
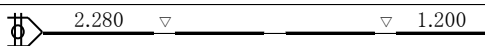
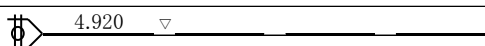
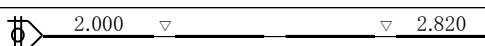
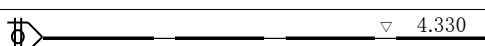
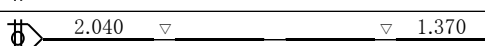
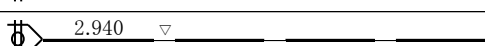
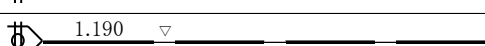
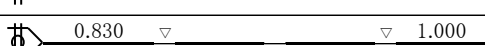
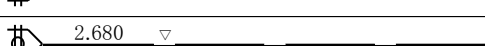
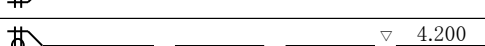
安曇野市下水道課

1. 材料・労務（圧送管）

[illegible]

[illegible]

圧送管 DIP-GX φ 200 切管調書

No.	切 管 組 合 せ	使用長	残管長	切断工	切断溝 切加工	挿し口 加 工	P-Link	G-Link	管 種
	明4								
1	 4.000 ▽	4.000	1.000	1				1	GX形
2	 1.740 ▽ 1.000 ▽ 1.000	3.740	1.260	3				4	GX形
3	 1.390 ▽ 1.160 ▽ 1.300	3.850	1.150	3				4	GX形
4	 2.280 ▽ 1.200	3.480	1.520	2				2	GX形
5	 4.920 ▽	4.920	0.080	1				1	GX形
6	 2.000 ▽ 2.820	4.820	0.180	2				2	GX形
7	 4.330	4.330	0.670	1				1	GX形
8	 2.040 ▽ 1.370	3.410	1.590	2				2	GX形
9	 2.940 ▽	2.940	2.060	1				1	GX形
10	 1.190 ▽	1.190	3.810	1				1	GX形
11	 0.830 ▽ 1.000	1.830	3.170	2				2	GX形
12	 2.680 ▽	2.680	2.320	1				1	GX形
13	 4.200	4.200	0.800	1				1	GX形
凡 例	▽・・・切断工								
合 計	直管 = 13 本	45.390	19.610	21				23	

圧送管 DIP-GX φ200 労務

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
鋳鉄管据付工	吊込据付(機械) φ200	m	236.2	実延長-仕切弁-可とう管 237.83m-0.78m-0.85m
鋳鉄管切断工	エンジンカッター φ200	口	21	
GX形継手工(直管部)	GX継手(直管部) φ200	口	47	
GX形継手工(異形管)	GX継手(異形管) φ200	口	15	
GX形継手工(G-Link)	GX継手(G-Link) φ200	口	23	
伸縮可とう管設置工	φ200 F×U	基	1	
仕切弁設置工	吊込据付(機械) φ200	基	3	
仕切弁篋設置工	DP=1.00用	箇所	3	
GX形継手取外し工(異形管)	GX継手(異形管) φ200	口	1	帽取外し
ポリエチレンスリーブ工	φ200	m	237.8	実延長
管明示テープ工	DIP φ200	m	236.2	
埋設シート工		m	229.3	平面延長 229.34m
通水試験工	φ800以下 給水車注水	m	237.8	実延長
開削水替工		日	11.6	
(点検口、立上排泥管設置工)				
鋳鉄管据付工	吊込据付(機械) φ75	m	6.0	
GX形継手工(直管部)	GX継手(直管部) φ75	口	1	
フランジ継手工	φ75	口	7	
立上排泥弁室設置工	DP=1.00m用同等品	箇所	1	
点検口室設置工	DP=1.00m用	箇所	1	
(空気弁設置工)				
鋳鉄管据付工	吊込据付(機械) φ75	m	0.3	
空気弁設置工	(機械) φ75	箇所	1	
フランジ継手工	φ75	口	2	
空気弁室設置工	DP=1.09m用	箇所	1	

2. 土工事（压送管）

圧送管土工延長集計表

[illegible]

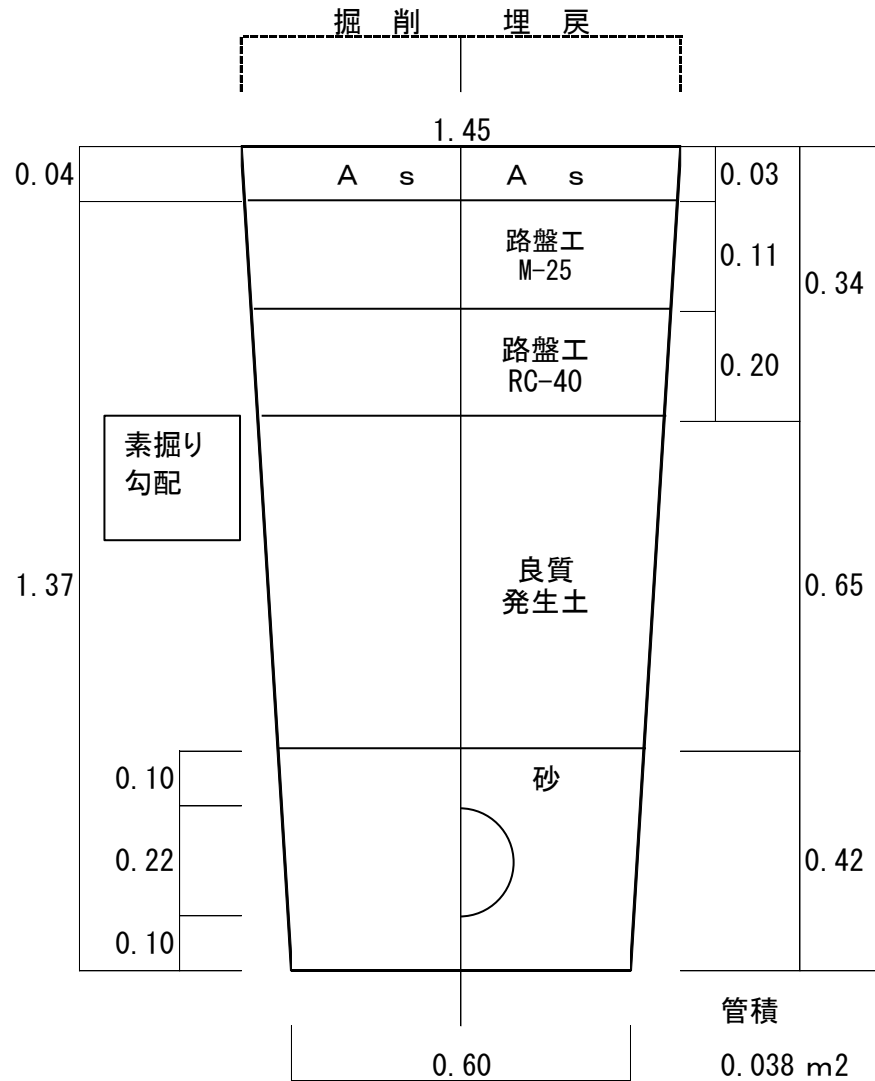
[illegible]

圧送管土工集計表		
工 種		
舗装切断工 (As)	t ≤ 15cm	m
舗装版破碎工 (As)	t ≤ 10cm	m ²
掘削工	機械力 BH 0.2	m ³
埋戻工	(機械力) 発生土 BH0.2	m ³
埋戻工	(機械力) 埋戻し用砂 BH0.2	m ³
下層路盤工	RC-40 t=20cm	m ²
上層路盤工	M-25 t=11cm	m ²
舗装工	密粒度(表層) As t=3cm 人力	m ²
残土処理工	(土砂) BH 0.2 4t車 L=5.0km	m ³
残土処分費	土砂	m ³
残土処理工	As塊 BH 0.2 4t車 L=5.0km	m ³
建設廃材処分費	As塊	m ³
土留工	H=2.5m	m
土留工	H=2.0m	m
土留工施工期間	H=2.5m	日
土留工施工期間	H=2.0m	日

2. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.09m

BH0.2

φ = 200 延長 L = 12.53 m
土被り H = 1.09 m



舗装切断工(As) (t=15cm以下)	12.53 × 2	25.06 m
舗装版破碎工(As) (t=10cm以下)	1.45 × 12.53	18.17 m ²
掘削工 (機械)	(1.45 + 0.60) × 1.41 ÷ 2 × 12.53	18.11 m ³
発生土埋戻し工	0.60 × 0.65 × 12.53	4.89 m ³
砂埋戻工	(0.60 × 0.42 - 0.038) × 12.53	2.68 m ³
下層路盤工 (RC-40 t=20cm)	1.45 × 12.53	18.17 m ²
上層路盤工 (M-25 t=11cm)	1.45 × 12.53	18.17 m ²
舗装工 (再生密粒度As t=3cm)	1.45 × 12.53	18.17 m ²
残土処理工(土砂)	18.11 - 4.89	13.22 m ³
残土処分費(土砂)		13.22 m ³
残土処理工(As塊)	1.45 × 0.04 × 12.53	0.73 m ³
建設廃材処分費(As塊)		0.73 m ³

3. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.45m										BH0.2					
φ = 200 延長 L = 22.41 m 土被り H = 1.45 m 掘削埋戻 0.04 1.73 0.10 0.22 0.10 As As 路盤工 M-25 路盤工 RC-40 良質 発生土 砂 0.03 0.11 0.20 1.01 0.42 管積 0.038 m2										舗装切断工(As) (t=15cm以下)		22.41 × 2		44.82 m	
		舗装版破碎工(As) (t=10cm以下)		0.95 × 22.41		21.29 m2									
		掘削工 (機械)		0.95 × 1.73 × 22.41		36.83 m3									
		発生土埋戻し工		0.95 × 1.01 × 22.41		21.50 m3									
		砂埋戻工		(0.95 × 0.42 − 0.038) × 22.41		8.09 m3									
		下層路盤工 (RC-40 t=20cm)		0.95 × 22.41		21.29 m2									
		上層路盤工 (M-25 t=11cm)		0.95 × 22.41		21.29 m2									
		舗装工 (再生密粒度As t=3cm)		0.95 × 22.41		21.29 m2									
		残土処理工(土砂)		36.83 − 21.50		15.33 m3									
		残土処分費(土砂)				15.33 m3									
		残土処理工(As塊)		0.95 × 0.04 × 22.41		0.85 m3									
		建設廃材処分費(As塊)				0.85 m3									
		土留工		H=2.0m		22.41 m									

4. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.48m										BH0.2		
φ = 200 延長 L = 5.77 m 土被り H = 1.48 m 掘削埋戻 0.04 As As 0.03 0.11 0.20 0.34 路盤工 M-25 路盤工 RC-40 良質発生土 砂 0.10 0.22 0.10 0.95 管積 0.038 m2										舗装切断工(As) (t=15cm以下)	5.77 × 2	11.54 m
										舗装版破碎工(As) (t=10cm以下)	0.95 × 5.77	5.48 m2
										掘削工 (機械)	0.95 × 1.76 × 5.77	9.65 m3
										発生土埋戻し工	0.95 × 1.04 × 5.77	5.70 m3
										砂埋戻工	(0.95 × 0.42 - 0.038) × 5.77	2.08 m3
										下層路盤工 (RC-40 t=20cm)	0.95 × 5.77	5.48 m2
										上層路盤工 (M-25 t=11cm)	0.95 × 5.77	5.48 m2
										舗装工 (再生密粒度As t=3cm)	0.95 × 5.77	5.48 m2
										残土処理工(土砂)	9.65 - 5.70	3.95 m3
										残土処分費(土砂)		3.95 m3
										残土処理工(As塊)	0.95 × 0.04 × 5.77	0.22 m3
										建設廃材処分費(As塊)		0.22 m3
										土留工	H=2.0m	5.77 m

5. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.51m				BH0.2		
φ = 200 延長 L = 1.26 m 土被り H = 1.51 m 掘削埋戻 0.04 As As 路盤工 M-25 路盤工 RC-40 良質発生土 砂 0.03 0.11 0.20 1.07 0.42 0.34 1.79 0.10 0.22 0.10 0.95 管積 0.038 m2				1.83		
				舗装切断工(As) (t=15cm以下)	1.26 × 2	2.52 m
				舗装版破碎工(As) (t=10cm以下)	0.95 × 1.26	1.20 m2
				掘削工 (機械)	0.95 × 1.79 × 1.26	2.14 m3
				発生土埋戻し工	0.95 × 1.07 × 1.26	1.28 m3
				砂埋戻工	(0.95 × 0.42 - 0.038) × 1.26	0.45 m3
				下層路盤工 (RC-40 t=20cm)	0.95 × 1.26	1.20 m2
				上層路盤工 (M-25 t=11cm)	0.95 × 1.26	1.20 m2
				舗装工 (再生密粒度As t=3cm)	0.95 × 1.26	1.20 m2
				残土処理工(土砂)	2.14 - 1.28	0.86 m3
				残土処分費(土砂)		0.86 m3
				残土処理工(As塊)	0.95 × 0.04 × 1.26	0.05 m3
				建設廃材処分費(As塊)		0.05 m3
				土留工	H=2.0m	1.26 m

6. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.57m				BH0.2		
φ = 200 延長 L = 1.42 m 土被り H = 1.57 m 掘削埋戻 0.04 As As 路盤工 M-25 路盤工 RC-40 良質発生土 砂 0.03 0.11 0.20 0.34 1.13 0.42 0.95 管積 0.038 m2				1.89		
				舗装切断工(As) (t=15cm以下)	1.42 × 2	2.84 m
				舗装版破碎工(As) (t=10cm以下)	0.95 × 1.42	1.35 m2
				掘削工 (機械)	0.95 × 1.85 × 1.42	2.50 m3
				発生土埋戻し工	0.95 × 1.13 × 1.42	1.52 m3
				砂埋戻工	(0.95 × 0.42 - 0.038) × 1.42	0.51 m3
				下層路盤工 (RC-40 t=20cm)	0.95 × 1.42	1.35 m2
				上層路盤工 (M-25 t=11cm)	0.95 × 1.42	1.35 m2
				舗装工 (再生密粒度As t=3cm)	0.95 × 1.42	1.35 m2
				残土処理工(土砂)	2.50 - 1.52	0.98 m3
				残土処分費(土砂)		0.98 m3
				残土処理工(As塊)	0.95 × 0.04 × 1.42	0.05 m3
				建設廃材処分費(As塊)		0.05 m3
				土留工	H=2.0m	1.42 m

7. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.59m										BH0.2		
φ = 200 延長 L = 66.02 m 土被り H = 1.58 m 掘削埋戻 0.04 As As 路盤工 M-25 路盤工 RC-40 良質 発生土 砂 0.03 0.11 0.20 1.14 0.42 0.34 管積 0.038 m2										舗装切断工(As) (t=15cm以下)	66.02 × 2	132.04 m
										舗装版破碎工(As) (t=10cm以下)	0.95 × 66.02	62.72 m2
										掘削工 (機械)	0.95 × 1.86 × 66.02	116.66 m3
										発生土埋戻し工	0.95 × 1.14 × 66.02	71.50 m3
										砂埋戻工	(0.95 × 0.42 − 0.038) × 66.02	23.83 m3
										下層路盤工 (RC-40 t=20cm)	0.95 × 66.02	62.72 m2
										上層路盤工 (M-25 t=11cm)	0.95 × 66.02	62.72 m2
										舗装工 (再生密粒度As t=3cm)	0.95 × 66.02	62.72 m2
										残土処理工(土砂)	116.66 − 71.50	45.16 m3
										残土処分費(土砂)		45.16 m3
										残土処理工(As塊)	0.95 × 0.04 × 66.02	2.51 m3
										建設廃材処分費(As塊)		2.51 m3
										土留工	H=2.0m	66.02 m

8. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.75m					BH0.2		
φ = 200 延長 L = 1.26 m 土被り H = 1.75 m 掘削埋戻 0.04 As As 路盤工 M-25 路盤工 RC-40 良質発生土 砂 0.03 0.11 0.20 2.07 0.42 0.34 1.31 0.95 管積 0.038 m2					舗装切断工(As) (t=15cm以下) 1.26 × 2 2.52 m		
					舗装版破碎工(As) (t=10cm以下) 0.95 × 1.26 1.20 m2		
					掘削工 (機械) 0.95 × 2.03 × 1.26 2.43 m3		
					発生土埋戻し工 0.95 × 1.31 × 1.26 1.57 m3		
					砂埋戻工 (0.95 × 0.42 - 0.038) × 1.26 0.45 m3		
					下層路盤工 (RC-40 t=20cm) 0.95 × 1.26 1.20 m2		
					上層路盤工 (M-25 t=11cm) 0.95 × 1.26 1.20 m2		
					舗装工 (再生密粒度As t=3cm) 0.95 × 1.26 1.20 m2		
					残土処理工(土砂) 2.43 - 1.57 0.86 m3		
					残土処分費(土砂) 0.86 m3		
					残土処理工(As塊) 0.95 × 0.04 × 1.26 0.05 m3		
					建設廃材処分費(As塊) 0.05 m3		
					土留工 H=2.5m 1.26 m		

9. 圧送管DIP-GXφ200 市道車道As DP=1.91m					BH0.2		
φ = 200 延長 L = 7.33 m 土被り H = 1.91 m 掘削埋戻 0.04 As As 路盤工 M-25 路盤工 RC-40 良質発生土 砂 0.03 0.11 0.20 0.34 1.47 0.42 2.23 0.10 0.22 0.10 0.95 管積 0.038 m2					舗装切断工(As) (t=15cm以下)	7.33 × 2	14.66 m
					舗装版破碎工(As) (t=10cm以下)	0.95 × 7.33	6.96 m2
					掘削工 (機械)	0.95 × 2.19 × 7.33	15.25 m3
					発生土埋戻し工	0.95 × 1.47 × 7.33	10.24 m3
					砂埋戻工	(0.95 × 0.42 - 0.038) × 7.33	2.65 m3
					下層路盤工 (RC-40 t=20cm)	0.95 × 7.33	6.96 m2
					上層路盤工 (M-25 t=11cm)	0.95 × 7.33	6.96 m2
					舗装工 (再生密粒度As t=3cm)	0.95 × 7.33	6.96 m2
					残土処理工(土砂)	15.25 - 10.24	5.01 m3
					残土処分費(土砂)		5.01 m3
					残土処理工(As塊)	0.95 × 0.04 × 7.33	0.28 m3
					建設廃材処分費(As塊)		0.28 m3
					土留工	H=2.5m	7.33 m

数 量 計 算 書

(当 初)

上段
下段
当初
変更

工 事 名 : 明科地域下水道施設統廃合事業明科4工区管渠工事(交付金)

工 事 場 所 : 安曇野市 明科中川手

安曇野市 上下水道部下水道課

Ver.8.00

(工事名) 明科地域下水道施設統廃合事業明科4工区管渠工事(交付金)

Ver.8.00

数 量 集 計 表

工 種	種 別	規格・形状		計 算	数量		
	路線延長	φ 250mm			14.0	m	
						m	
	管渠延長	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管250mm			12.8	m	
管布設工							
	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管250mm	φ 250×4.0m			3.2	本	
	可とう継手	φ 250mm			2	個	
						個	
	管布設工				12.7	m	
	埋設標示シート (茶)	W=400mm				m	
	埋設標示テープ (茶)	W=30mm			12.8	m	
	(土 工 事)						
	掘 削 工	0. 2m3級 B. H			29	m ³	
		0. 35m3級 B. H				m ³	
		0. 6m3級 B. H				m ³	
	砕石基礎工	(機械投入) 0. 2m3級 B. H			5.0	m ³	
		(機械投入) 0. 35m3級 B. H				m ³	
		(機械投入) 0. 6m3級 B. H				m ³	
		路盤材再利用(t=20cm)			-	m ³	
	砕石基礎購入量	再生クラッシャーラン(RC40)				m ³	
	埋 戻 工	0. 2m3級 B. H	良質発生土		18.9	m ³	
		0. 35m3級 B. H	良質発生土			m ³	
		0. 6m3級 B. H	良質発生土			m ³	
	残土処分工	機械積込み 0. 2m3級 B. H			9.8	m ³	
		機械積込み 0. 35m3級 B. H				m ³	
		機械積込み 0. 6m3級 B. H				m ³	
	(開削水替え工)				0.77	日	
	(山 留 工)	平均掘削深		2.25m	14.0		m
		建込み簡易土留	H=1. 5型				m
H=2. 0型						m	
H=2. 5型				平均H=2.25	14.0	m	
H=3. 0型						m	
H=3. 5型						m	
建込み簡易土留		H=4. 0型				m	
		H=4. 5型				m	
		H=5. 0型				m	
建込み簡易土留		H=5. 5型				m	
		H=6. 0型				m	
土留材運搬		搬入及び搬出			14.6	t	

(工事名) 明科地域下水道施設統廃合事業明科4工区管渠工事(交付金)

Ver.8.00

数 量 集 計 表

工 種	種 別	規格・形状		計 算	数 量	
マンホール設置工	(3号組立レジンマンホール)					
	マンホール鉄蓋	φ 900/ φ 600親子蓋、不法投棄防止、除雪対応型 T-14				組
		φ 900/ φ 600親子蓋、不法投棄防止、除雪対応型 T-25			1	組
	転落防止梯子 (SUS)	仕様書による			1	個
	マンホール底板	外径1660＊160			1	個
	底部工	砕石基礎 RC40-0	T=20cm			m ²
		インバート工 18-8-40BB＋モルタル(1:3)仕上げ				箇所
						箇所
	躯体ブロック	H=600				個
		H=900				個
		H=1200				個
		H=1500				個
		H=1800	内面クリーム色		1	個
	直壁ブロック	H=300				個
		H=600				個
		H=900	内面クリーム色		1	個
		H=1200				個
		H=1500	内面クリーム色		1	個
		H=1800				個
	斜壁ブロック	H=300				個
		H=450				個
		H=600				個
	調整リング	t=5				個
		t=10			2	個
		t=15				個
		t=20				個
	調整プレート	25mm			1	箇所
		45mm				箇所
	マンホール底板	外径1660＊160				個
	頂版ブロック	H=60				個
		H=90			1	個
		H=120				個
	中間スラブ	FRP製				個
	削 孔	PRP φ 200				箇所
		PRP φ 250			1	箇所
	ブロック据付工	H=3m以下				箇所
		H=3m超～H=4m以下				箇所
		H=4m超～H=5m以下			1	箇所
		H=6m超				箇所
	(副管設置工)					箇所
	直管	1箇所当				m
	支管					本
	カラー管					本
	曲管					本
	コンクリート	18－8－40 (BB) 1箇所当				³ m
	型枠	1箇所当				² m

(工事名) 明科地域下水道施設統廃合事業明科4工区管渠工事(交付金)

Ver.8.00

数量集計表

工 種	種 別	規格・形状		計 算	数量	
付 帯 工	表 層 工	再生密粒度13F t=3cm			13	m ²
		粗粒度アスコン20(再生材) t=5cm				m ²
		細粒度アスコン13F(再生材) t=3cm				m ²
	上層路盤工	t=11cm			13	m ²
	下層路盤工	t=20cm			13	m ²
	路盤工	RC40-0 t=10cm				m ²
	凍上抑制層	RC40-0 t=15cm				m ²
	As取壊し工	機械積込み 0. 2m3級 B. H			14.0	m ²
		機械積込み 0. 35m3級 B. H				m ²
	As切断工				28	m
	As処分工(運搬)				0.60	m ³
	As処分費				1.38	t
既設マンホール接続工					1.00	式

明科地域下水道施設統廃合事業明科4工区管渠工事(交付金)
数量 総括表
内径 250 mm 下水道用リブ付塩化ビニル管

上段：当初

下段：變更

管 路 延 長	管 渠 延 長	基 礎 延 長	材 料 付 帯 工										本管土工															
			P	R	P	I	舗装版取り壊し工	A _s	殻	処	分	掘	削	工	砕	石	基礎	工	碎石購入量	埋	戻	工	残	土	処	分	工	
			直	管上	可撓継手流下	可撓継手流上	t=20cm迄	種込機種	積込機種	L=5.0km	0.20B.H	0.35B.H	L=5.0km	0.20B.H	0.35B.H	0.60B.H	0.20B.H	0.35B.H	0.60B.H	RC40-0	良質発生土	良質発生土	良質発生土	0.20BH	積込	0.35BH	積込	0.60BH
m	m	m	本	箇所	箇所	m	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³		
14.00	12.80	12.68	3.20		1		1		28.0		14.0		0.6		28.7				5.0						18.9		9.8	

埋設標示 シート	埋設標示 テープ
(茶) W=400mm	(茶) W=30mm
m	m
	12.8

建	工 留 土 易 簡 込								
シ	ダ ブ ル レ								ー ル
H = 1.5 m	H = 2.0 m	H = 2.5 m	H = 3.0 m	H = 3.5 m	H = 4.0 m	H = 4.5 m	H = 5.0 m	H = 5.5 m	H = 6.0 m
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		14.00							
		14.0							

[illegible]

開削水替え工
日

加重平均深			2.25							2.25
-------	--	--	------	--	--	--	--	--	--	------

[illegible][illegible]

(土工数量調書) 明科地域下水道施設統廃合事業明科4工区管渠工事(交付金)

[illegible]

（人孔数量調書） 明科地域下水道施設統廃合事業明科4工区管渠工事(交付金)

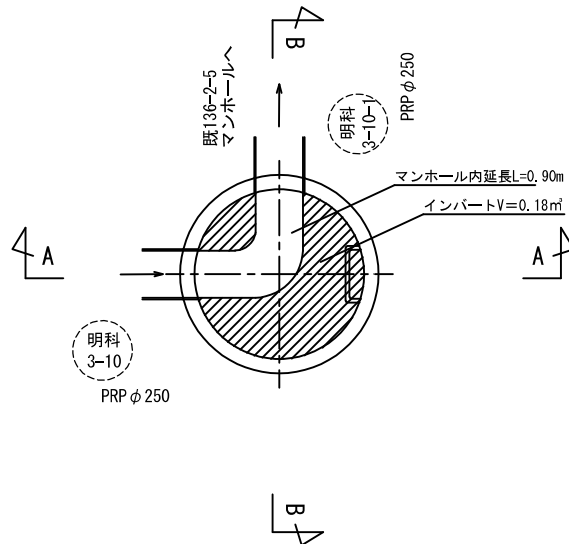
3号組立レジンマンホール数量表																																	本管内径			250 mm			下水道用リブ付塩化ビニール管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
路線 番号	人 孔 番 号	人 孔 深 さ	組 立 高 さ	マ		ン		ホ		ー		ル		副		管		マ		ン								ホ								ー								ル								材								料				備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				現	況	流	入	流	出	落	差	副	直	底	躯体								壁								頂								調整				調整				中間	鉄	削	孔																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				地	盤	高	高	底	高	底	差	管	管	版	60	90	120	150	180	210	240	30	60	90	120	150	180	210	240	6	9	12	5	10	15	20	25	45	ス	T-14	T-25	200	250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
No.	No.	m	m	m	m	m	m	mm	m	個	個								個								個				個				組		個	組		箇所		備	考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
明科2	MP-No.2	4.70	4.70	517.39		515.086		515.530			1						1												1					2				1			1			1	内面クリーム色 梯子																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

既設マンホール(No. 3-11)接続工量集計表

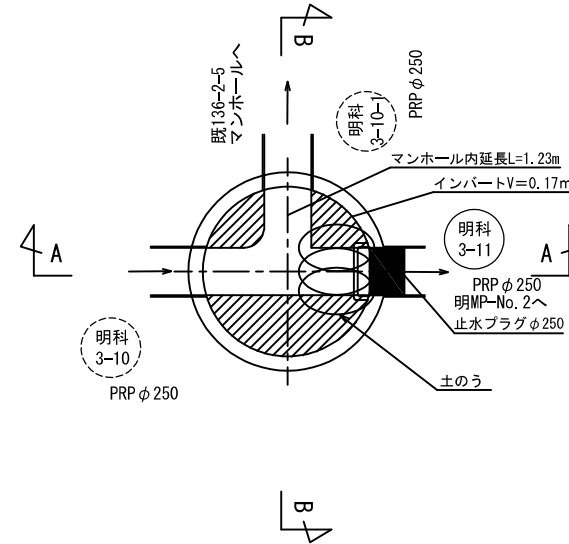
[illegible]

既設No. 3-11マンホールインバート撤去復旧参考図 S=1/20

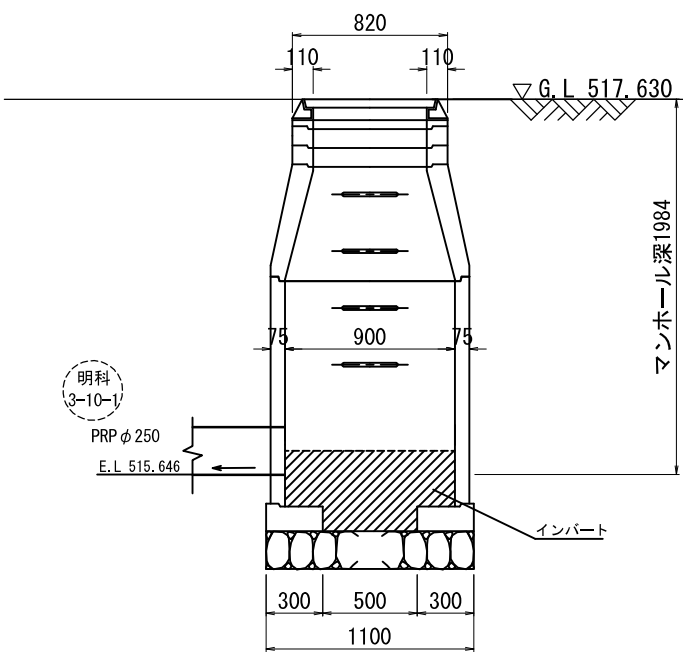
本工事施工前(撤去)
平面図



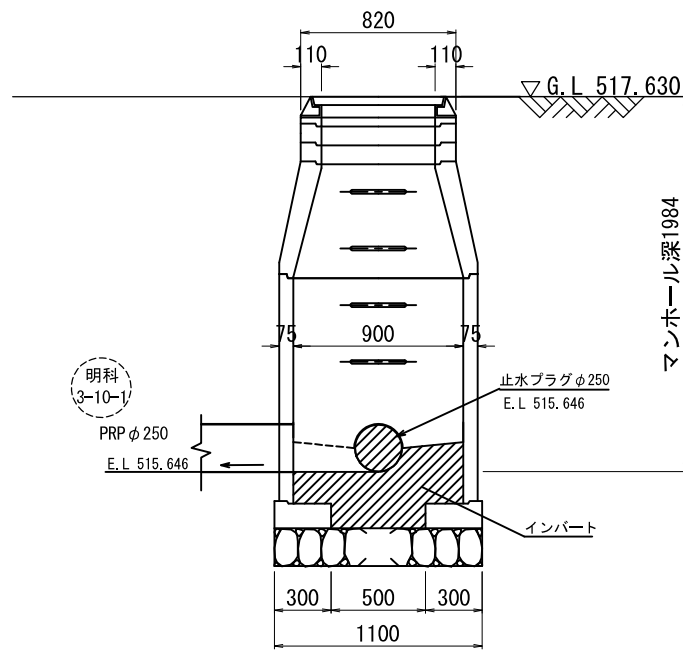
本工事施工後(復旧)
平面図



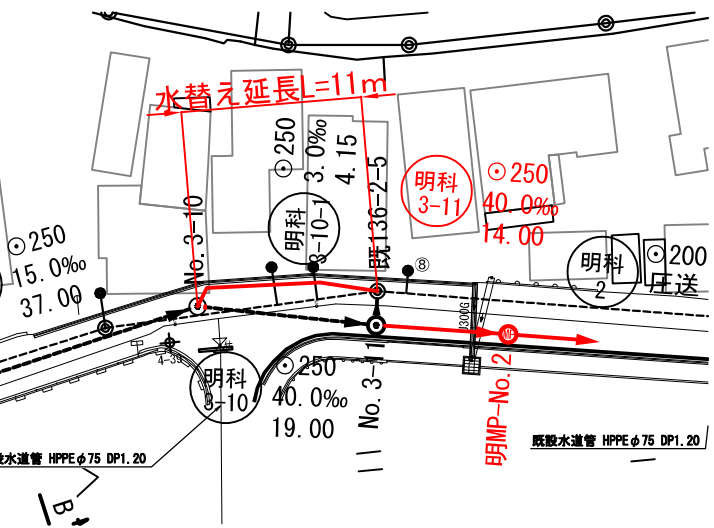
B-B断面



B-B断面



No. 3-11水替え参考図 S=1/200



※ 1 : 下流のポンプ工事が完了し、流域下水への接続が可能となるまで既136-2-5への流入系統が必要

事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	既設No. 3-11マンホールインバート 撤去復旧参考図		
縮尺	図示	図面番号	
事業主	安曇野市		

土留め工 平均掘削深算出 明科4工区

・圧送管(DCIP φ200)

	土留め工規格					
	H 2.00m			H 2.50m		
	平均掘削深	延長		平均掘削深	延長	
	H(m)	L(m)	H×L	H(m)	L(m)	H×L
土エタイプ①						
土エタイプ②						
土エタイプ③	1.77	22.41	39.6657			
土エタイプ④	1.80	5.77	10.386			
土エタイプ⑤	1.83	1.26	2.3058			
土エタイプ⑥	1.89	1.42	2.6838			
土エタイプ⑦	1.90	66.02	125.438			
土エタイプ⑧				2.07	1.26	2.6082
土エタイプ⑨				2.23	7.33	16.3459
合計		96.88	180.48		8.59	18.95
		平均掘削深	1.86		平均掘削深	2.21

・自然流下管(PRP φ250)

	土留め工規格					
	H 2.00m			H 2.50m		
	平均掘削深	延長		平均掘削深	延長	
	H(m)	L(m)	H×L	H(m)	L(m)	H×L
スパン1				2.25	14.00	31.5
合計					14.00	31.50
		平均掘削深			平均掘削深	2.25

建込簡易土留修理費損耗費算定表

H= 2.00 L= 96.88

パネル使用回数(N)	96.88	÷	30.0	=	3.3	≐	4	回	
補正率(n)	1/2	×	(	4	+	1	)	=	2.5
使用数量(B)	2.0	×	2	×	30.0	×	2.5	=	300.0 m ²

H= 2.50 L= 14.00

パネル使用回数(N)	14.00	÷	30.0	=	0.5	≐	1	回	
補正率(n)	1/2	×	(	1	+	1	)	=	1.0
使用数量(B)	2.5	×	2	×	14.0	×	1.0	=	70.0 m ²

ライナープレート式立坑築造工総括表

工種	種 別	細 別	単位	発進立坑 推進立坑	到達立坑 推進立坑	明MP-No.2 MP立坑			合 計
土 工	一 次 掘 削 工	BH 0.35m3(礫)	m³	---	---	---			--- m³
		BH 0.35m3(粘土・砂)	m³	---	---	---			--- m³
		掘 削 土 留 工 (砂質土・粘性土)	人力	m	---	---	---		
	掘 削 土 留 工 (礫 質 土)	BH 0.35m3	m	---	---	---			--- m
		CR 0.40m3	m	---	---	---			--- m
		人 力	m	---	6.13	---			6.130 m
	埋 戻 工	BH 0.35m3	m	3.96	---	3.96			7.920 m
		CR 0.40m3	m	2.80	---	0.81			3.610 m
		立坑掘削分 エアモルタル	m³	---	---	5.04			5.04 m³
	基礎コンクリート	砂埋戻し	m³	30.10	9.13	---			39.23 m³
		F21-8-20N	m³	1.40	1.03	---			2.43 m³
	残 土 処 分 工	発生土	m³	33.19	10.85	14.97			59.01 m³
土 留 工									
	立 坑 形 状			円 形	円 形	円 形			
	立 坑 寸 法			φ 2.5	φ 1.5	φ 2.0			
	ライナープレート			t=2.7mm	t=2.7mm	t=2.7mm			
	設 置 高	m	7.00	6.50	5.00			18.50 m	
	撤 去 高	m	1.70	1.83	1.69			5.22 m	
	残 置 高	m	5.30	4.67	3.31			13.28 m	
	設 置 重 量	ライナープレート	t	1.820	1.053	1.040			3.913 t
		補強リング	t	---	---	---			--- t
	撤 去 重 量	ライナープレート	t	0.445	0.299	0.355			1.099 t
		補強リング	t	---	---	---			--- t
	スクラップ重量		t	0.055	0.056	0.043			0.154 t
	残 置 重 量		t	1.375	0.754	0.685			2.814 t
	裏込注入工		m³	4.98	2.77	2.84			10.59 m³
支 保 工	桁材設置撤去重量	主部材	t	---	---	---			--- t
		副部材(A)	t	---	---	---			--- t
		副部材(B)	t	---	---	---			--- t
		合計	t	---	---	---			--- t
	運 搬 重 量	往路	t	---	---	---			--- t
		復路	t	---	---	---			--- t
路 面 覆 工									
	覆 工 面 積	m²	---	---	---			0.00 m²	
	覆 工 重 量	t	---	---	---			0.000 t	
	桁 材 重 量	t	---	---	---			0.000 t	
	運 搬 重 量	t	---	---	---			0.000 t	
舗 装 工									
	舗 装 切 断 工	As t=15cm以下	m	12.00	8.00	10.0			30.00 m
	舗 装 破 碎 工	As t=15cm以下	m²	9.00	4.00	6.250			19.25 m²
	処 分 工	Asガラ(無筋)	m³	0.36	0.16	0.250			0.77 m³
	舗 装 仮 復 旧 工	表層工 As t=3cm	m²	9.00	4.00	5.610			18.61 m²
		上層路盤工 M-25 t=11cm	m²	9.00	4.00	5.610			18.61 m²
	下層路盤工 RC-40 t=20cm	m²	9.00	4.00	5.610			18.61 m²	
薬 液 注 入 工									
	二重管ストレーナ 工法複相式	注入本数	本	19.00	15.00	17.00			51.00 本

名 称	計 算 式	数 量
立坑築造工	$\phi 2500$ 発進 立坑 立坑深さ = 6.8 m	
	先掘面積 A = 3.000 × 3.000 = 9.00 m ²	
	立坑面積 A = $\pi/4$ × 2.500 ² = 4.91 m ²	
1. 土 工		
1) 掘削工	機械掘削 BH0.35	
	H1 = 4.000 − 0.040 = 3.960 m	
	V1 = 4.91 × 3.960 = 19.44 m ³	
	人力掘削 H ≤ 6.0m	
	H2 = − = m	
	t=2.7mm 砂質土・粘性土 H = m	
	礫質土 H = m	
	V2 = × = m ³	
	クラムシェル掘削 BH 0.40m ³ (平積) H > 4.0m	
	H3 = 6.800 − 4.000 = 2.800 m	
	砂質土・粘性土 H = − m	
	礫質土 H = 2.800 m	
	V3 = 4.910 × 2.800 = 13.75 m ³	
2) 埋戻し工	埋戻し工（立坑掘削分）エアモルタル	
	H1 = − − = m	
	V1 = × − = m ³	m ³
	控除数量 人孔躯体 V = × ² × = m ³	
	ΣV = m ³	
	埋戻し工 購入砂	
	H2 = 6.800 − 0.340 = 6.460 m	
	V2 = 4.91 × 6.460 − 1.62 = 30.10 m ³	30.10 m ³
	控除数量 コンクリート基礎 V = 1.5 × 0.620 × 1.500 = 1.40 m ³	
	本管 V = $\pi/4$ × 0.220 ² × 5.66 = 0.22 m ³	
	排泥管 V = $\pi/4$ × ² × = m ³	
	ΣV = 1.62 m ³	
3) 処分工	発生土	
	V = 19.44 + 13.75 = 33.19	33.19 m ³

名 称	計 算 式	数 量
2. 土 留 工	ライナープレート	
	円形 ϕ 2.500 m (t=2.7mm)	
	1) 掘削土留	
	砂質土および粘性土 H = m	
	礫質土 H = 6.800 m	
	設置高 H = 7.000 m	
	撤去高 H = 1.700 m うち損料高 1.500 m	
	設置枚数 P-10 10.0 枚/m 26.0 kg/枚	
	2) 重 量	
	設置重量	
	$W = 7.00 \text{ m} \times 10.0 \text{ 枚} \times 26.0 \text{ Kg/枚} = 1,820 \text{ kg}$	
	スクラップ重量	
	$W = \frac{\pi \times 4}{0.200} \times 0.220^2 \times 33.1 \text{ kg/m}^2 \times 2 = 3 \text{ kg}$ $\qquad \qquad \qquad \times \pi \times 2.5 \times 33.1 \text{ kg/m}^2 \times 1 = 52 \text{ kg}$	
	$\Sigma W = 55 \text{ kg}$	
	損料重量	
	$W = 1.50 \text{ m} \times 10.0 \text{ 枚} \times 26.0 \text{ Kg/枚} = 390 \text{ kg}$	
	撤去重量	
	$W = 390.00 \text{ kg} + 55.0 \text{ Kg} = 445 \text{ kg}$	
	残置重量	
	$W = 1,820 - 445 = 1,375 \text{ kg}$	
	ボルト重量	
	P-10 $W = 10.0 \text{ 枚} \times 14.0 \text{ 本} \times 0.137 \text{ kg/本} = 19 \text{ kg}$	
	$\Sigma V = 19 \text{ kg}$	
	3) 裏込注入工	
	$V = 0.09 \times \pi \times (2.500 + 0.09)$	
	$\qquad \qquad \qquad \times 6.800 = 4.98 \text{ m}^3$	
	参考	
	ライナープレートm ² 当たり重量 (P-10で換算)	
	$A = \frac{L}{1.570} \times \frac{H}{0.500} = 0.785 \text{ m}^2/\text{枚}$	
	$W = \frac{26.0 \text{ kg/枚}}{0.785 \text{ m}^2/\text{枚}} = 33.1 \text{ kg/m}^2$	

名 称	計 算 式									数 量
3. 路面覆工										
	1) 覆工板									
	覆工板面積									
	$A = \quad \times \quad = \text{m}^2$									m^2
	覆工板重量									
	$W = \quad \times \quad \text{t/m枚} = \text{t}$									t
	2) 桁材重量									
		名 称	部 材	長 さ (m)	本数 (本)	単位重量 (t/m)	重 量 (t)	備考		
		受桁								
		合 計								
	$\text{撤去重量} \quad \Sigma W = \text{t}$									t
	$\text{運搬重量} \quad W = \quad + \quad = \text{t}$									t
4. 舗装工	1) 舗装切断工 As t=15cm以下									
	$L = 3.00 \times 4 = 12.00 \text{ m}$									12.00 m
	2) 舗装破碎工 As t=15cm以下									
	$A = 3.00 \times 3.00 = 9.00 \text{ m}^2$									9.00 m^2
	3) 処分工 Asガラ（無筋）									
	$V = 9.00 \times 0.04 = 0.36 \text{ m}^3$									0.36 m^3
	4) 舗装仮復旧工									
	① 表層工 As t=3cm									
	$A = 9.00 - \text{蓋控除} = 9.00 \text{ m}^2$									9.00 m^2
	② 上層路盤工 M-25 t=11cm									
	$A = 9.00 - \text{蓋控除} = 9.00 \text{ m}^2$									9.00 m^2
	③ 下層路盤工 RC-40 t=20cm									
	$A = 9.00 - \text{蓋控除} = 9.00 \text{ m}^2$									9.00 m^2

名 称	計 算 式	数 量
立坑築造工	$\phi 1500$ 到達 立坑 立坑深さ = 6.17 m	
	先掘面積 $A = 2.000 \times 2.000 = 4.00 \text{ m}^2$	
	立坑面積 $A = \pi/4 \times 1.500^2 = 1.77 \text{ m}^2$	
1. 土 工		
1) 掘削工	機械掘削 BH0.35	
	H1 = — = m	
	V1 = × = m^3	
	人力掘削 (6m以上の掘削につき土木工事積算基準を使用)	
	H2 = 6.170 − 0.040 = 6.130 m	
	t=2.7mm 砂質土・粘性土 H = — m	
	礫質土 H = 6.130 m	
	V2 = 1.77 × 6.130 = 10.85 m^3	
	クラムシェル掘削 BH 0.40 m^3 (平積) H>4.0m	
	H3 = — = m	
	砂質土・粘性土 H = — m	
	礫質土 H = m	
	V3 = × = m^3	
2) 埋戻し工	埋戻し工 (立坑掘削分) エアモルタル	
	H1 = — — = m	
	V1 = × — = m^3	m^3
	控除数量 人孔躯体 V = × $^2 \times$ = m^3	
	$\Sigma V = \text{m}^3$	
	埋戻し工 購入砂	
	H2 = 6.170 − 0.340 = 5.830 m	
	V2 = 1.77 × 5.830 − 1.19 = 9.13 m^3	9.13 m^3
	控除数量 コンクリート基礎 V = 1.33 × 0.620 × 1.250 = 1.03 m^3	
	本管 V = $\pi/4 \times 0.220^2 \times 3.13 = 0.12 \text{ m}^3$	
	排泥管 V = $\pi/4 \times 0.093^2 \times 5.30 = 0.04 \text{ m}^3$	
	$\Sigma V = 1.19 \text{ m}^3$	
3) 処分工	発生土	
	V = 10.85 = 10.85	10.85 m^3

名 称	計 算 式	数 量
2. 土 留 工	ライナープレート	
	円形 ϕ 1.500 m (t=2.7mm)	
	1) 掘削土留	
	砂質土および粘性土 H = m	
	礫質土 H = 6.170 m	
	設置高 H = 6.500 m	
	撤去高 H = 1.830 m うち損料高 1.500 m	
	設置枚数 P-6 10.0 枚/m 16.2 kg/枚	
	2) 重 量	
	設置重量	
	$W = 6.50 \text{ m} \times 10.0 \text{ 枚} \times 16.2 \text{ Kg/枚} = 1,053 \text{ kg}$	
	スクラップ重量	
	$W = \frac{\pi \times 4}{0.330} \times 0.220^2 \times 34.4 \text{ kg/m}^2 \times 2 = 3 \text{ kg}$ $0.330 \times \pi \times 1.5 \times 34.4 \text{ kg/m}^2 \times 1 = 53 \text{ kg}$	
	$\Sigma W = 56 \text{ kg}$	
	損料重量	
	$W = 1.50 \text{ m} \times 10.0 \text{ 枚} \times 16.2 \text{ Kg/枚} = 243 \text{ kg}$	
	撤去重量	
	$W = 243.00 \text{ kg} + 56.0 \text{ Kg} = 299 \text{ kg}$	
	残置重量	
	$W = 1,053 - 299 = 754 \text{ kg}$	
	ボルト重量	
	P-6 $W = 10.0 \text{ 枚} \times 10.0 \text{ 本} \times 0.137 \text{ kg/本} = 14 \text{ kg}$	
	$\Sigma V = 14 \text{ kg}$	
	3) 裏込注入工	
	$V = 0.09 \times \pi \times (1.500 + 0.09)$	
	$\times 6.170 = 2.77 \text{ m}^3$	
	参考	
	ライナープレート m^2 当たり重量 (P-6で換算)	
	$A = \frac{L}{0.942} \times \frac{H}{0.500} = 0.471 \text{ m}^2/\text{枚}$	
	$W = \frac{\text{kg/枚}}{16.2} \div \frac{\text{m}^2/\text{枚}}{0.471} = 34.4 \text{ kg/m}^2$	

名 称	計 算 式									数 量
3. 路面覆工										
	1) 覆工板									
	覆工板面積									
	$A = \quad \times \quad = \text{m}^2$									m^2
	覆工板重量									
	$W = \quad \times \quad \text{t/m枚} = \text{t}$									t
	2) 桁材重量									
		名 称	部 材	長 さ (m)	本数 (本)	単位重量 (t/m)	重 量 (t)	備考		
		受桁								
		合 計								
	$\text{撤去重量} \quad \Sigma W = \text{t}$									t
	$\text{運搬重量} \quad W = \quad + \quad = \text{t}$									t
4. 舗装工	1) 舗装切断工 As t=15cm以下									
	$L = 2.00 \times 4 = 8.00 \text{ m}$									8.00 m
	2) 舗装破碎工 As t=15cm以下									
	$A = 2.00 \times 2.00 = 4.00 \text{ m}^2$									4.00 m^2
	3) 処分工 Asガラ									
	$V = 4.00 \times 0.04 = 0.16 \text{ m}^3$									0.16 m^3
	4) 舗装仮復旧工									
	① 表層工 As t=3cm									
	$A = 4.00 - \text{蓋控除} = 4.00 \text{ m}^2$									4.00 m^2
	② 上層路盤工 M-25 t=11cm									
	$A = 4.00 - \text{蓋控除} = 4.00 \text{ m}^2$									4.00 m^2
	③ 下層路盤工 RC-40 t=20cm									
	$A = 4.00 - \text{蓋控除} = 4.00 \text{ m}^2$									4.00 m^2

名 称	計 算 式	数 量
立坑築造工	$\phi 2000$ 明MP-No. 2 立坑 立坑深さ = 4.81 m	
	先掘面積 $A = 2.500 \times 2.500 = 6.25 \text{ m}^2$	
	立坑面積 $A = \pi / 4 \times 2.000^2 = 3.14 \text{ m}^2$	
1. 土 工		
1) 掘削工	機械掘削 BH0.35	
	$H1 = 4.000 - 0.040 = 3.960 \text{ m}$	
	$V1 = 3.14 \times 3.960 = 12.43 \text{ m}^3$	
	人力掘削 $H \leq 6.0\text{m}$	
	$H2 = - = \text{m}$	
	t=2.7mm 砂質土・粘性土 $H = \text{m}$	
	礫質土 $H = - \text{m}$	
	$V2 = \times = \text{m}^3$	
	クラムシェル掘削 BH 0.40m ³ (平積) $H > 4.0\text{m}$	
	$H3 = 4.810 - 4.000 = 0.810 \text{ m}$	
	砂質土・粘性土 $H = - \text{m}$	
	礫質土 $H = 0.810 \text{ m}$	
	$V3 = 3.140 \times 0.810 = 2.54 \text{ m}^3$	
2) 埋戻し工	埋戻し工（立坑掘削分）エアモルタル	
	$H1 = 4.810 - 0.340 = 4.470 \text{ m}$	
	$V1 = 3.14 \times 4.470 - 9.00 = 5.04 \text{ m}^3$	5.04 m ³
	控除数量 人孔躯体 $V = \pi / 4 \times 1.600^2 \times 4.470 = 8.99 \text{ m}^3$	
	控除数量 管きよ $V = \pi / 4 \times 0.256^2 \times 0.200 = 0.01 \text{ m}^3$	
	$\Sigma V = 9.00 \text{ m}^3$	
	埋戻し工（一次掘削分）購入土	
	$H2 = - = \text{m}$	
	$V2 = \times - = \text{m}^3$	m ³
	$\Sigma V = \text{m}^3$	
3) 処分工	発生土	
	$V = 12.43 + 2.54 = 14.97$	14.97 m ³

名 称	計 算 式	数 量
2. 土 留 工	ライナープレート	
	円形 ϕ 2.000 m (t=2.7mm)	
	1) 掘削土留	
	砂質土および粘性土 H = m	
	礫質土 H = 4.810 m	
	設置高 H = 5.000 m	
	撤去高 H = 1.690 m うち損料高 1.500 m	
	設置枚数 P-10 8.0 枚/m 26.0 kg/枚	
	2) 重 量	
	設置重量	
	$W = 5.00 \text{ m} \times 8.0 \text{ 枚} \times 26.0 \text{ Kg/枚} = 1,040 \text{ kg}$	
	スクラップ重量	
	$W = \frac{\pi}{4} \times 0.220^2 \times 33.1 \text{ kg/m}^2 \times 1 = 1 \text{ kg}$ $\frac{\pi}{4} \times 0.256^2 \times 33.1 \text{ kg/m}^2 \times 1 = 2 \text{ kg}$	
	$0.190 \times \pi \times 2.0 \times 33.1 \text{ kg/m}^2 \times 1 = 40 \text{ kg}$ $\Sigma W = 43 \text{ kg}$	
	損料重量	
	$W = 1.50 \text{ m} \times 8.0 \text{ 枚} \times 26.0 \text{ Kg/枚} = 312 \text{ kg}$	
	撤去重量	
	$W = 312.00 \text{ kg} + 43.0 \text{ Kg} = 355 \text{ kg}$	
	残置重量	
	$W = 1,040 - 355 = 685 \text{ kg}$	
	ボルト重量	
	P-10 $W = 8.0 \text{ 枚} \times 14.0 \text{ 本} \times 0.137 \text{ kg/本} = 15 \text{ kg}$	
	$\Sigma V = 15 \text{ kg}$	
	3) 裏込注入工	
	$V = 0.09 \times \pi \times (2.000 + 0.09)$	
	$\times 4.810 = 2.84 \text{ m}^3$	
	参考	
	ライナープレート m^2 当たり重量 (P-10で換算)	
	$A = \frac{L}{1.570} \times \frac{H}{0.500} = 0.785 \text{ m}^2/\text{枚}$	
	$W = \frac{\text{kg/枚}}{26.0} \div \frac{\text{m}^2/\text{枚}}{0.785} = 33.1 \text{ kg/m}^2$	

名 称	計 算 式									数 量
3. 路面覆工										
	1) 覆工板									
	覆工板面積									
	$A = \quad \times \quad = \text{m}^2$									m^2
	覆工板重量									
	$W = \quad \times \quad \text{t/m枚} = \text{t}$									t
	2) 桁材重量									
		名 称	部 材	長 さ (m)	本数 (本)	単位重量 (t/m)	重 量 (t)	備考		
		受桁								
		合 計								
	$\text{撤去重量} \quad \Sigma W = \text{t}$									t
	$\text{運搬重量} \quad W = \quad + \quad = \text{t}$									t
4. 舗装工	1) 舗装切断工 As t=15cm以下									
	$L = 2.50 \times 4 = 10.00 \text{ m}$									10.00 m
	2) 舗装破碎工 As t=15cm以下									
	$A = 2.50 \times 2.50 = 6.25 \text{ m}^2$									6.25 m^2
	3) 処分工 Asガラ									
	$V = 6.25 \times 0.04 = 0.25 \text{ m}^3$									0.25 m^3
	4) 舗装仮復旧工									
	① 表層工 As t=3cm									
	$A = 6.25 - \text{蓋控除 } 0.64 = 5.61 \text{ m}^2$									5.61 m^2
	② 上層路盤工 M-25 t=11cm									
	$A = 6.25 - \text{蓋控除 } 0.64 = 5.61 \text{ m}^2$									5.61 m^2
	③ 下層路盤工 RC-40 t=20cm									
	$A = 6.25 - \text{蓋控除 } 0.64 = 5.61 \text{ m}^2$									5.61 m^2

薬液注入工（二重管ストレーナ工法、複相式）数 量 計 算 書

施 工 場 所			単位	発進立坑 φ 2500 側部	到達立坑 φ 1500 側部	MP—No.2 2000 側部				小 計
注 入 面 積			m ²	18.850	14.137	16.493				49.480
削孔長	砂 礫 土		m	4.000	3.976	4.000				11.976
	砂 質 土		m							
	粘 性 土		m							
	削 孔 長 計		m	4.000	3.976	4.000				11.976
注 入 長	砂 礫 土	10～50	m	3.070	3.070	3.070				9.210
		50以上	m							
	砂 質 土	0～10	m							
		10～30	m							
		30以上	m							
	粘 性 土	0～4	m							
		4～8	m							
	注 入 長 計		m	3.070	3.070	3.070				9.210
引 抜 き 長			m	0.930	0.906	0.930				2.766
注 入 量 （ 注 入 率 ）	砂 礫 土	10～50	kℓ	20.833	15.624	18.227				54.684
		50以上	kℓ							
	砂 質 土	0～10	kℓ							
		10～30	kℓ							
		30以上	kℓ							
	粘 性 土	0～4	kℓ							
		4～8	kℓ							
	注 入 量 計		kℓ	20.833	15.624	18.227				54.684
注 入 量 （ 比 率 ）	砂礫土:10～50		kℓ	13.889	10.416	12.151				36.456
	砂礫土:50以上		kℓ							
	砂質土:0～10		kℓ							
	砂質土:10～30		kℓ							
	砂質土:30以上		kℓ							
	粘性土:0～4		kℓ							
	粘性土:4～8		kℓ							
	注 入 量(瞬結材)計		kℓ	13.889	10.416	12.151				36.456
	砂礫土:10～50		kℓ	6.944	5.208	6.076				18.228
	砂礫土:50以上		kℓ							
	砂質土:0～10		kℓ							
	砂質土:10～30		kℓ							
	砂質土:30以上		kℓ							
	粘性土:0～4		kℓ							
	粘性土:4～8		kℓ							
	注 入 量(緩結材)計		kℓ	6.944	5.208	6.076				18.228
注 入 本 数			本	19	15	17				51
1本当り注入量		瞬結材	ℓ	731	694	715				
		緩結材	ℓ	365	347	357				
		計	ℓ	1096	1042	1072				3210.24
準 備 時 間		14	分	14.00	14.00	14.00				42.00
削孔時間	礫 質 土		8分/m	32.0	31.8	32.0				95.8
	砂 質 土		5分/m							
	粘 性 土		4分/m							
	削 孔 時 間 計		分	32.00	31.80	32.00				95.80
注 入 時 間		16ℓ/min	分	68.53	65.10	67.01				200.64
引抜き時間		2分/m	分	1.86	1.81	1.86				5.53
1本当り施工時間			分	116.39	112.71	114.87				343.97
1箇所当り施工時間			分	2211.40	1690.70	1952.80				5854.90
1日当り施工本数(2セット)		6.3h/日	本	6.50	6.71	6.58				19.79
1日当り施工本数(4セット)		6.3h/日	本	13.00	13.40	13.20				39.60

※1.施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。

2.水ガラス積算流量計は、総注入量500kℓ以上の場合に計上する。

二重管ストレーナ工法注入率表(複相方式)

分類	土 質	N 値		間 隙 率 ρ (%)	注入充填率 α (%)	注 入 率 (%)
1	砂 礫 土	ゆるい～中位		40	90	36.0
2		中位～締った		35	90	31.5
3	砂 質 土	ゆるい～中位		45	90	40.5
4		中位～締った		35	90	31.5
5	粘 性 土	ゆるい～中位		70	40	28.0
6		中位～締った		60	40	24.0

小口径推進工法数量（鋼管 ϕ 400）

前川横断（明科4路線）

推 進 工

前川横断(明科4路線)

推進工集計表

管推進工 鋼管 $\phi 400\text{mm}$ 内管 $\phi 200\text{mm}$ (ダクトイル鋳鉄管)

項 目	細 目	数 量	単 位	摘 要
路 線 延 長		22.0	m	
管 体 延 長		22.0	m	
推 進 延 長		21.0	m	
推 進 管	本管DIP φ 200 L=1.0	1.0	本	
	本管DIP φ 200 L=1.5	14.0	本	
	400mmSTK L=2.0		本	
	400mmSTK L=1.0	21	本	
	400mmSTK L=0.6		本	
スパーサー	VU φ 250 ベアリングタイプ		個	
本管挿入工	DIP φ 200	21.0	m	
さや管推進用リング	φ 200	16.0	組	
中込注入		1.84	m3	
残 土		2.7	m3	

仮設備工

項 目	細 目	数 量	単 位	摘 要
発進坑口工		1	箇所	
到達坑口工		1	箇所	
推進設備工		1	式	
鏡 切 り 工		2	箇所	鋼材処分は立坑築造工に計上
	発進 200mmDIP	0.69	m	
	400mmSTK	1.28	m	
	到達 200mmDIP	0.69	m	
	400mmSTK	1.28	m	
立坑基礎工			箇所	
			m3	

管布設工(空伏工)

項 目	細 目	数 量	単 位	摘 要
管 布 設 延 長	DIP φ 200		m	圧送管布設工に計上
			m	
砕 石				
コンクリート				立坑築造工に計上
			m3	
型 枠				立坑築造工に計上
			m ²	
鉄 筋				
	D13 , D16		kg	

推 進 工 計 算 書

内径 $\phi 200$ mm (鋼管さや管推進 鋼管 $\phi 400$)

立坑番号	土留寸法 m	人孔	線路延長 m	人孔減長 m	立坑減長 m	管体延長 m	推進延長 m	内装管挿入 m	防護延長 m	管布設延長 m	本管DIP φ 200 本		400mmSTK 本			さや管推進用リング 組	スパーサー 個	中込め注入 m ³	残 土 m ³
				人孔内径/2		路線延長 - 人孔減長	路線延長 - 立坑減長	鋼管延長	(立坑サイズ- 人孔外径)/2	管布設工で別 途計上	L=1.00	L=1.50	L=2.00	L=1.00	L=0.60	管本数 + 1	2m/個	$\{(0.4064 - 0.0032 \times 2)^2 - 0.22^2\} \times \pi / 4 \times \text{鋼管延長}$	$0.4064^2 \times \pi / 4 \times \text{推進延長}$
発進立坑	2.50	無			0.700														
到達人孔	1.50	無			0.300														
			22.00			22.00	21.00	21.00			1.0	14.0		21		16.0		1.84	2.7
合 計			22.00			22.00	21.00	21.00			1.0	14.0		21		16		1.84	2.7

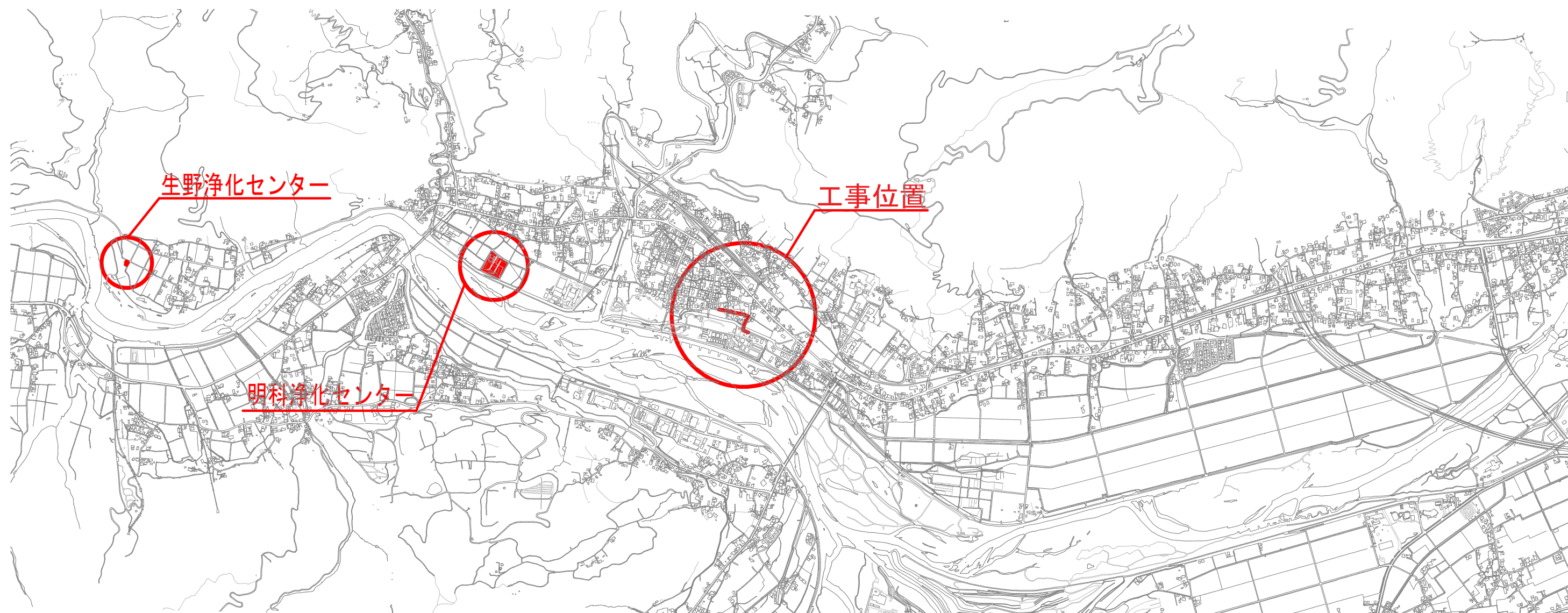
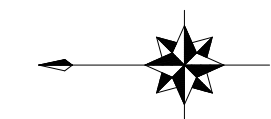
令和4年度(債務負担行為)下水道施設統廃合事業
接続管路実施設計業務委託

設 計 図
(明科4工区)

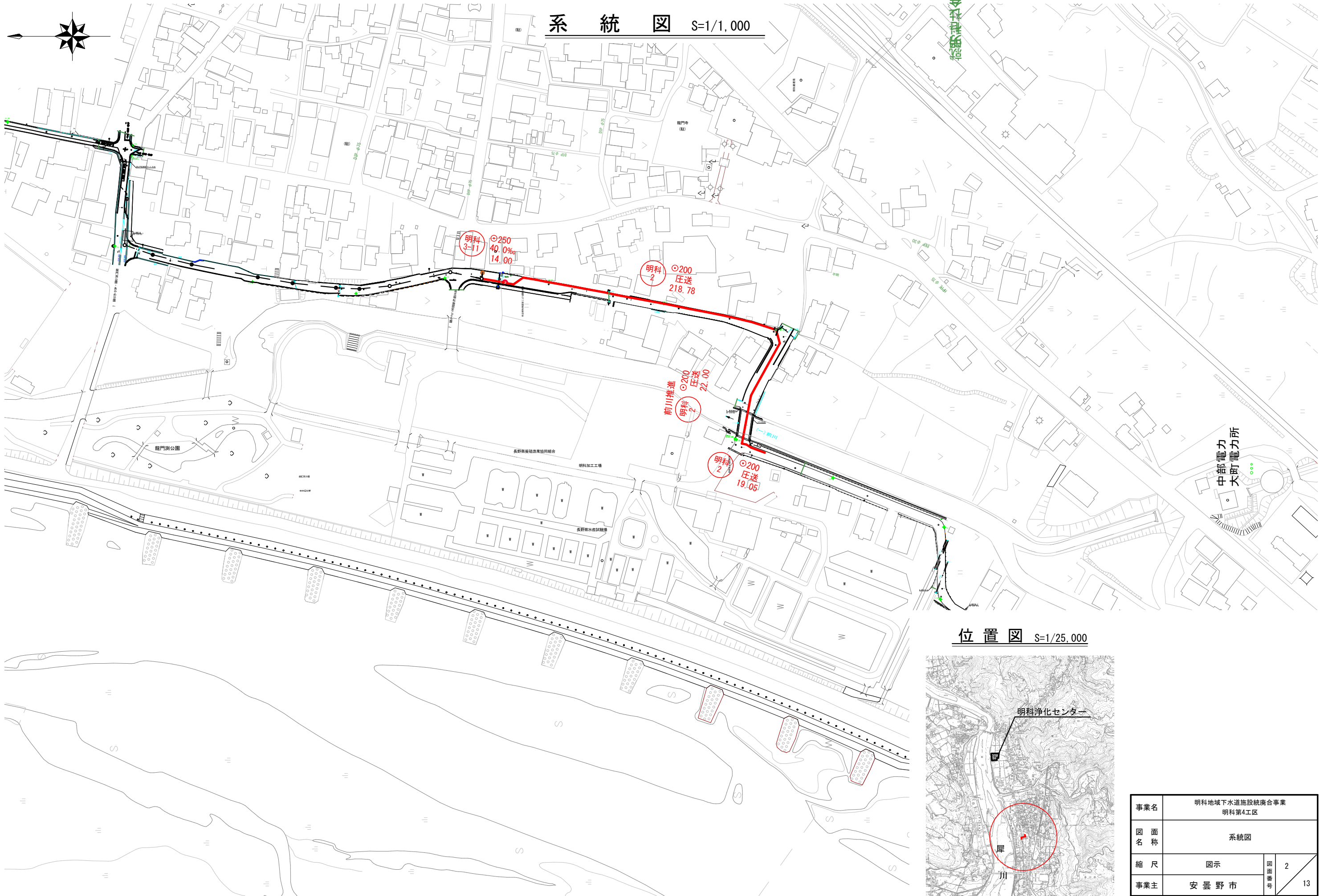
令和7年3月

安 曇 野 市 下 水 道 課
オ リ ジ ナ ル 設 計 株 式 会 社

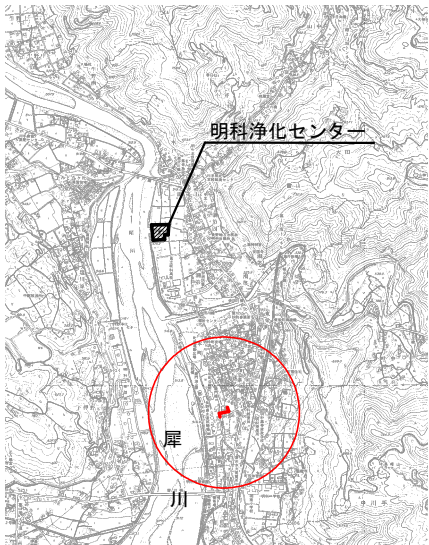
位置図 S=1/20,000



事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	位置図 (明科4工区)		
縮尺	図示	図面番号	1
事業主	安曇野市	13	

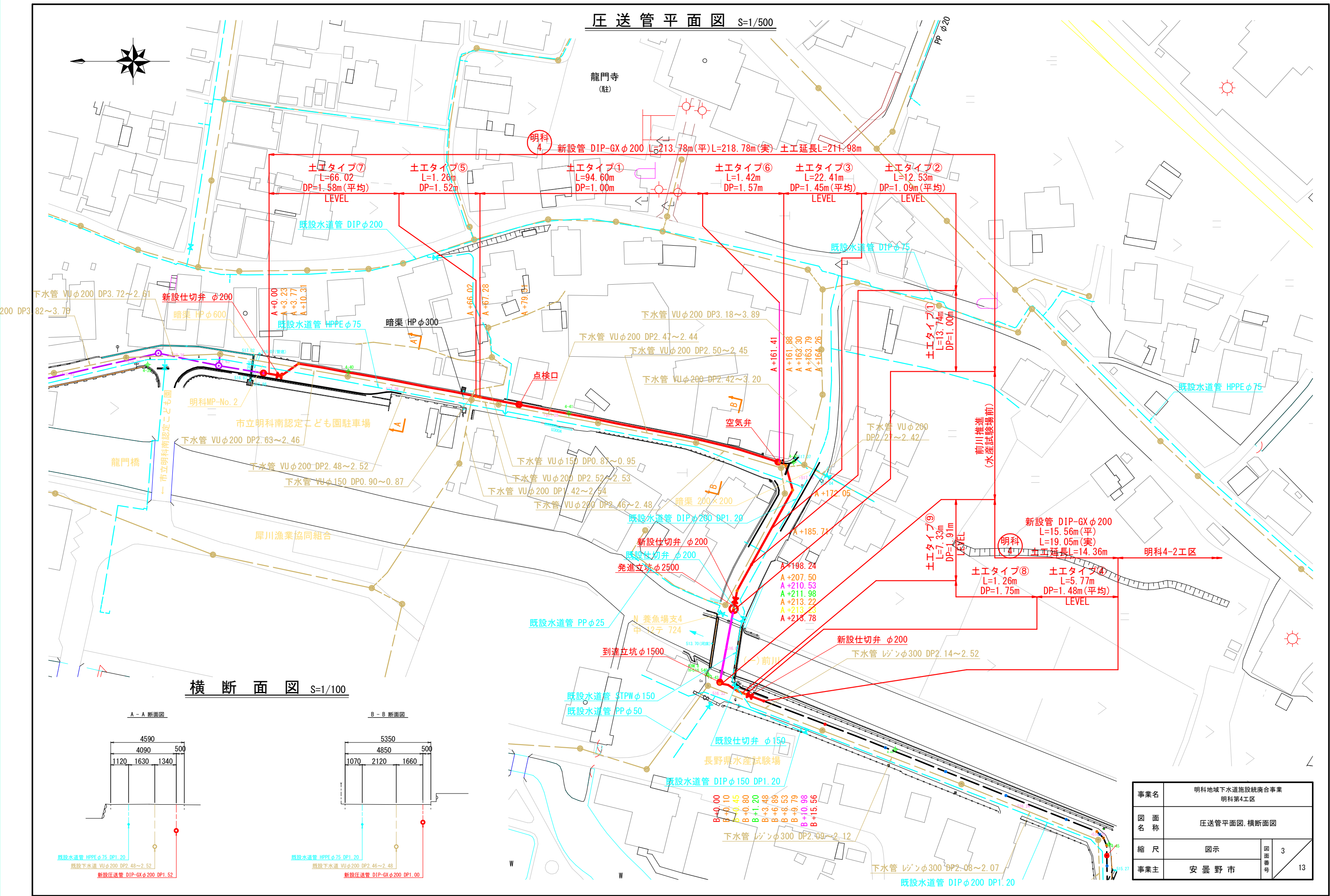


位置図 S=1/25,000



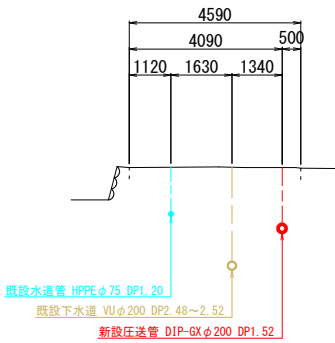
事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	系統図		
縮尺	図示	図面番号	2
事業主	安曇野市	13	

圧送管平面図 S=1/500

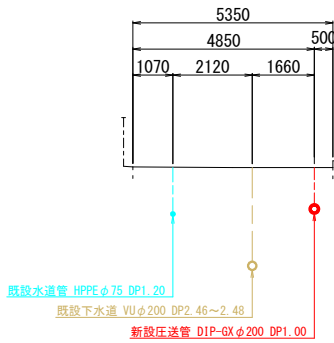


横断面図 S=1/100

A-A断面図

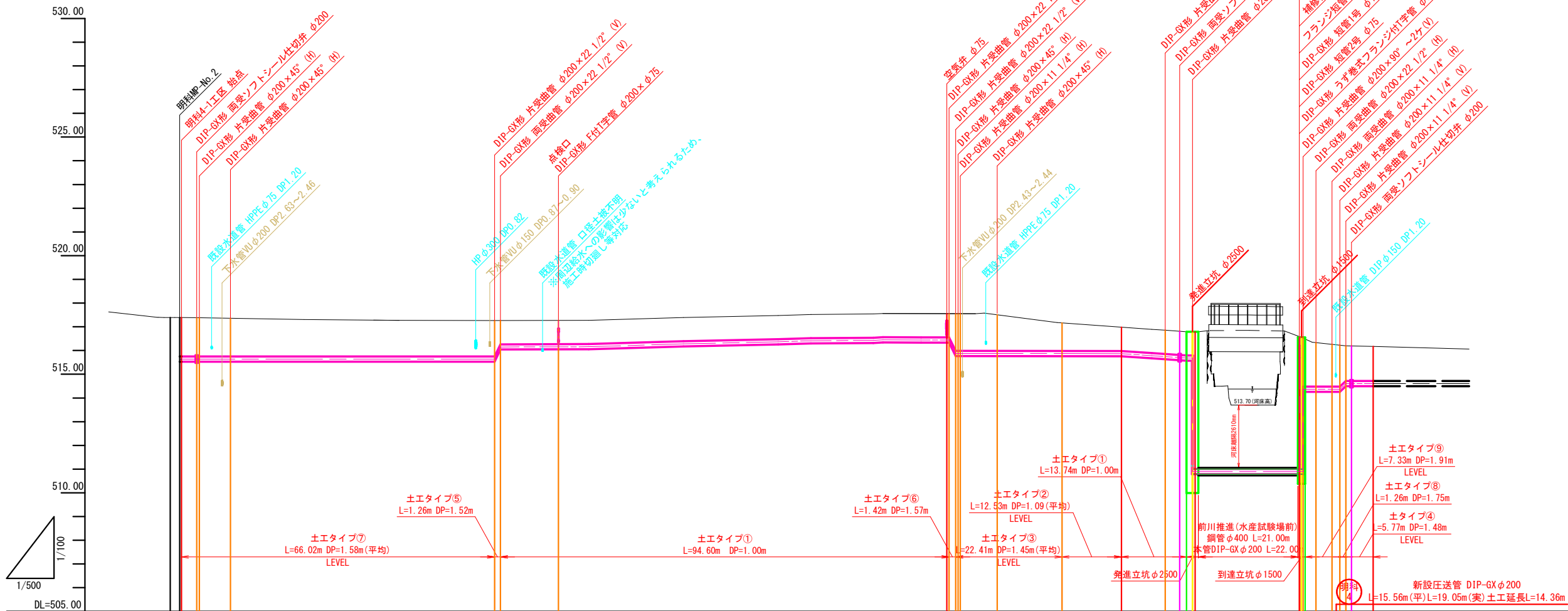


B-B断面図



事業名	明科地地下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	圧送管平面図、横断面図		
縮尺	図示	図面番号	3
事業主	安曇野市		

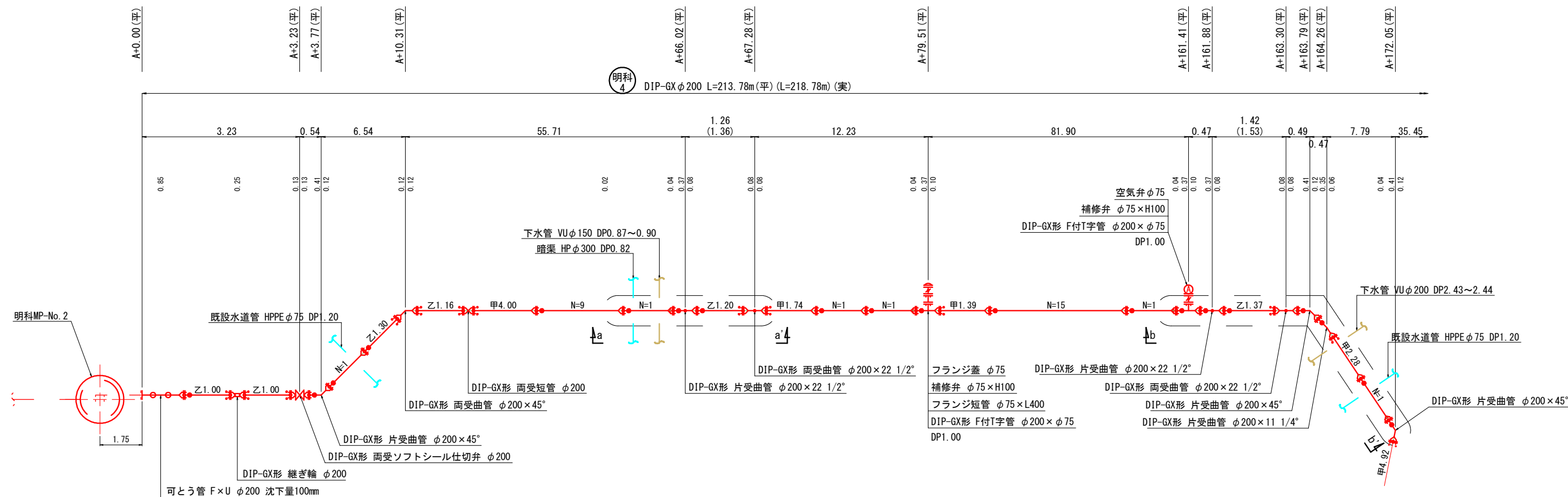
圧送管縦断図 H=1/500 V=1/100



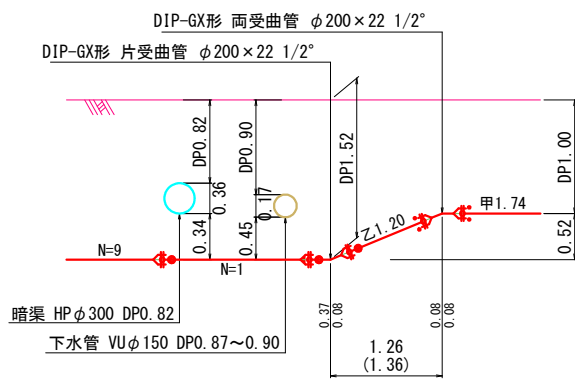
管径延長 管 種	明科4 新設圧送管 DIP-GXφ200 L=213.78m(平) L=218.78m(実) 土工延長L=211.98m										前川推進横断面参照	明科4-2工区
土 被 り	1.64	1.63	1.61	1.51	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	5.55	1.46
掘 削 深	1.96	1.95	1.93	1.83	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	2.39	1.78
管 底 高	515.54	515.54	515.54	515.54	516.06	516.06	516.06	516.06	516.06	516.06	510.79	514.50
地 盤 高	517.39	517.38	517.38	517.26	517.27	517.27	517.27	517.27	517.27	517.27	516.55	516.17
水 平 追加距離	0.00	3.23	3.77	66.02	67.28	79.51	161.41	207.50	210.53	213.22	0.00	15.56
平 面 単 距 離	0.00	3.23	0.54	55.71	1.26	12.23	81.90	13.66	12.53	9.26	0.00	4.58
平 面 追加距離	A+0.00	A+3.23	A+3.77	A+66.02	A+67.28	A+79.51	A+161.41	A+185.71	A+198.24	A+207.50	B+0.00	B+15.56

事業名	明科地地下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図 面 名 称	圧送管縦断図		
縮 尺	図示	図面 番号	4
事業主	安曇野市	13	

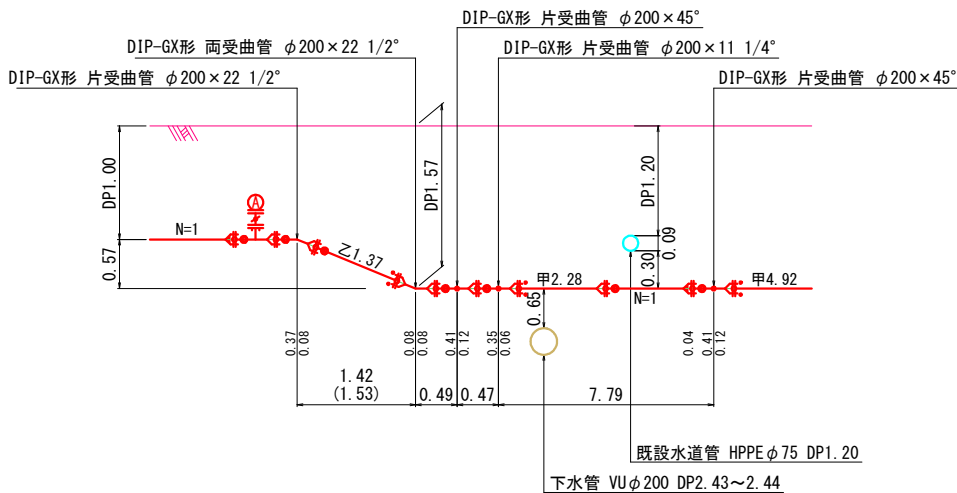
圧送管詳細図(1) S=Free



a-a' 断面図



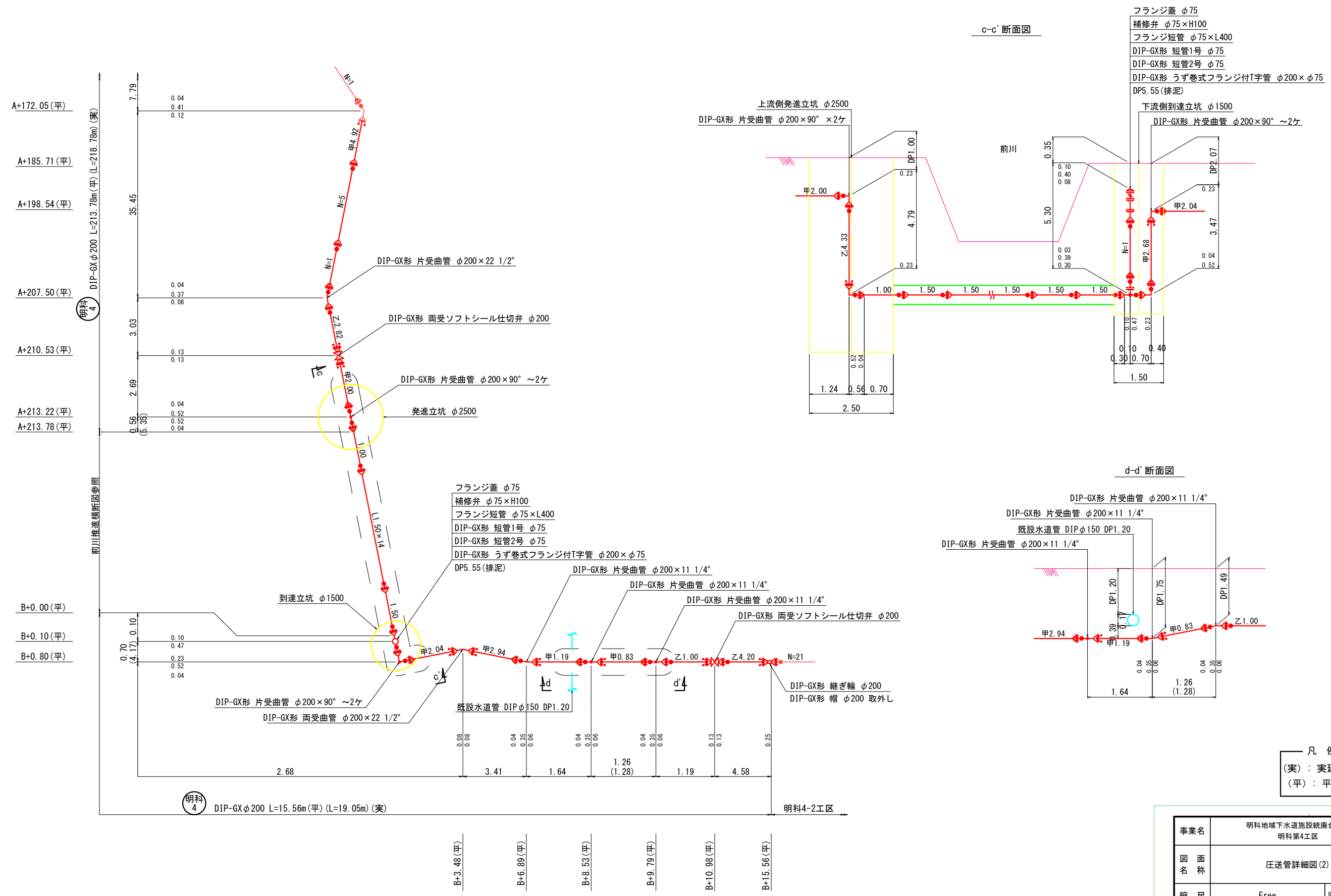
b-b' 断面図



凡 例
(実) : 実延長
(平) : 平面延長

事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図 面 名 称	圧送管詳細図(1)		
縮 尺	Free	図面 番号	5
事業主	安曇野市	13	

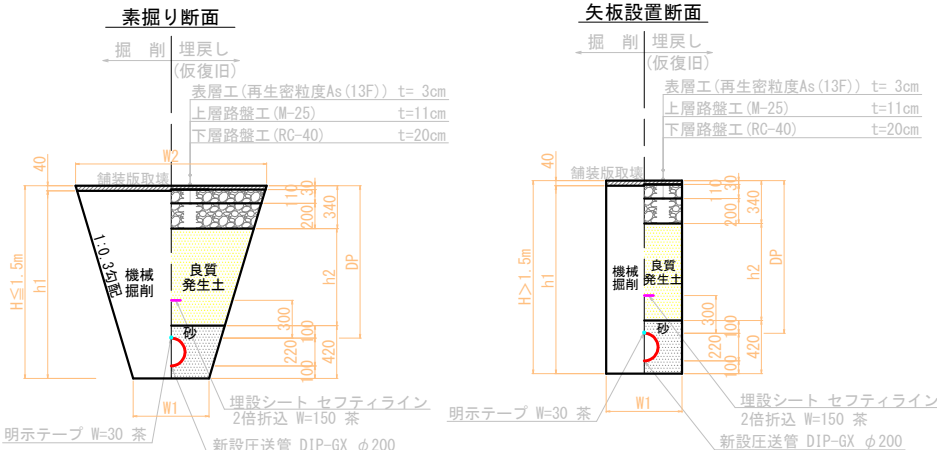
圧送管詳細図(2) S=Free



事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	圧送管詳細図(2)		
縮尺	Free	図面番号	6
事業主	安曇野市		13

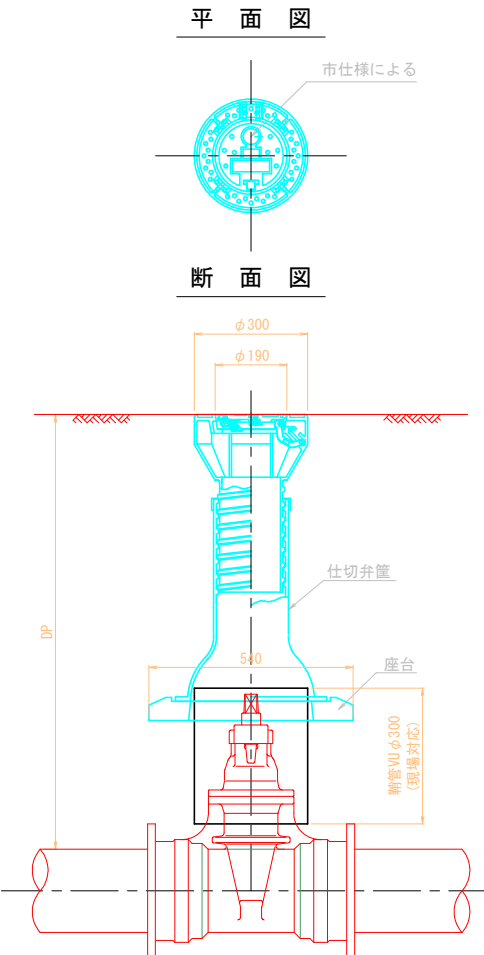
圧送管土工定規・舗装復旧工図 S=1/30

市道車道As舗装道

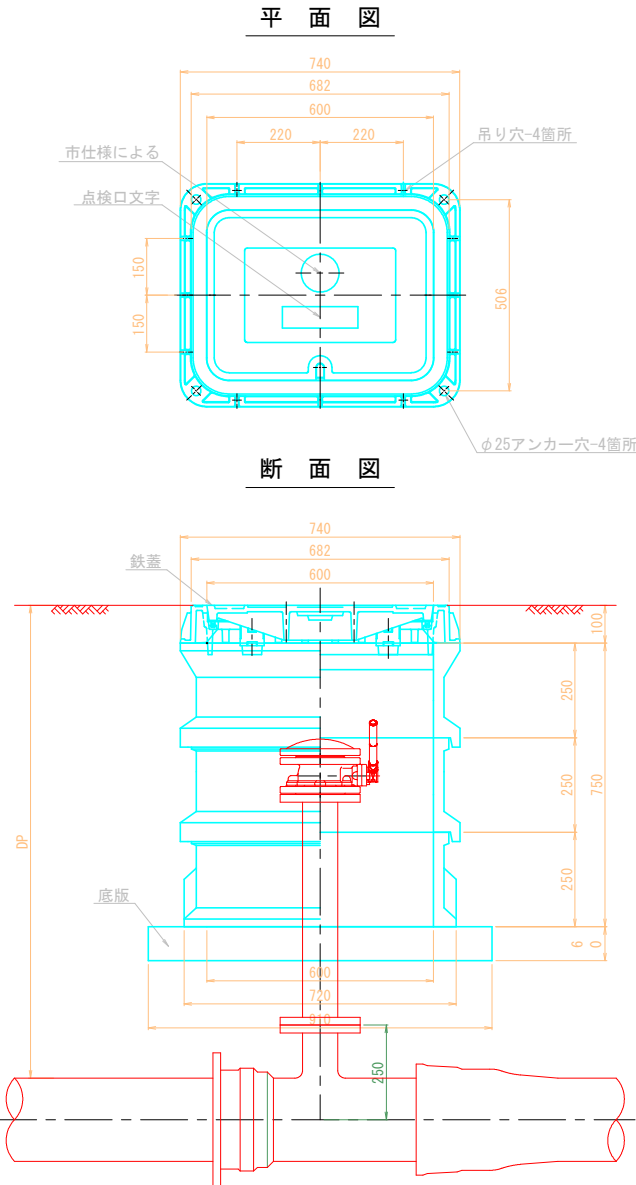


タイプ	口径(D)	DP	W1	W2	H	h1	h2	土留め	管種
①	φ200(220)	1000	600	1390	1320	1280	560	無	DIP-GX
②	φ200(220)	1090	600	1450	1410	1370	650	無	DIP-GX
③	φ200(220)	1450	950	—	1770	1730	1010	有	DIP-GX
④	φ200(220)	1480	950	—	1800	1760	1040	有	DIP-GX
⑤	φ200(220)	1510	950	—	1830	1790	1070	有	DIP-GX
⑥	φ200(220)	1570	950	—	1890	1850	1130	有	DIP-GX
⑦	φ200(220)	1580	950	—	1900	1860	1140	有	DIP-GX
⑧	φ200(220)	1750	950	—	2070	2030	1310	有	DIP-GX
⑨	φ200(220)	1910	950	—	2230	2190	1470	有	DIP-GX

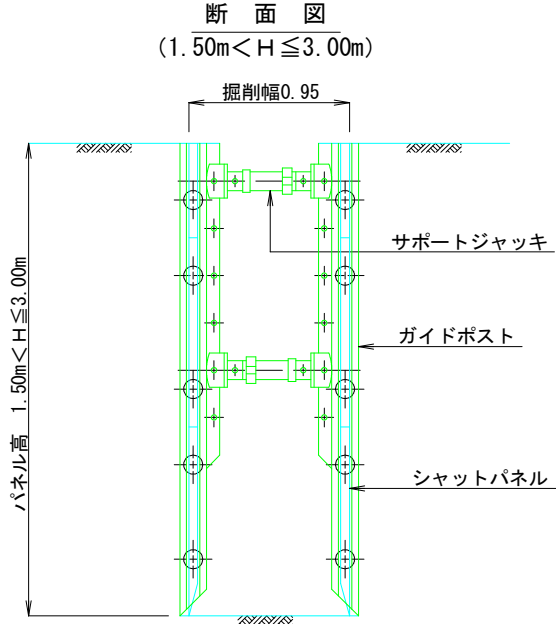
仕切弁筐設置標準図 S=1/10



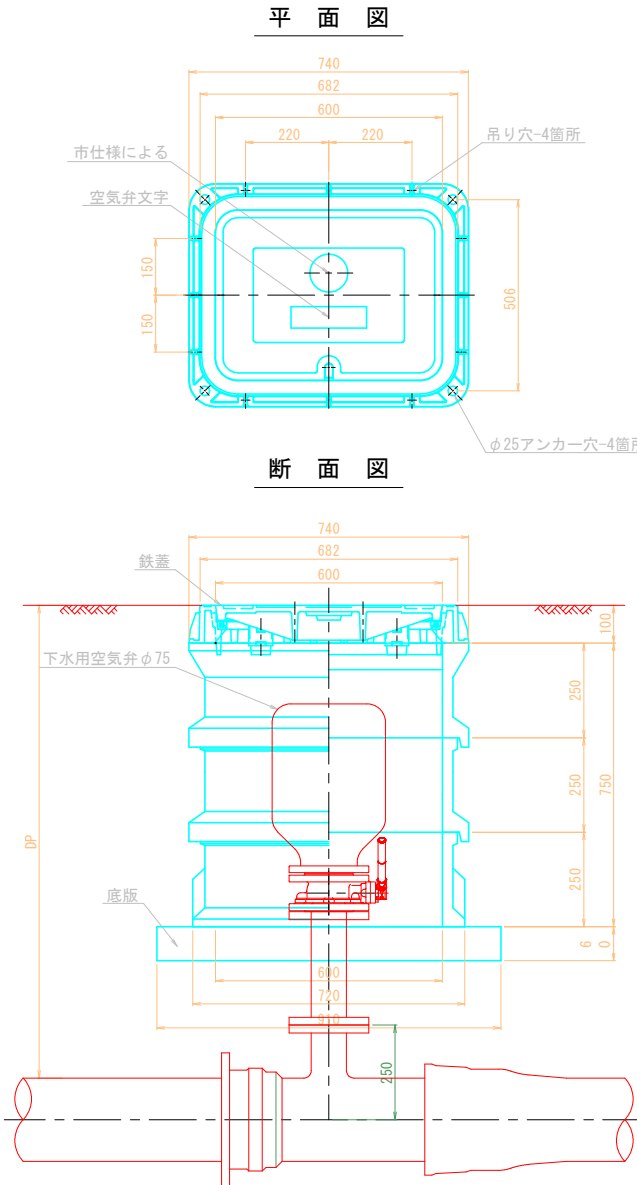
点検口設置参考図 S=1/10



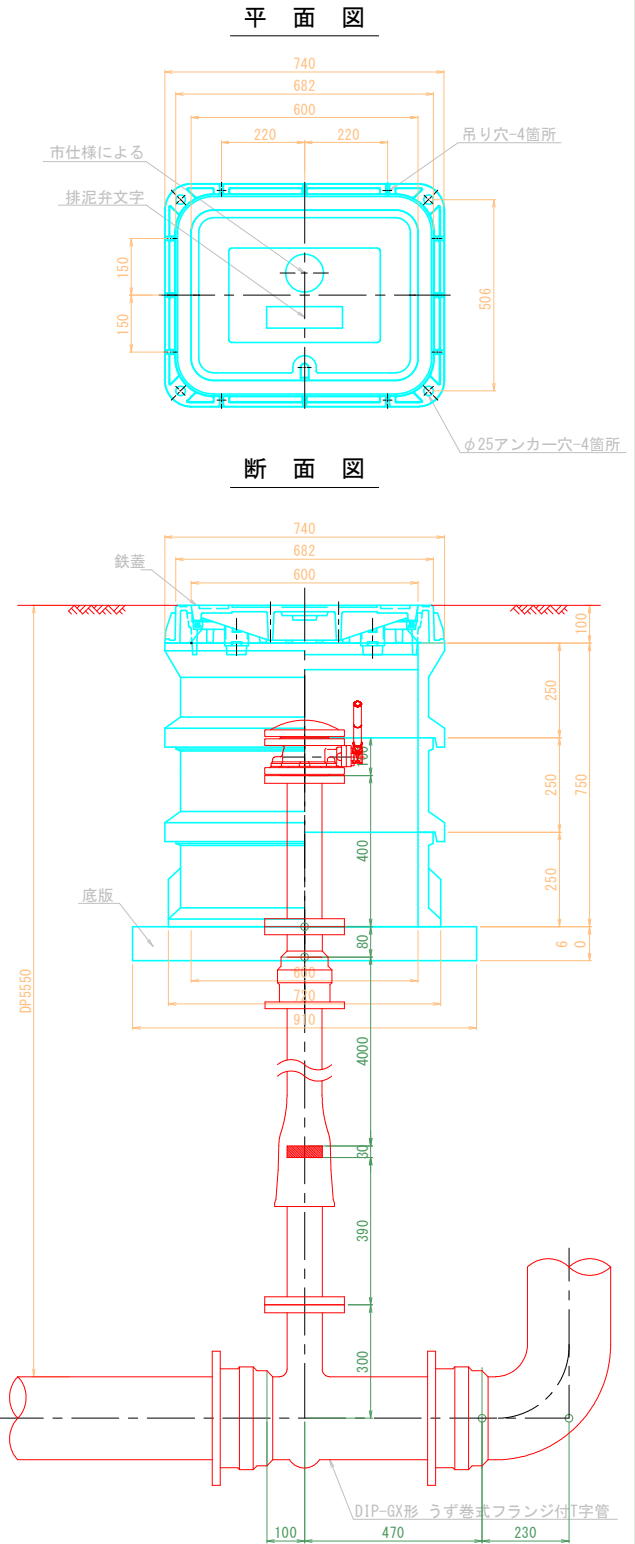
圧送管土留工標準構造図 S=1/20



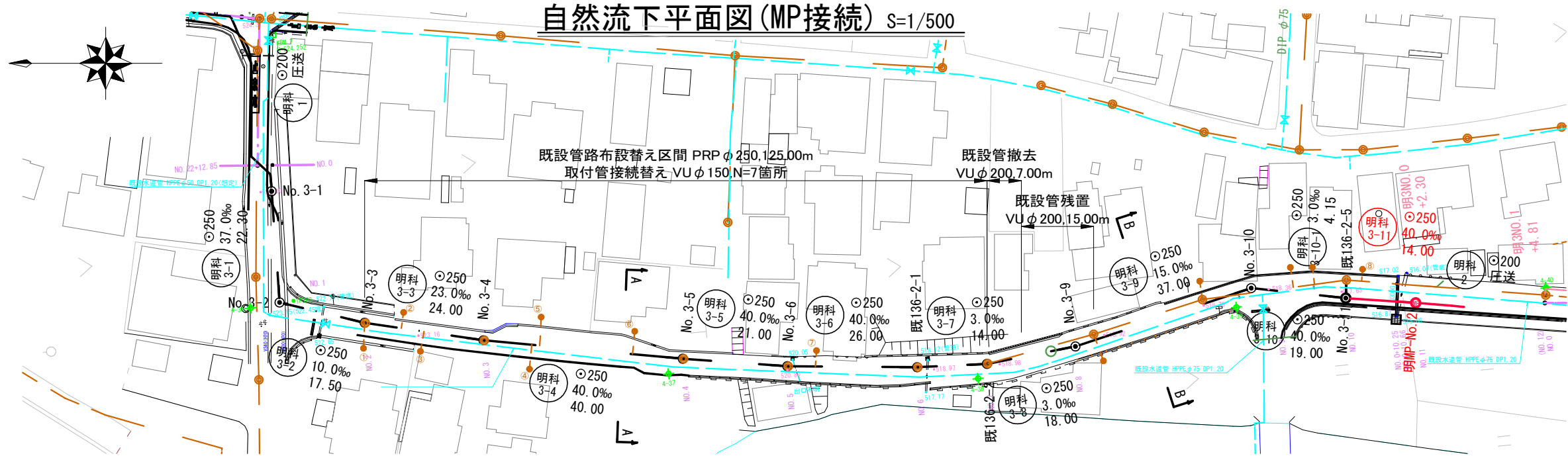
空気弁設置参考図 S=1/10



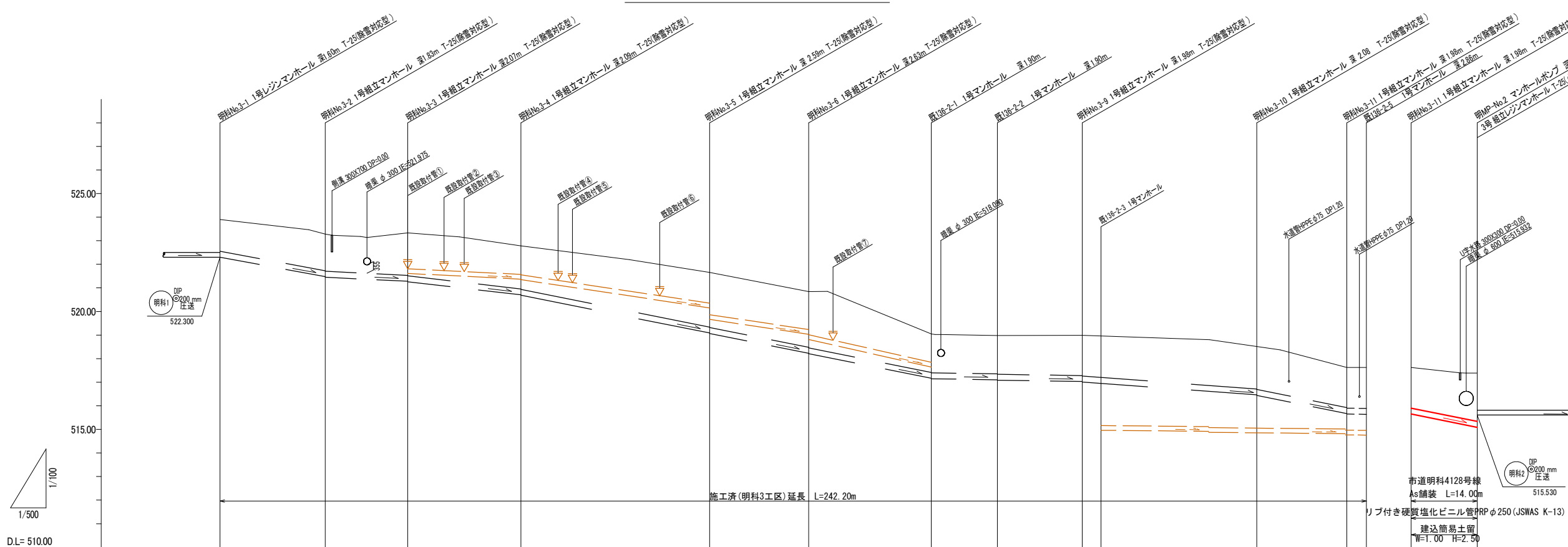
立上排泥弁設置参考図 S=1/10



事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	圧送管土工定規・舗装復旧工図 圧送管土留工標準構造図, 点検口設置参考図 空気弁設置参考図, 仕切弁筐設置標準図 立上排泥弁設置参考図		
縮尺	図示	図面番号	7
事業主	安曇野市		13

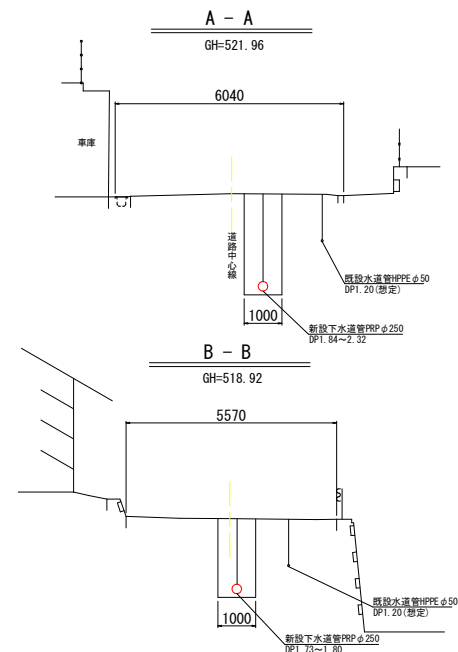


縦断面図 縦V=1/100 横H=1/500

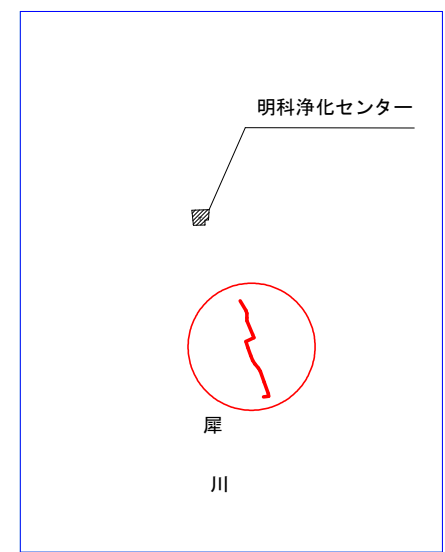


地盤高 (内計画高さ)	523.99 (523.90)	523.28	523.33	522.78	521.66	520.84	519.05	518.98	518.99	518.51	517.57	517.63	517.33
土被	1.44 (1.50)	1.55 (1.67)	1.76 (1.80)	1.82 (1.84)	2.22 (2.08)	2.36 (2.35)	1.83 (2.01)	1.62 (1.64)	1.64 (1.68)	1.71 (1.77)	1.80 (1.74)	1.65 (1.73)	1.73 (1.89)
管底高	522.300	521.475 521.455	521.317 521.297	520.708 520.687	519.087 519.067	518.227 518.207	517.167 517.147	517.105 517.085	517.031 517.011	516.456 516.426	515.666 515.646	515.634 515.614	515.086 515.066
掘削深	1.80 (1.86)	1.91 1.93 (2.03)	2.12 2.14 (2.16)	2.18 2.20 (2.44)	2.68 2.70 (2.71)	2.72 2.74 (2.37)	1.99 2.01 (2.00)	1.98 2.00 (2.03)	2.06 2.08 (2.12)	2.16 2.18 (2.10)	2.01 2.04 (2.08)	2.11 2.13 (2.25)	2.09 2.41
追加距離	0.00	22.30	38.20	63.80	103.80	124.80	156.80	164.80	182.80	219.80	238.80 242.20	0.00	14.00

横断面図 S=1/100

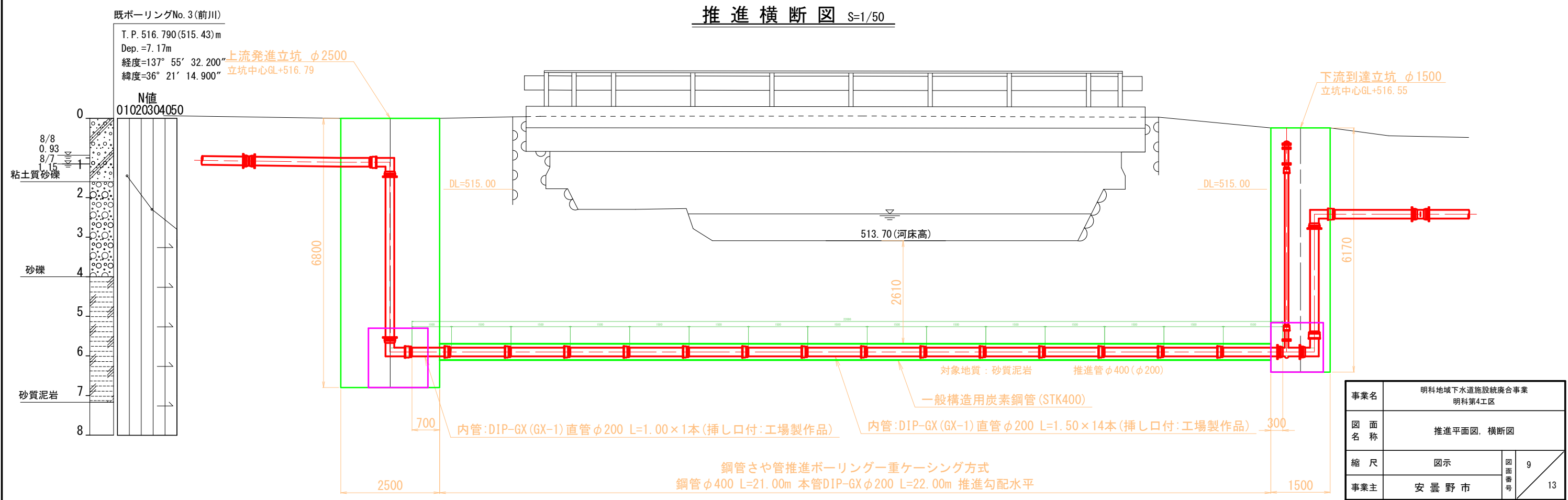
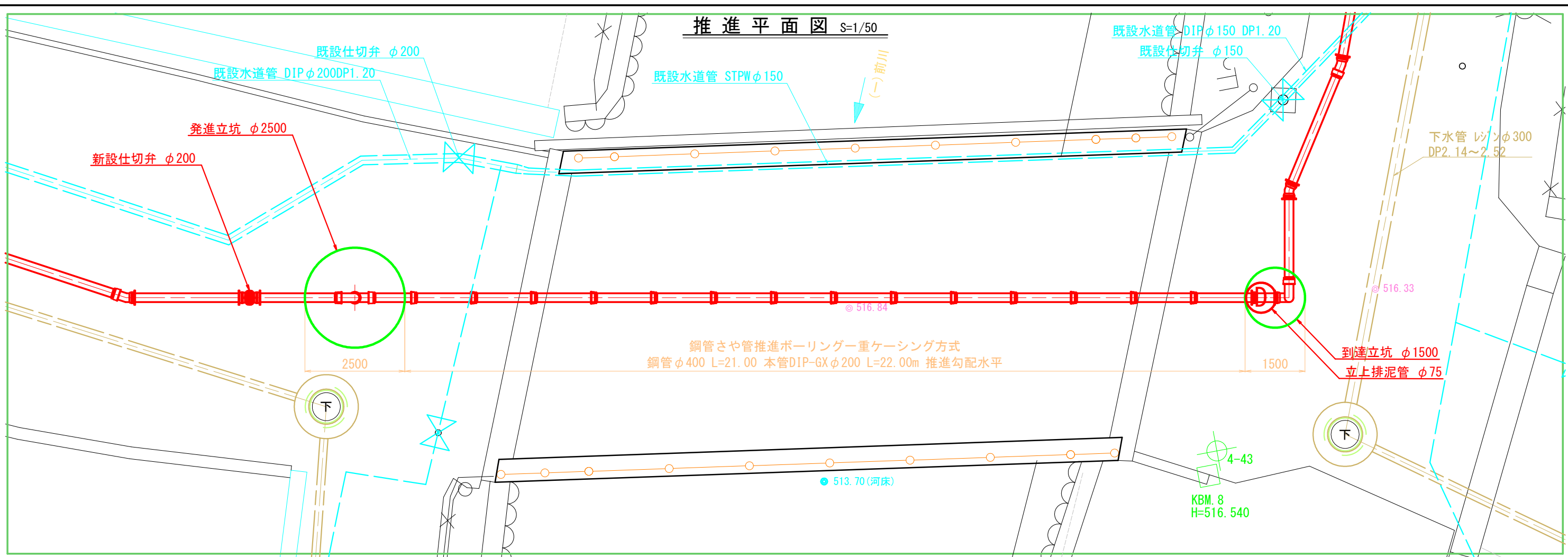


位置図 S=1/25,000



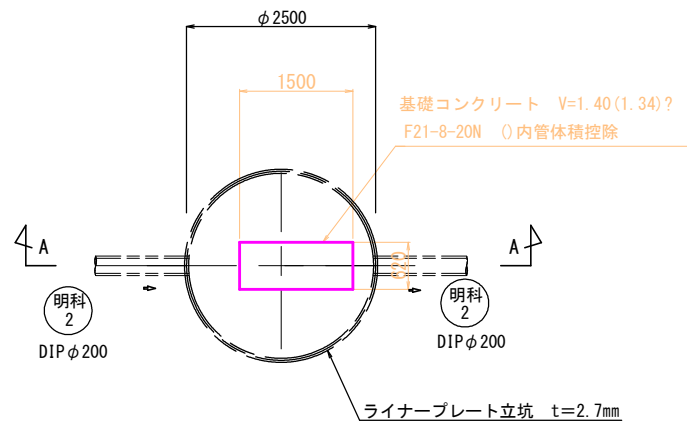
凡	例
—	実施設計路線
—	既設路線
○	公共汚水井
①	0号マンホール
②	1号マンホール
③	2号マンホール
●	塩ビ製小型マンホール
MP	マンホールポンプ
—	上水道管

事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	位置図, MP接続平面図, 縦断面図, 横断面図		
縮尺	図示	図面番号	8
事業主	安曇野市		

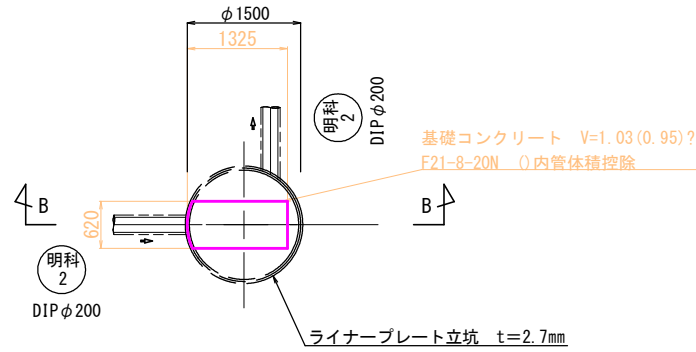


推進立坑仮設図 S=1/50

発進立坑φ2500



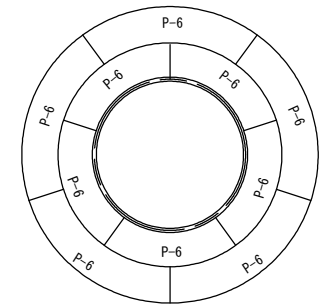
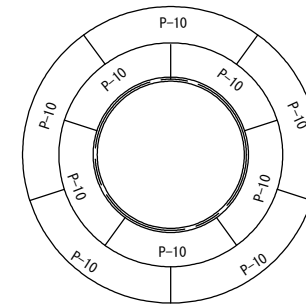
到達立坑φ1500



セクション構成図

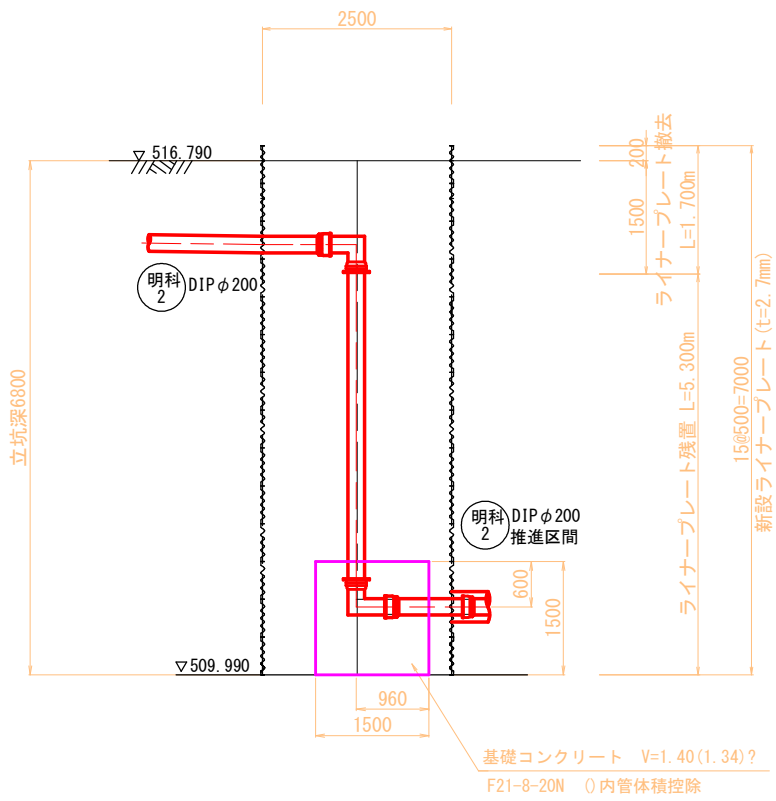
発進立坑φ2500

到達立坑φ1500



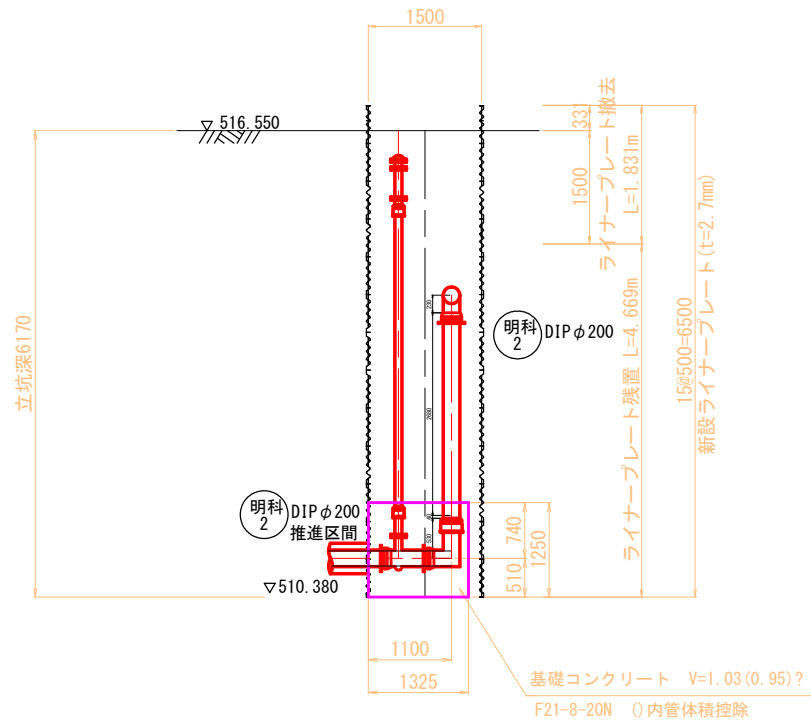
発進立坑

A — A



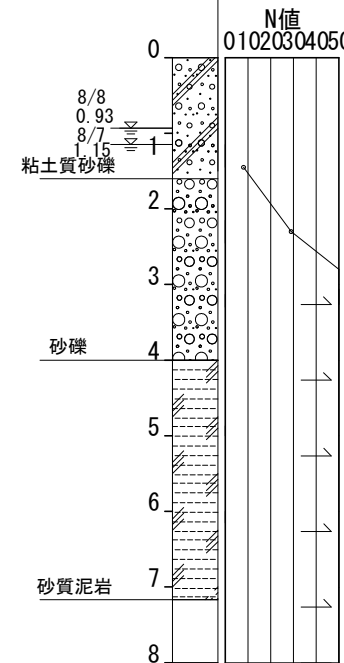
到達立坑

B — B



既ボーリングNo.3(前川)

T. P. 516.790 (515.43)m
Dep. =7.17m
経度=137° 55' 32.200"
緯度=36° 21' 14.900"

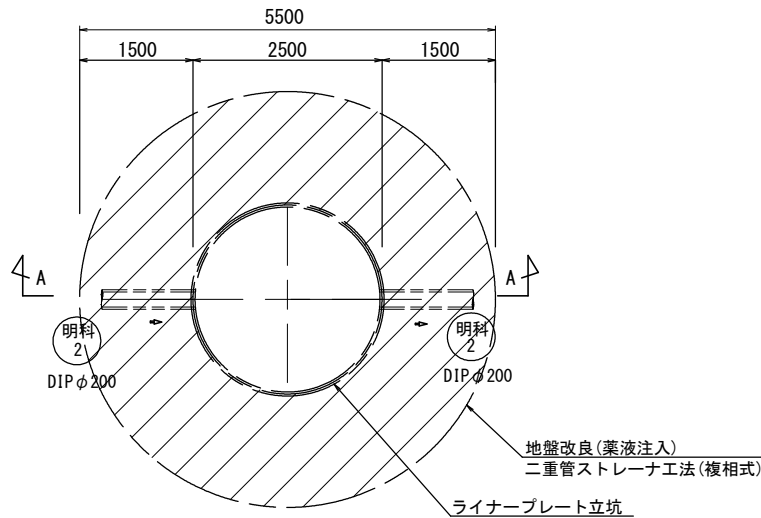


※砂質泥岩は、近隣ボーリング調査より不透水層と判断した。
※ボーリング調査は近隣であるが標高が異なるため、立坑地盤高(発進)の標高に合わせ検討した。

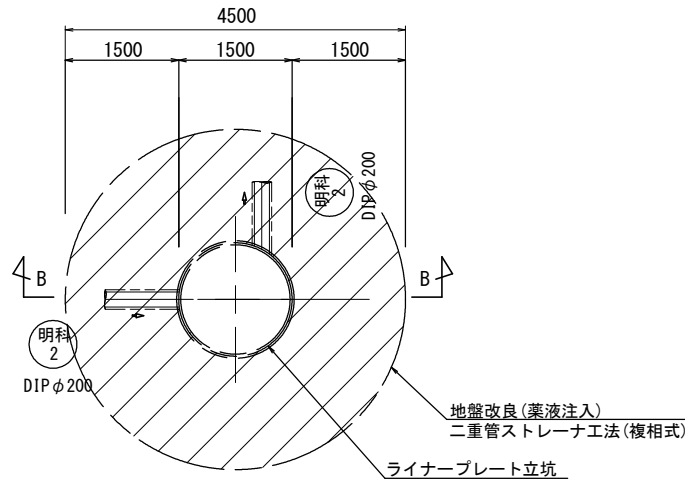
事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	推進立坑仮設図		
縮尺	図示	図面番号	10
事業主	安曇野市		13

推進立坑地盤改良工図 S=1/50

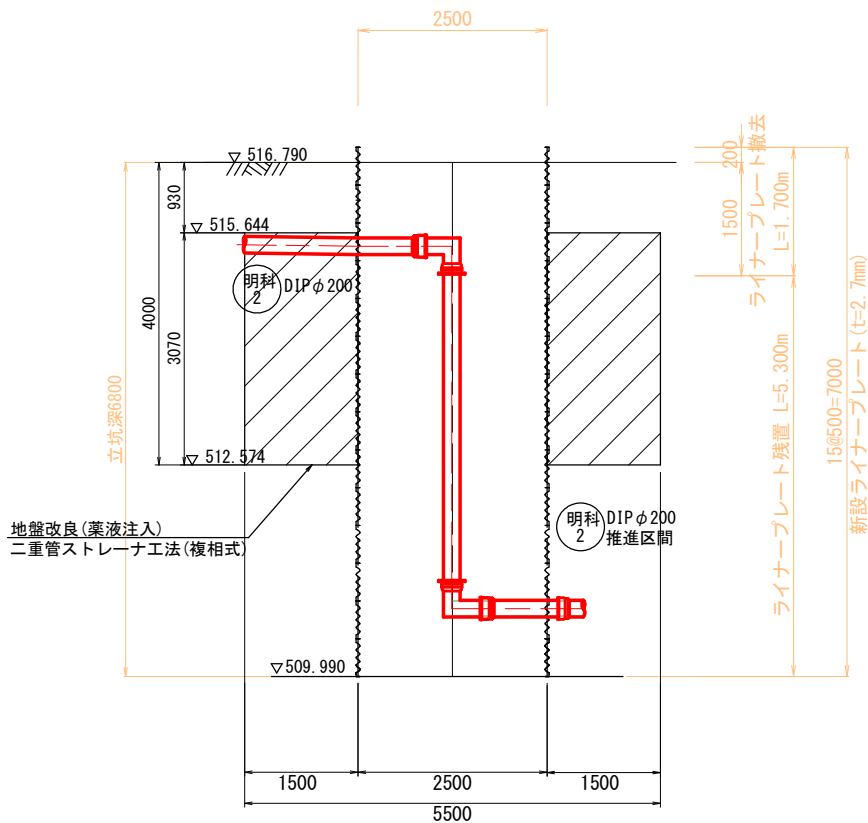
発進立坑 φ2500



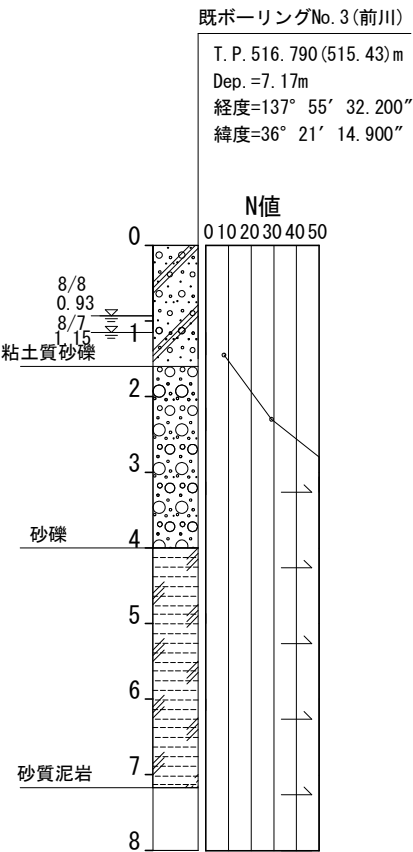
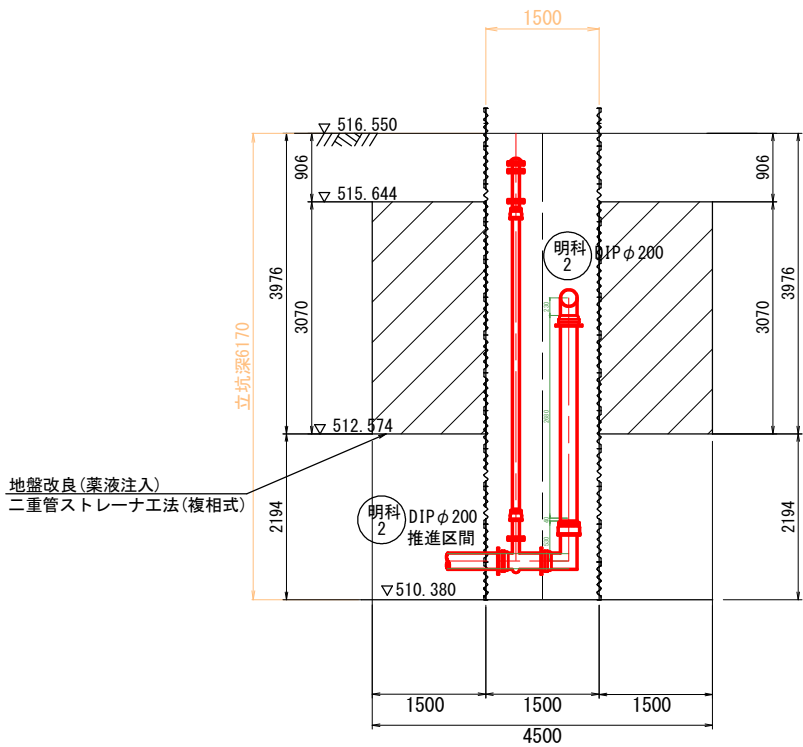
到達立坑 φ1500



発進立坑
A — A



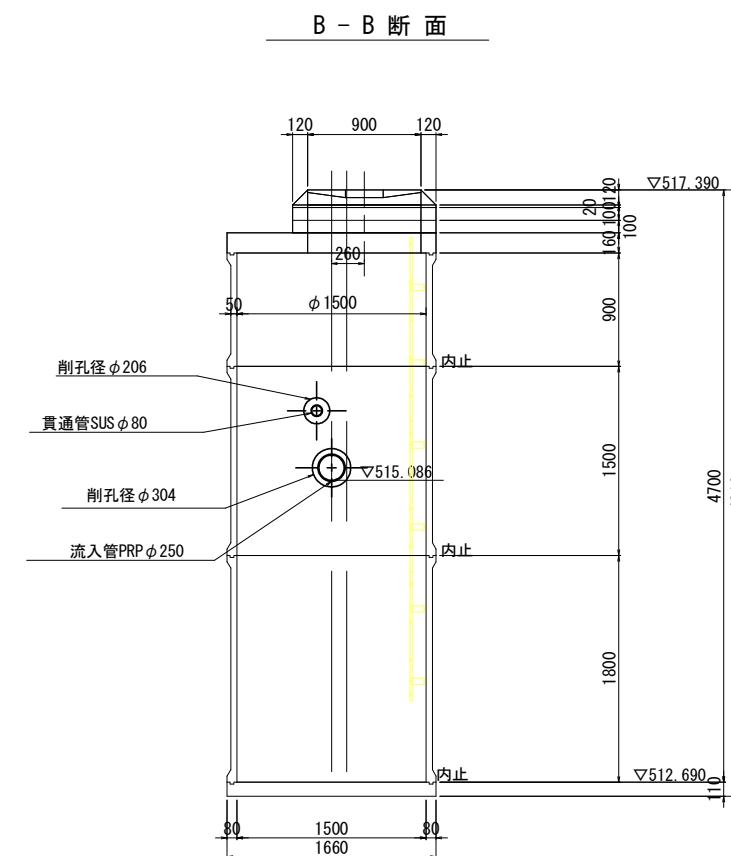
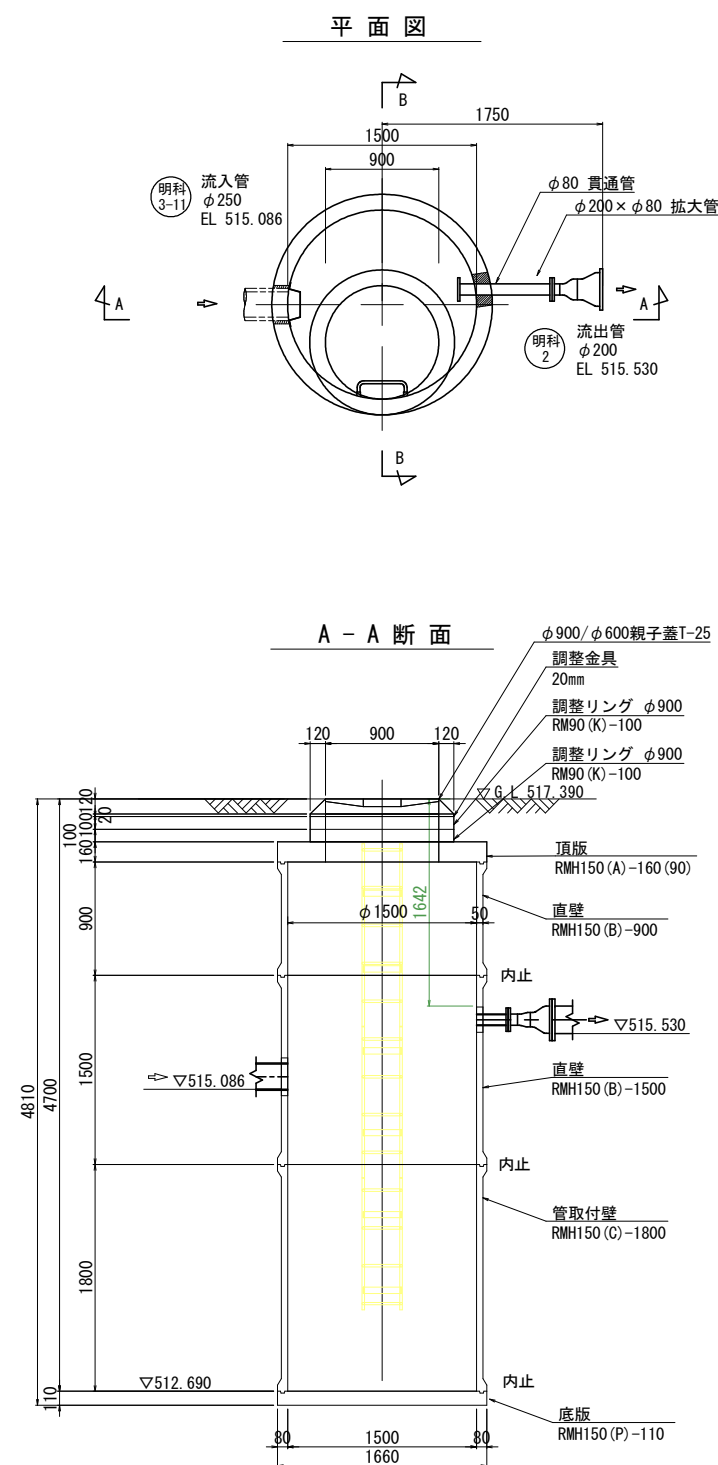
到達立坑
B — B



事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	推進立坑地盤改良図		
縮尺	図示	図面番号	11
事業主	安曇野市		13

※砂質泥岩は、近隣ボーリング調査より不透水層と判断した。
※ボーリング調査は近隣であるが標高が異なるため、立坑地盤高(発進)の標高に合わせ検討した。

明MP-2 3号組立レジンマンホール構造図 S=1/30



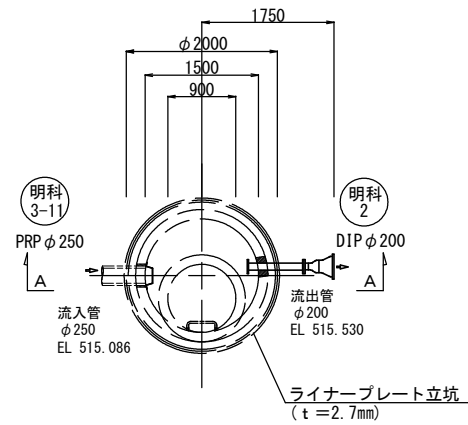
※レジンマンホールの内壁はクリーム色

事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面 名称	明MP-2 3号組立レジンマンホール構造図		
縮尺	図示	図面 番号	12
事業主	安曇野市		13

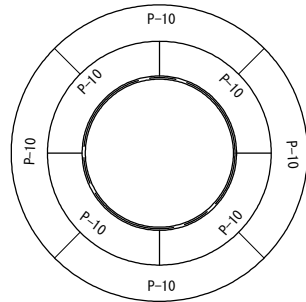
明MP-2 マンホールポンプ仮設図 S=1/50

ライナープレートφ2000

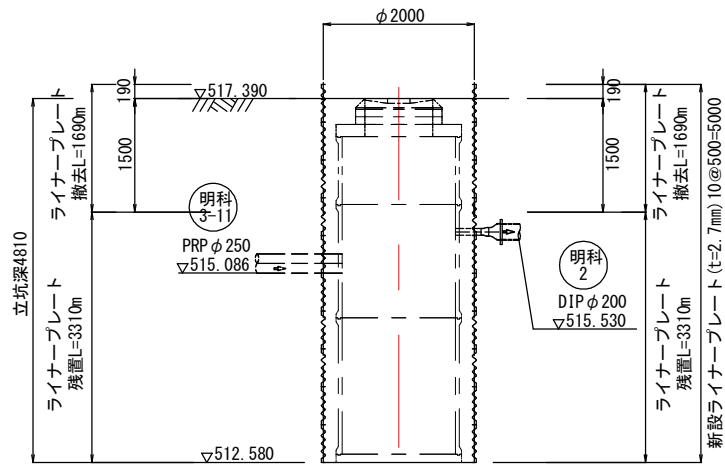
平面図



セクション構成図

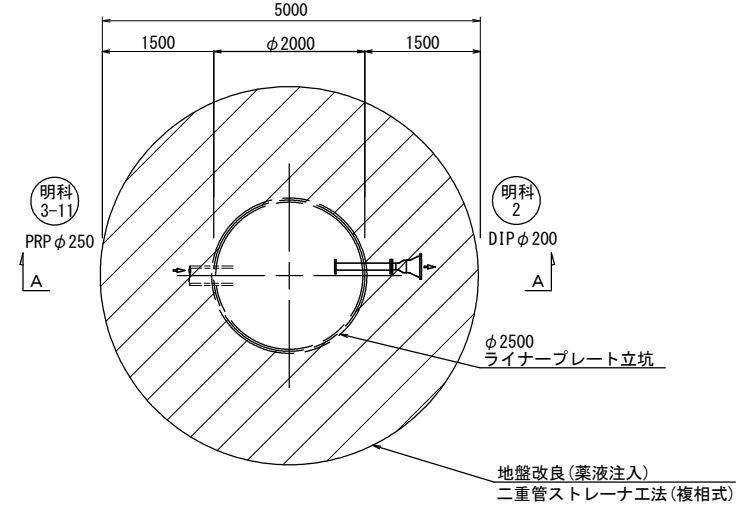


A - A

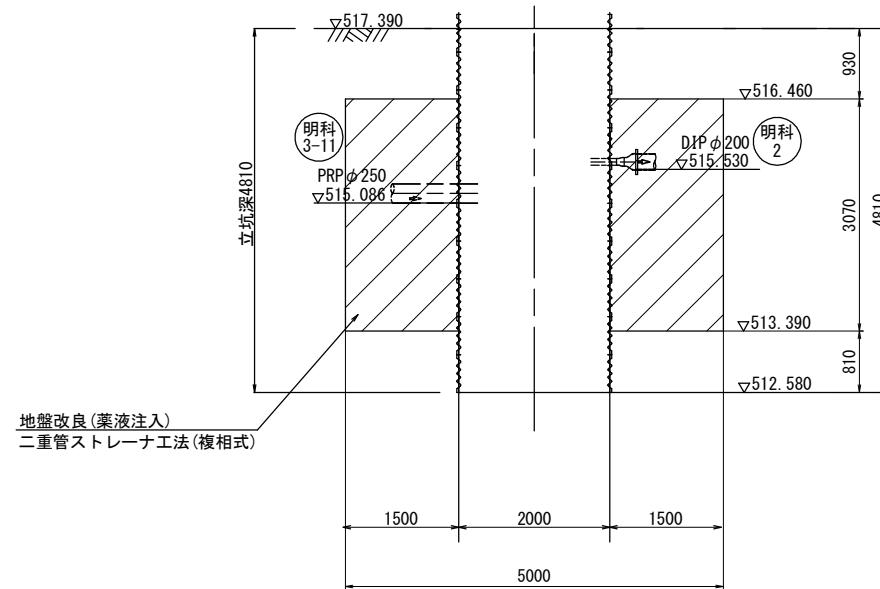


明MP-2 マンホールポンプ地盤改良図 S=1/50

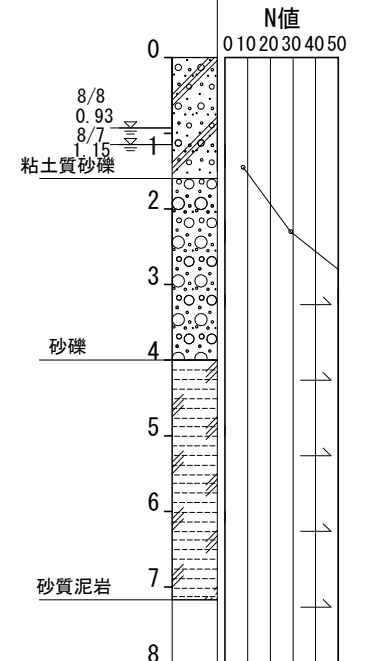
平面図



A - A



既ボーリングNo. 3 (前川)
T. P. 517. 390 (515. 43) m
Dep. = 7. 17m
経度=137° 55' 32. 200"
緯度=36° 21' 14. 900"



※砂質泥岩は、近隣ボーリング調査より不透水層と判断した。
※ボーリング調査は近隣であるが標高が異なるため、立坑地盤高の標高に合わせ検討した。

事業名	明科地域下水道施設統廃合事業 明科第4工区		
図面名称	明MP-2 マンホールポンプ 仮設図・地盤改良図		
縮尺	図示	図面番号	13
事業主	安曇野市		13